
平成 26 年度
佐渡市教育委員会

佐渡学センター一年報

第 6 号

佐渡学センター年報

この年報の著作権は佐渡市教育委員会に帰属します。ただし、画像などは、所有者や執筆者に著作権があるものがあります。著作権法上の「私的利用」や「引用」の範囲を超えて使用する場合には、佐渡学センターまでお問い合わせください。ただし、掲載資料の使用に際して発生した障害には、佐渡市教育委員会は一切の責任を負いません。

刊行にあたって

巻 頭

佐渡学センター所長 渡邊剛忠

(財)佐渡博物館が、国の公益法人規定の見直しに伴い、平成25年11月末日をもって解散することになり、関係者の協議により佐渡市に移管して再スタートしました。

同博物館は昭和32年開館、これまで佐渡島の総合博物館として自然、歴史、文化、美術、芸術など奥の深い佐渡の遺産・資産を島内外に発信し続けてきました。

ここに(財)佐渡博物館々報第1号があります。昭和26年12月に制定された「博物館法」の刺激を受け、菊池勘左衛門初代館長を始め、スタッフの皆さんの並々ならぬ熱意や島民の願いが記されています。

そこには

- 1 佐渡の有形・無形・埋蔵文化財、重要美術品、民俗資料などの調査、研究が進むにつれて早急に保存、収集の対策が必要であること
- 2 優れた文化財は、まず島民に開放され、理解され、社会教育、学校教育に活用されなければならないこと
- 3 観光面からも博物館は必要であることが記されており、開館以来、半世紀以上経た現在もなお色あせることなくその願いは私達島民に引き継がれてきています。

平成26年度佐渡博物館では、次の企画展と資料公開展が開催されました。

「土田麦僊—その素描の世界」

佐渡市市制施行10周年の節目を記念し、特別展として前期(26年11月1日～12月24日)、後期(平成26年12月27日～平成27年1月31日)に分けて開催されました。故千代夫人から寄贈された下絵、写生帳、書簡、遺品や、知足美術館はじめ市民の皆さんからお借りした本画と共に展示しました。麦僊の作品制作過程や線の美を追究した清らかな作品を多くの皆さんが堪能された機会となりました。開催にあたり、麦僊作品に造詣の深い新潟市新津美術館々長横山秀樹氏には、ご指導いただくと共に、ご講演をお願いしました。作品をお借りしました皆様共々心からお礼と感謝を申し上げます。

「蔵に残る文化—旧兒玉医院所蔵資料展」

江戸期、新保村(金井新保)の名主を先祖とする旧兒玉医院の遺族の方から多数の美術・工芸品が寄贈されました。作品は大正2(1913)年に医業を再開し、金澤村長なども務めた喜平治氏とその医業を継いだ喜夫氏が収集したものです。両者とも書画などをたしなむ文化人として知られていました。近代における佐渡の医家の蔵に収蔵されたコレクションを通して当時の文化に触れることのできた機会となりました。多くの作品をご寄贈いただきました旧兒玉医院の遺族の皆様にお礼を申し上げます。

現在、佐渡市では「世界農業遺産(GIAHS)」、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」として本登録に向けて準備が進んでいる「世界文化遺産」、そして「佐渡ジオパーク」の三事業を島内外に発信しています。当博物館はそうした事業を学べる総合博物館として、また、児童・生徒が佐渡学を学習できる施設として、今後の取り組みが期待されています。

目次

Contents

刊行にあたって

| | |
|---------------------------------|------|
| I 佐渡学センター設置までの経緯 | … 1 |
| II 管理運営の状況 | |
| 1 組織 | … 4 |
| 2 施設の状況等 | … 5 |
| 3 平成26年度入館者の状況 | … 10 |
| III 事業内容 | |
| 1 文化・学芸事業内容 | … 11 |
| 1.1 常設展示 | |
| 1.2 企画展示 | |
| 1.3 収集保管事業 | |
| 1.4 調査研究事業 | |
| 1.5 支援、助成事業 | |
| 1.6 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定事業 | |
| 1.7 新潟大学学術情報部との連携協定業務 | |
| 1.8 刊行物 | |
| 1.9 イベント（共催事業） | |
| 1.10 小・中学校との連携事業 | |
| 1.11 その他（キャンペーン協賛） | |
| 2 交流普及事業概要 | … 21 |
| 2.1 視察・団体受入れ状況 | |
| 2.2 出前授業・講演等 | |
| 3 職場体験 | … 24 |
| 4 学芸員実習受入れ | … 24 |
| IV 関係団体 | |
| 1 佐渡市博物館協議会 | … 25 |
| V 日誌抄 | … 26 |
| VI 業務上の調査・研究報告 | |
| 寄贈資料調査研究 | … 31 |
| 北見健彦先生蒐集の佐渡島海産生物（海藻類・貝類・魚類）の地方名 | |
| 資料研究 古文書にみる佐渡で記録された天文事象 | … 41 |
| 収集資料紹介 牛窪剛氏寄贈『牛窪弘善文庫』について | … 49 |

編集後記

I 佐渡学センター設置までの経緯

1 沿革

【平成 16 年度】

佐渡伝統文化研究所を設立することを佐渡市長が表明する。

【平成 17 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会生涯学習課に設置した。

準備室室長 木下 勉
 情報指導員 池田 雄彦
 準備室係長 北見 継仁
 主 事 山口 忠明
 主 事 渡邊 智美

佐渡市長の平成 17 年度『施政方針』で、「研究所の基本理念」として、「佐渡の歴史と文化を再認識し、有形無形の歴史・文化資産を保護継承し、子々孫々まで残していくことは現代に生きる私たちの責務であると考えます。そのため、島内の研究者や伝統技術・技能の伝承者を集め、貴重な資料の散逸を防ぎ、専門の研究機関を設置することで、各地に残る貴重な資産・資料把握、保存整理研究が行える『佐渡伝統文化研究所』（仮称）の設立を行い伝統文化の継承に努めます。」と表明する。

【平成 18 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会文化振興課内に設置した。

準備室室長 菊池 克己
 情報指導員 池田 雄彦
 準備室係長 北見 継仁
 主 事 鹿取 渉

【平成 19 年度】

佐渡伝統文化研究所を佐渡市教育委員会世界遺産・文化振興課内に設置した。設置場所は、梅津の佐渡市中央公民館から両津湊の佐渡市役

所両津支所 3 階に移動する。

所 長 石瀬 佳弘
 次 長 高藤一郎平
 情報指導員 池田 雄彦
 係 長 北見 継仁
 主 事 滝川 邦彦

設立趣旨を、「佐渡は、古くから島外の文化を受け入れながら島独自の文化を形成し、貴重な民俗芸能や伝統的な行事なども継承されている。また、多様な地形や植生・地質など、自然環境にも恵まれている。このような文化遺産や自然環境は島内外の人々にとって大きな魅力となっているが、十分な調査や保存が行われているとは言えない状況にあった。

このような貴重な文化遺産の価値を島民に十分理解してもらい、その調査と保存・活用を図るべく、佐渡伝統文化研究所準備室を設置してその任に当たって来た。本年度から本格的に活動を目指して正式な『佐渡伝統文化研究所』を設立した。今後は、貴重な資料の散逸を防ぎ、データを集積して広く情報を発信しながら島民の皆さんは勿論、佐渡を訪れる多くの方々に利用して頂けるように務めたいと考えている。」として掲げ、活動を開始した。

【平成 20 年度】

重点施策として、「佐渡伝統文化研究所の体制づくりの推進及び佐渡の歴史・文化・自然に関する調査・研究とデータベース化、デジタルアーカイブ化の構築」とした。

所 長 石瀬 佳弘
 次 長 北見 継仁
 情報指導員 池田 雄彦
 主 事 滝川 邦彦
 研究員補助 八木千恵子

【平成 21 年度】

研究所の機能を拡充強化することによって、地域学の拠点化を図るために、本年度から「佐渡伝統文化研究所」の名称を「佐渡学センター」に改称し、組織体制として新たに文化・学芸係を置き、佐渡島内の博物館・資料館管理運営及び学芸業務も統合した。また事務所も両津郷土博物館内に設置した。

【重点施策】

- 伝統芸能を始め、歴史・文化遺産の保存、継承、活用は、重要な課題であり、平成 21 年度は市民と協力して、基本方針となる文化振興ビジョン策定に取り組む。
- 伝統と魅力ある地域文化の保存・継承を目的として、佐渡の歴史・文化・自然等に関する研究や情報発信、資料のデータベース化を行う。
- 地形や地質など自然遺産が豊富な島である「佐渡」を、国内はもとより広く世界に紹介できるように、大学等の関係機関との連携を図りながら、ジオパークとして世界認定を受けるための準備を進める。

| | |
|---------|-------|
| 所 長 | 石瀬 佳弘 |
| 次 長 | 北見 継仁 |
| 情報指導員 | 池田 雄彦 |
| 文化・学芸係長 | 野口 敏樹 |
| 主 事 | 山口 忠明 |
| 主 事 | 宇治 美徳 |
| 主 事 | 須藤 洋行 |
| 主 事 | 滝川 邦彦 |

【平成 22 年度】**【重点施策】**

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- ジオパーク認定を目指した取り組みを進める。
- 新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

| | |
|---------|-------|
| 所 長 | 渡邊 剛忠 |
| 次 長 | 北見 継仁 |
| 情報指導員 | 池田 雄彦 |
| 文化・学芸係長 | 野口 敏樹 |
| 主 事 | 山口 忠明 |
| 主 事 | 須藤 洋行 |
| 主 事 | 滝川 邦彦 |

【平成 23 年度】**【重点施策】**

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。
- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- 新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

| | |
|--------|---------------|
| 所 長 | 渡邊 剛忠 |
| 次 長 | 本間 俊一郎 |
| 情報指導員 | 池田 雄彦 |
| 文化学芸係長 | 野口 敏樹 |
| 主 任 | 滝川 邦彦 |
| 主 任 | 須藤 洋行 |
| 主 事 | 山口 忠明 |
| 雇 員 | 本間 裕亨（研究員補助員） |

【平成 24 年度】**【重点施策】**

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。
- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。

○新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

| | | | |
|--------|---|----|------------|
| 所 | 長 | 渡邊 | 剛忠 |
| 次 | 長 | 本間 | 俊一郎 |
| 学芸専門員 | | 北見 | 継仁 |
| 情報指導員 | | 池田 | 雄彦 |
| 文化学芸係長 | | 野口 | 敏樹 |
| 主 | 任 | 滝川 | 邦彦 |
| 主 | 任 | 須藤 | 洋行 |
| 主 | 事 | 山口 | 忠明 |
| 雇 | 員 | 本間 | 裕亨（研究員補助員） |

【平成 25 年度】

【重点施策】

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行なうとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を博物館・資料館と協働いながら行なう。
- 行政改革における施設の統廃合が急務であり、博物館・資料館の管理体制の見直しを図る。
- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行なう。
- 新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

| | | | |
|-------|---|----|-----------|
| 所 | 長 | 渡邊 | 剛忠 |
| 次 | 長 | 藤井 | 甚栄 |
| 学芸専門員 | | 北見 | 継仁 |
| 情報指導員 | | 池田 | 雄彦 |
| 主 | 任 | 滝川 | 邦彦 |
| 主 | 任 | 須藤 | 洋行 |
| 主 | 事 | 山口 | 忠明 |
| 雇 | 員 | 本間 | 裕亨（研究補助員） |

II 管理運営の状況

【平成26年度 佐渡学センター運営方針】

- ◎施設（博物館・資料館）における収蔵品の保存・活用や指定文化財等の保管管理の徹底と収蔵資料のデータベース化を推進する。
- 行政改革における施設の統廃合を推し進め、博物館・資料館の今後の管理体制の見直し、効率的に運営を図る。

【博物館・資料館（文化学芸係）運営方針】

【重点施策】

- 佐渡博物館を佐渡市の総合的な博物館と位置づけ、三資産の普及啓発活動と連携しながら、学校教育での活用、市民にとって親しみやすい博物館づくりに努める。

【運営方針】

- 佐渡博物館の今後のあり方について、検討委員会を設ける検討・協議し、新しい博物館造りを目指す。
- 伝統文化等保存支援事業（補助事業）
佐渡島内に伝承されている伝統芸能等の後継者・保持団体の活動に対し補助事業を実施、伝統文化の保存・伝承・活用を図る。
- 佐渡の歴史、文化・自然に関するレファレンス業務の推進を図る。
- 博物館・資料館管理の徹底を図る。
- 博物館の企画展示の計画的な開催を目指す。
- 収蔵品の保存活用について、方策を検討。
- 佐渡博物館を学校教育の教科・領域で効果的活用が図れるように小中学校との連携を図る。

1 組織

| | |
|-------|-------------------------|
| 所長 | 渡邊 剛忠 |
| 次長 | 藤井 甚栄 |
| 情報指導員 | 池田 雄彦 |
| 主任 | 中川 扇美 |
| 主任 | 滝川 邦彦 |
| 主任 | 山口 忠明 |
| 主事 | 中川 優子 |
| 主事 | 小田 和也 |
| 雇員 | 本間 裕亨（研究員補助員） |
| 雇員 | 伊藤 文恵（佐渡博物館） |
| 雇員 | 中村 政春（佐渡博物館） |
| 雇員 | 宇田美智子（相川郷土博物館） |
| 雇員 | 小林 尚子（相川郷土博物館） |
| 雇員 | 本間 裕徳 （相川郷土博物館金泉収蔵庫） |
| 雇員 | 佐々木妙子（佐渡国小木民俗博物館） |
| 雇員 | 渡辺 啓子（史跡佐渡奉行所跡） |
| 雇員 | 河村 厚子（史跡佐渡奉行所跡） |
| 雇員 | 齋藤 鈴香（史跡佐渡奉行所跡） |
| 雇員 | 岩崎千代美（史跡佐渡奉行所跡） |
| 雇員 | 長浜 佑子（史跡佐渡奉行所跡） |
| 雇員 | 大瀬 美保（史跡佐渡奉行所跡） |
| 雇員 | 萩田 裕子（史跡佐渡奉行所跡） |
| 雇員 | 佐々木さゆり（相川技能伝承展示館） |
| 雇員 | 山本加奈子（相川技能伝承展示館） |
| 雇員 | 山本 悦子（相川技能伝承展示館） |
| 雇員 | 小杉 栄枝（相川技能伝承展示館） |
| 雇員 | 寺尾フジ子（相川技能伝承展示館） |

2 施設の状況等

2.1 佐渡博物館



開館年度 昭和32年度

2.1.1 施設概要

場 所 佐渡市八幡2041番地
 敷地面積 6647.9㎡
 建物総面積 1632.05㎡
 構造・階数 鉄筋コンクリート造2階建
 展示室 856.16㎡
 収蔵庫 107.79㎡
 図書室 25.69㎡
 会議室 33.77㎡
 事務室 67.96㎡
 その他 540.68㎡
 駐車場 大型バス3台・普通車20台

2.1.2 総事業費

不明

2.2 両津郷土博物館

事業名 社会教育施設等整備費補助金
 建設年度 昭和56年度



2.2.1 施設概要

場 所 佐渡市秋津1596
 敷地面積 49,590㎡

建築面積 1,373.59㎡
 構造・階数 鉄筋コンクリート造2階建、地下1階
 駐車場 約50台

2.2.2 総事業費

515,912千円

2.3 相川郷土博物館

事業名 相川小学校80周年記念事業
 開館年度 昭和31年度



2.3.1 施設概要

場 所 佐渡市相川坂下町20
 敷地面積 (総面積) 3,150㎡
 建築面積 (総面積) 1,055.16㎡
 構造・階数 木造平屋建(一部2階建)
 御料局佐渡支庁跡(2階建) 172.24㎡
 展示室(1階) 244.89㎡
 特別展示室・準備室 84.60㎡
 事務室ほかその他 117.19㎡
 有田八郎記念館 116.76㎡
 収蔵庫 198.00㎡
 名誉町民資料館 55.48㎡
 駐車場 伝承館と共用 約20台

2.3.2 総事業費

不明

備 考 明治22年建築。相川小学校80周年記念事業として収集した歴史・鉱山・民俗資料を、鉱山縮小によって空いた鉱山事務所を利用して郷土博物館として昭和31年7月に開館した。

2.4 相川文書館

建設年度 昭和51年度（移築）



2.4.1 施設概要

場 所 佐渡市相川坂下町20
（相川郷土博物館敷地内）

建築面積 66㎡

構造・階数 木造平屋建

駐車場 伝承館と共用 約20台

2.4.2 総事業費

移築費 4,000千円

備 考 大正2年に「相川銀行」の行舎として、羽田町に建てられた。その後第四銀行合併を経て、相川町に寄附され、昭和51年に相川文書館として現在の場所に移築された。

2.5 相川技能伝承展示館

事業名 地域バイタリティ育成事業全体計画

建設年度 昭和60～61年度



2.5.1 施設概要

場 所 佐渡市相川北沢町2番地

敷地面積 2,271㎡

建築面積 712.17㎡

構造・階数 鉄筋平屋建（一部2階建）

陶芸実習室 109.31㎡

裂織り実習室 93.57㎡

資料展示室 109.31㎡

窯小屋・登り窯 49.68㎡

工房 102.69㎡

ホール 137.75㎡

事務室ほかその他 109.86㎡

駐車場 伝承館と共用 約20台

2.4.2 総事業費

81,532千円

2.6 史跡佐渡奉行所跡

事業名 佐渡金山遺跡佐渡奉行所保存整備事業

建設年度 平成7～18年度



2.6.1 施設概要

場 所 佐渡市相川広間町1番地1

敷地面積 18,542㎡

建築面積 1,541.6㎡

構造・階数 木造平屋建

御物見 34.7㎡

御役所 990.0㎡

御門番所 32.0㎡

御普請方役所 140.4㎡

勝場 344.5㎡

駐車場 約20台

2.6.2 総事業費

2,387,984千円

2.7 佐渡国小木民俗博物館

2.7.1 佐渡国小木民俗博物館（旧館）

2.7.1.1 施設概要



場 所 佐渡市宿根木270-2
 敷地面積 (総面積) 11,192㎡
 (旧館) 9868.96㎡
 建築面積
 延床面積 2,930㎡
 構造・階数 木造平屋建て
 駐車場 10台

2.7.1.2 総事業費

19万円

備 考 大正9年に建てられた木造校舎をそのまま
 利用し、昭和47年6月に開館した博物館。

2.7.2 佐渡国小木民俗博物館（新館）

事業名 農村地域農業構造改善事業
 (自然活用型)

建設年度 昭和56～59年度



2.7.2.1 施設概要

場 所 佐渡市宿根木
 敷地面積
 建築面積 627.52㎡
 延床面積
 構造・階数 鉄筋コンクリート平屋建て
 駐車場 旧館と共用 10台

2.7.2.2 総事業費

87,194千円

2.8 千石船展示館

事業名 山村振興等農林漁業特別対策事業

建設年度 平成8～9年度



2.8.1 施設概要

場 所 佐渡市宿根木
 敷地面積
 建築面積 695.52㎡
 延床面積
 構造・階数 木造平屋建て
 駐車場

2.8.2 総事業費

135,366千円

2.9 海運資料館

(南佐渡離島開発総合センター内2F)

事業名 離島開発総合センター建設事業

建設年度 昭和54～55年度



2.9.1 施設概要

場 所 佐渡市小木町1941-1
 敷地面積 1428㎡

建築面積 1616.13㎡
 延床面積 500㎡
 構造・階数 鉄筋コンクリート3階建て
 (一部中4階)
 駐車場 10台

2.9.2 総事業費

236,199千円

備考 平成22年度から佐渡考古資料館の資料も加えリニューアルオープンした。

2.10 幸丸展示館

事業名 日本宝くじ協会助成事業、町づくり特別対策事業
 建設年度 昭和59年度



2.10.1 施設概要

場 所 佐渡市小木町1941-1
 敷地面積 1837㎡
 建築面積 303.65㎡
 延床面積 206㎡
 構造・階数 鉄骨造り1棟
 駐車場

2.10.2 総事業費

52,000千円

2.11 佐渡植物園

建設年度 昭和23年度

2.11.1 施設概要

場 所 佐渡市羽茂飯岡550-6
 敷地面積 59,671㎡ (施設概要より)
 ※ (総面積) 65,040㎡
 建築面積



(管理棟) 35㎡
 (作業棟) 19.87㎡
 (温室) 58.32㎡
 延床面積 55㎡
 構造・階数 鉄骨造り1棟

駐車場

2.11.2 総事業費

不明

2.12 新穂歴史民俗資料館

建設年度 昭和62年度



2.12.1 施設概要

場 所 佐渡市新穂瓜生屋492
 敷地面積 2,348㎡
 建築面積 922㎡
 構造・階数 鉄筋コンクリート造2階建
 駐車場

2.12.2 総事業費

250,094千円

2.13 金井歴史民俗資料収蔵庫

事業名 国宝重要文化財等保存施設整備費補助金(国)、文化保存事業費補助金(県)

建設年度 昭和50年度



2.13.1 施設概要

場 所 佐渡市泉甲375-1

敷地面積 約2,000㎡

建築面積 収蔵庫 144㎡

展示館 136㎡

構造・階数 鉄筋コンクリート造平屋建

駐車場

2.13.2 総事業費

15,010千円

2.14 明治記念堂（開導館）

建設年度 明治35年度



2.14.1 施設概要

場 所 佐渡市千種丙154

敷地面積 1,055.2㎡

建築面積 72.24㎡

構造・階数 木造平屋建

2.14.2 総事業費

明治記念堂 不明

開導館 4,100千円（昭和50年復原）

3 平成26年度入館者の状況

| | 佐渡博物館 | 両津郷土博物館 | 相川郷土博物館 | 相川技能伝承展示館 | 史跡佐渡奉行所跡 | 佐渡国小木民俗博物館 | 海運資料館 | 新穂歴史民俗資料館 | 金井歴史民俗資料収蔵庫 | 赤泊郷土資料館 | (佐渡植物園) | 総計 |
|------------|--------|---------|---------|-----------|----------|------------|-------|-----------|-------------|---------|---------|--------|
| 4月 | 671 | 0 | 119 | 128 | 1,059 | 906 | 76 | 64 | 0 | 33 | 300 | 3,056 |
| 5月 | 1,316 | 35 | 541 | 524 | 3,491 | 2,346 | 142 | 132 | 0 | 44 | 350 | 8,571 |
| 6月 | 1,513 | 19 | 2,495 | 2,279 | 4,245 | 3,152 | 144 | 306 | 1 | 98 | 460 | 14,252 |
| 7月 | 1,168 | 80 | 824 | 887 | 2,366 | 2,622 | 240 | 122 | 0 | 15 | 450 | 8,324 |
| 8月 | 1,910 | 8 | 501 | 706 | 3,029 | 4,584 | 294 | 178 | 0 | 65 | 380 | 11,275 |
| 9月 | 1,036 | 0 | 573 | 606 | 2,364 | 2,634 | 97 | 437 | 0 | 22 | 350 | 7,769 |
| 10月 | 1,180 | 4 | 99 | 137 | 1,916 | 1,787 | 111 | 783 | 0 | 6 | 200 | 6,023 |
| 11月 | 874 | 4 | 42 | 60 | 1,154 | 674 | 46 | 170 | 0 | 32 | 200 | 3,056 |
| 12月 | 299 | 0 | 5 | 33 | 89 | 56 | 29 | 2 | 0 | 2 | 50 | 515 |
| 1月 | 415 | 15 | 2 | 57 | 33 | 35 | 2 | 0 | 0 | 5 | 50 | 564 |
| 2月 | 189 | 73 | 8 | 41 | 101 | 47 | 7 | 0 | 0 | 6 | 50 | 472 |
| 3月 | 335 | 1 | 338 | 53 | 598 | 355 | 36 | 121 | 0 | 68 | 0 | 1,905 |
| 入館者 年度計 | 10,906 | 239 | 5,547 | 5,511 | 20,445 | 19,198 | 1,224 | 2,315 | 1 | 396 | 2,840 | 65,782 |

※総計には、佐渡植物園入場者を含まず。

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|----------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-----|-----|---------|--------|
| 平成16年度 | (20,225) | 2,772 | 4,497 | 7,844 | 26,317 | 20,523 | 1,477 | 2,801 | 263 | 594 | | 67,088 |
| 平成17年度 | (20,031) | 3,021 | 4,354 | 7,535 | 25,690 | 19,902 | 1,309 | 2,308 | 315 | 812 | | 65,246 |
| 平成18年度 | (16,248) | 3,086 | 3,599 | 6,800 | 29,195 | 18,247 | 1,363 | 2,607 | 153 | 493 | | 65,543 |
| 平成19年度 | (14,417) | 2,681 | 2,755 | 6,239 | 22,880 | 17,334 | 1,413 | 2,944 | 176 | 414 | | 56,836 |
| 平成20年度 | (13,470) | 3,162 | 4,925 | 6,279 | 20,648 | 15,038 | 1,460 | 3,445 | 123 | 282 | | 55,362 |
| 平成21年度 | (12,621) | 1,838 | 5,883 | 5,609 | 22,105 | 19,136 | 1,237 | 2,859 | 0 | 313 | (4,360) | 58,980 |
| 平成22年度 | (10,566) | 2,482 | 6,134 | 5,890 | 20,224 | 18,338 | 1,241 | 2,314 | 74 | 189 | (3,650) | 56,886 |
| 平成23年度 | (10,072) | 2,406 | 6,893 | 6,793 | 19,077 | 16,957 | 1,513 | 2,942 | 0 | 168 | (2,830) | 56,749 |
| 平成24年度 | (10,660) | 3,634 | 6,402 | 6,944 | 18,407 | 17,219 | 1,472 | 2,946 | 0 | 254 | (2,860) | 57,278 |
| 平成25年度 | (8,492) | 2,212 | 6,055 | 6,207 | 18,568 | 16,624 | 1,157 | 2,693 | 0 | 308 | (3,230) | 53,824 |
| 平成26年度 | 10,906 | 239 | 5,547 | 5,511 | 20,445 | 19,198 | 1,224 | 2,315 | 1 | 396 | (2,840) | 65,782 |

※総計には、佐渡植物園入場者を含まず。平成20・21年度は海運資料館に考古資料館入館者数を含む

※21年度以降は、入館者に無料入館者数を含む。

※佐渡博物館は26年度より含む。平成25年度までは財団運営であったため、数に含んでいない。

Ⅲ 事業内容

1 文化・学芸事業内容

1.1 常設展示

1.1.1 佐渡博物館

1.1.1.1 事業趣旨

昭和32年(1957)9月1日に佐渡の郷土資料を収蔵・展示する総合博物館として開館。島内の学術団体、研究者の協力・支援のもと、調査研究・収集保管・展示公開等の事業を展開してきた。

平成5年(1993)には増改築を行い、2階土田麦僊素描展示室(現2階企画展示室)と1階企画展示室(現1階佐渡金銀山展示室)を新設した。

平成25年11月30日に運営主体の財団法人が解散し、一時休館。

平成26年4月1日に佐渡市立博物館として、ジアス(GIAHS:世界農業遺産)・世界遺産暫定リストに登録された佐渡金銀山・日本ジオパークに認定された佐渡ジオパークの三つの遺産の発信をすると共に、佐渡の自然・歴史・文化の調査研究・公開・発信を進め、佐渡学を学べる総合博物館として、再出発した。(土地・施設は新潟交通株式会社の所有。寄贈資料・購入資料として財団法人が所有していた資料は佐渡市の所有となった。)

所蔵資料は約7000件あり、そのうち、土田麦僊素描資料は約500点である。

1.1.1.2 展示構成

常設展示は2階自然・考古・歴史・民俗展示室で行っており、佐渡ジオパークのコンセプトである「金とトキでたどる3億年の旅とひとの暮らし」の題で佐渡全体の自然・歴史・文化をまとめて紹介している。

同じく2階の美術・工芸展示室は企画展会場となっている。無名異焼・蠟型鑄金などの伝統工芸作品や佐渡出身の美術作家の作品などの展示を行っている。

1階では佐渡金銀山展示室を設け、絵図面・採掘精錬道具・出土品・絵葉書き等を用いて佐渡金銀山遺跡の紹介・案内・歴史解説を行っている。1階ホールには、「佐渡と人物」・佐渡市が推進する三つの遺産のパネル、クジラの化石等がある。

中庭はロックガーデン(佐渡産出の岩石50種)となっ

ていて、赤松林の中を散策できる。中庭の両脇に、佐渡の民家と土蔵(いずれも移築、安全確保のため建物内立入り禁止)・古墳時代の竪穴住居と高床式倉庫(いずれも復元、安全確保のため建物内立入り禁止)がある。定期観光や、案内を希望する入館者に対応するため、簡易的なガイドマニュアルを作成し、職員が即座に対応できるようにした。

1.1.1.3 常設展示の保守点検・補修

佐渡の自然・歴史・文化を紹介する博物館・子ども達の学びに活用できる博物館・佐渡が次世代に伝えたい3資産(佐渡金銀山・佐渡ジオパーク・世界農業遺産「トキと共生する佐渡の里山」)を紹介する施設として、館内外及び周辺的美観や見学環境を維持管理するため、保守点検・補修を行っている。

1.1.1.4 資料展示替え

佐渡市立佐渡博物館として再出発するのに合わせて、2階で行っていた佐渡金銀山展示を1階に移動し、2階で新たに美術工芸関係の展示スペースとして、土田麦僊、人間国宝3名の作品など美術工芸を中心に展示した。

1.1.1.5 企画展示

① 特別企画展「土田麦僊ーその素描の世界ー」

平成26年11月1日(土)～平成27年1月31日(土)

佐渡博物館が旧財団より佐渡市に引き継がれたことにより、また祝佐渡市施行10周年記念として特別展として開催した。

② 収蔵資料公開展

「蔵に残る文化」ー旧兒玉医院資料展ー

平成27年2月10日(火)～4月10日(金)

本年度、旧兒玉医院遺族より佐渡博物館に寄贈された寄贈資料をコレクションとして公開展示した。

①②の概略は、1.2 企画展示で紹介

1.1.2 両津郷土博物館

平成26年4月1日より閉館
事前申し込みにより開館し、館内案内、資料閲覧を実施した。

1.1.2.1 事業趣旨

昭和53年に制定された「加茂湖総合開発計画」により、湖に半島となって突き出た樹崎一帯が「レクリエーション保存地区」として位置づけられた。そのなかで、市民の憩いの場、また、生涯教育の一拠点として、昭和57年に開館した博物館。メインテーマは「島のくらしと文化」としており、漁撈用具などの民俗資料を中心に3万点以上の資料が収蔵されている。

1.1.2.2 展示構成

常設展示は、それぞれ「海」、「くらしと木」、「祭」をテーマとした、第1～第3展示室で構成されている。民俗資料を中心に歴史資料がそれを補完する形での展示を行っている。

また、エントランスでの新収蔵資料の展示や特別展示室を利用した企画展示を随時行っている。

1.1.2.3 常設展示の保守点検・補修

生涯学習施設、また市民の憩いの場として、館内外及び周辺的美観を維持管理するため、保守点検・補修を行っている。

1.1.2.4 資料展示替え

特になし。

1.1.3 相川郷土博物館

1.1.3.1 事業趣旨

御料局佐渡支庁跡に三菱佐渡鉱山の所長室及び本部事務室として建築され、鉱山の大幅縮小に伴い鉱山資料と共に三菱より相川町へ譲渡され、昭和31年に開館した博物館。資料展示は主に鉱山資料を中心に約800点を展示している。鉱山以外の資料として、「佐渡海府の紡織用具と製品」（国指定重要有形民俗文化財）がある。

1.1.3.2 展示構成

相川地区は金銀山と共に生きてきた地域であり、鉱山に関係した資料を展示し、そのほか考古資料や遊女関連資料、終戦時に外務大臣を務めた有田八郎氏の資料を展示したコーナーがある。

体験コーナーとして水上輪すいしょうりんを設置し、実際に回して鉱山労働の厳しさと、当時の技術を体感できる。

1.1.3.3 順路案内

建物本体が博物館として建築されたものでないため、スムーズに展示物の見学ができるようになっていない。そのため巡回するようになることができないため、案内看板を設置し、受付でも説明するようにしている。

1.1.3.4 常設展示の保守

敷地内や建物の一部が国指定史跡となっていることから、史跡保存のため周辺的美観等の維持を中心に行っている。また、建物が古いため、建物の補修や来館者の安全に対して保守点検を随時実施し、平成25年度は周辺の草刈りと軽微な建物補修、消防用設備等総合点検を実施した。

1.1.3.5 展示資料替

佐渡博物館で開催している佐渡金銀山展に展示物・収蔵物を出展しているため、代替え品として鉱山機械の木型等を展示している。

1.1.3.6 企画展示

相川出身で江戸時代の絵師「石井夏海・石井文海親子」の資料を特別展示室で公開している。

公開にあわせて資料を再調査・デジタル化し、複製を中心に展示している。

1.1.4 相川文書館

1.1.4.1 事業趣旨

昭和45年から始まった町史編纂事業であるが、博物館が非常に手狭なため、昭和48年に旧第四銀行相川支店（大正2年建築）を改築する際に旧相川町へ建物を譲渡してもらい、昭和50年に完全移築し、町史編纂の作業とその資料の公開を目的として開館した。

1.1.4.2 展示構成

基本的に展示物はなく、町史編纂時の貴重資料が保管管理されている。

1.1.4.3 常設展示の保守

相川郷土博物館と一体のものとして、保守管理に含めている。

1.1.4.4 展示資料替

収蔵されている貴重資料の台帳を現在作成している。

1.1.5 相川技能伝承展示館

1.1.5.1 事業趣旨

地域バイタリティー育成事業を活用して、地域の歴史や伝統技術の学習機会を拡大するため、一般・児童・生徒・学生を対象とした陶芸実習や裂き織り体験の受入を主目的に昭和61年に開館した。

1.1.5.2 展示構成

展示室では島内の窯元・裂き織り愛好者の作品を集めて展示している。また、体験学習のメニューにはないが、文弥人形も展示している。裂き織りについては裂き織り実習室が自由に出入りでき、見学できるようになっている。

1.1.5.3 常設展示の保守

体験設備として作業する建物であることから、機器の整備や安全管理を常に行い、特に窯での陶芸作品焼成等があるため火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等総合点検を実施している。

1.1.5.4 展示資料替

展示している陶芸作品は寄託品で、窯元から変更の依頼があった場合に作品を変更している。

また、裂き織り作品販売コーナーに隣接して、商品サンプル的な陶芸作品を展示するスペースを設けて、出品している。

1.1.6 史跡佐渡奉行所跡

1.1.6.1 事業趣旨

平成6年度に佐渡金山遺跡（佐渡奉行所跡）が国の史跡として指定されたことを受け、平成13年度に「御

役所」建物を江戸期の技術で復元公開し、平成16年度には金銀山のガイダンス施設となる「勝場」の公開を開始した。

1.1.6.2 展示構成

基本的に当時の技術で復元した建物を来館者に体感してもらう形であり、御役所内を説明員が案内している。ガイダンス施設である勝場では発掘調査で出土した遺物や、絵巻物などの資料を展示し、当時の選鉱作業の設備を復元し、実際に鉱山白を回す体験を行っている。施設の活用を図るため、地域イベントである「佐渡國相川ひなまつり・お茶会」「宵の舞」「鉱山祭り」の会場として開放している。

1.1.6.3 順路案内

建物本体が当時の復元として建築されたため、建物内に矢印などの巡回案内を設置し、説明員がつくようにしている。

1.1.6.4 常設展示の保守

当時の建物を復元したため、建物内での火気は厳禁であり、照明も最低限度の設置としている。機器の整備や安全管理を常に行い、特に火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等総合点検を実施している。

1.1.7 佐渡国小木民俗博物館

1.1.7.1 事業趣旨

大正9年に建てられた木造校舎をそのまま利用して、昭和47年6月に開館した博物館。館内には主に民俗資料を展示。その数30,000点余り。うち「南佐渡の漁撈用具1,293点」「船大工道具1,034点」は国の重要有形民俗文化財に指定されている。千石船展示館には、安政5年（1858年）に宿根木で建造された「幸栄丸」を当時の板図（設計図）をもとにし実物大で復元した「白山丸」が展示されている。

1.1.7.2 展示構成

旧館には、「衣」「信仰」「陶器」をテーマにした展示室のほか、昔の生活道具を展示している大型展示室がある。新館には南佐渡の漁撈具や農具などを展示。そ

して、千石船展示館には、全長 23.75 m の白山丸を展示しており船内の見学もできる。

1.1.7.3 順路案内

旧館と展示館は通路がつながっているが新館が離れている。そのため新館を観覧せずに退館してしまう入館者も見られたので、観覧順路図を作成し受付にて配布した。また、外国から訪れた入館者も多いため、裏面には英語表記で順路を示した。

1.1.7.4 常設展示の保守点検・補修

市民の文化的・学術的活動の支援につなげるため館内と周辺的美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に常設展示室の保守点検・軽微補修、照明機器の補修・補充等を行っている。

24年度は、4～9月までに博物館周辺の草刈りを6回、樹木の剪定を12月にそれぞれ行った。消防用設備等総合点検は2回行い、照明器具については定期的に館員が点検し迅速な処理を行っている。

1.1.7.5 資料展示替

特になし

1.1.8 海運資料館

1.1.8.1 事業趣旨

この資料館では、郷土共通の課題「海運」と、住民のくらしとの係わり合いを資料展示している。

また、発掘調査によって明らかとなった長者ヶ平遺跡を中心に考古資料を展示している。かつて海を介して運ばれた縄文土器や黒曜石などの資料をとおして海上交易が盛んであった古代の海運を紹介している。

1.1.8.2 展示構成

文化、芸能と人との係り、小木港が大きな役割を果たした金銀輸送のみち、船絵馬、旧小木町が日本一の生産地であった船簞笥、和船に使用された用具、西回り航路による流れ、近世の汽船時代コーナー等をわかりやすく展示。

また、国指定史跡である長者ヶ平遺跡の出土遺物を中心に展示している。

1.1.8.3 資料展示替

特になし

1.1.9 幸丸展示館

1.1.9.1 事業趣旨

近世までの日本海は、表日本であった。経済発展を支えた海上交通は、小木港から対岸である越後へも往來を繰り返した。小木一寺泊間を結んだ現存する佐渡海峡最後の木造和船である「幸丸」を港湾区域内に展示することにより、かつての小木港の歴史を偲ぶと共に小木一寺泊との歴史や人と物との交流の足跡を物語るシンボルとして保存している。

1.1.9.2 展示構成

18 m × 24 m の吹き抜けの展示館内には、船主であった長谷川正作氏の計画により、航海中にいかなる船も優先した「右舷開き」と呼ばれる帆形を再現して展示を行っている。また、展示館前庭には、案内看板の解説や天然記念物および名勝「佐渡小木海岸」の岩石（沈状溶岩、柱状節理）、かつて湾内に使用されていた尾道産の御影石などを配し、無料入館できる市民に身近な文化施設として利用されている。

※現在は、傷みのため帆を下ろしている。

1.1.9.3 資料展示替

特になし

1.1.10 佐渡植物園

1.1.10.1 事業趣旨

佐渡島の植物分布の特異性、多様性の縮図として、佐渡島内に自生している植物を収集、植栽、展示して研究の資料として提供する。

青少年の生涯学習の場としての植物園を提供する。

文化的、学術的資料を提供し、植物に親しむ場を提供する。

1.1.10.2 展示構成

北緯 38 度線上に位置する佐渡島は、潮流の影響によって寒暖の差が少なく自生種が極めて多い。日本列島の縮図的な植物分布となっている。13 のゾーンに区分けした園内には、自生種の代表的な植物を植栽展示

しており自然散策道や遊歩道を歩くと四季を通じて趣が感じられる。

昭和47年佐渡植物園20周年記念として、明治神宮から分けて頂いた花菖蒲は6月下旬～7月上旬が見頃である。

1.1.10.3 山野草展

来園者に四季を感じて頂くため、羽茂公民館を会場に春の山野草展（5月）、ウチョウラン展（7月）、大文字草展（10月）、雪割草展（3月）の4回の山野草展を開催している。

1.1.10.4 園内の整備点検

市民の文化的・学術的活動を支援につなげるため園内と周辺的美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に園内の整備点検を行っている。

1.1.10.5 資料展示替

特になし

1.1.11 新穂歴史民俗資料館

1.1.11.1 事業趣旨

当初は、大野川ダム建設事務所であった建物を利用して、昭和55年に開館した。トキをはじめとして、旧新穂村に関する資料を中心に考古・農具などが収集されていた。これらの資料をさらに有効利用するため、昭和62年に現在の資料館が建設された。1階において芸術・伝統芸能、2階において考古と民俗資料の展示を行っている。また、1階では裂き織りや勾玉作りの体験を随時受け付けている。

1.1.11.2 展示構成

まず1階では、新穂出身の日本画の大家土田麦僊の作品や鬼太鼓、国指定文化財の文弥人形、県指定文化財の説経人形、のろまん人形に関する資料が展示されている。2階においては、国指定重要文化財の新穂玉作遺跡や蔵王遺跡の資料、また各種農具や生活用具といった民俗資料が展示されている。

1.1.11.3 常設展示の保守点検・補修

平成22年度より、地元の裂き織りサークルに受付

業務の委託を行っている。受付以外の施設保守については、職員が随時点検することで補完している。

平成26年度は、シルバー人材センターに委託している。

1.1.11.4 資料展示替え

常設展示については、基本的に展示替えを行っていない。

1.1.12 金井歴史民俗資料収蔵庫

1.1.12.1 事業趣旨

広く佐渡国中平野における農耕文化資料等の保存を目的として、昭和50年に竣工した。その後、郷倉が両津市大字上横山（現在の佐渡市上横山）から移築されている。民俗資料約2,000点、考古資料約4,000点を収蔵している。平成23年度から資料館としての開館は行っていない。

1.1.13 明治記念堂（開導館）

1.1.13.1 事業趣旨

明治27年から28年にかけて行われた日清戦争で、佐渡出身の兵士40余名が戦死した。その英霊を慰めるため明治29年に、金井地区得勝寺の住職である本荘了寛が一念発起し、島内外から義捐金を集め、敷地を購入し堂宇を建立し「明治記念堂」と名付けた。

その後、付属施設として博物資料を展示するための「開導館」を建てた。相川の鉱山学校から譲り受けた資料や、日清・日露戦争等の資料、島内外の資料を陳列した。明治35年に、明治記念堂と開導館の落成式が開催された。

現在、資料館としての開館は行っておらず、今後文化財として活用する予定。

1.2 企画展示

1.2.1 佐渡博物館

「佐渡の美術工芸」

会期：平成26年4月1日（火）～10月21日（火）

主催：佐渡市教育委員会

内容：主に明治時代以降の佐渡ゆかりの美術工芸作家の作品を展示した。

会場には作者の略歴を記した配布資料を置いて、

作品展示だけでなく作家の紹介もできるように配慮した。入館者 8,360 人。

「佐渡市市制施行 10 周年記念 佐渡博物館特別企画展 土田麦僊—その素描の世界—」

会期:平成 26 年 11 月 1 日(土)~平成 27 年 1 月 31 日(土)

※前期 11 月 1 日(土)~12 月 24 日(水)

後期 12 月 27 日(土)~1 月 31 日(土)

主催:佐渡市教育委員会

共催:佐渡市

協力:一般財団法人 知足美術館

後援:新潟交通佐渡株式会社・佐渡汽船株式会社・国際観光ホテルハ幡館・新潟日报社・NHK 新潟放送局・株式会社サドテレビジョン

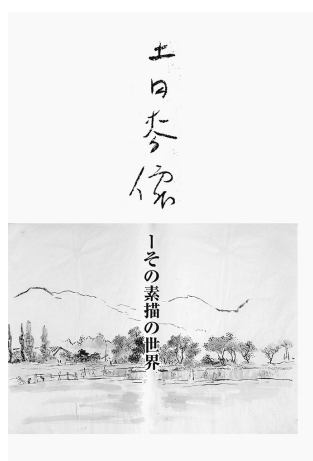
内容:故土田千代夫人から、昭和 34 年に当時の財団法人佐渡博物館に寄贈された下絵・写生帳・書簡・遺品のほか、佐渡市立博物館資料館収蔵品、幼少期・初期の作品や、頭角を現した後の素描、未公開の作品も展示した。

付帯事業として、初日の 11 月 1 日(土)には、展示指導いただいた新潟市新潟美術館 館長 横山 秀樹氏から「土田麦僊—創作の生涯—」と題して講演いただいた。

作品・資料数は前期が 79 点、後期が 68 点。入館者 1,236 人。



ポスター



図録

「佐渡博物館収蔵資料公開展 蔵に残る文化—旧兒玉医院所蔵資料展—」

会期:平成 27 年 2 月 10 日(火)~4 月 10 日(金)(予定)

主催:佐渡博物館

内容:金井新保にあった旧兒玉医院の医師 兒玉喜平治氏と息子の喜夫氏が収集した美術・工芸品がご遺族から佐渡博物館に寄贈された。

近代における佐渡国中の医家に収蔵されたコレクションをとおり、蔵に残る文化の一端としての書画・陶磁器類等を展示した。入館者 185 人(2 月末現在)。



ポスター

1.2.2 佐渡植物園

春の山野草展

会期:平成 26 年 5 月 10 日(土)~5 月 11 日(日)

主催:佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場:羽茂地区公民館ホール

内容:出展者 11 名、展示 234 鉢、来場者 122 名

ウチョウラン展

会期:平成 26 年 7 月 12 日(土)~7 月 13 日(日)

主催:佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場:羽茂地区公民館ホール

内容:出展者 10 名、展示 256 鉢、来場者 118 名

大文字草展

会期:平成 26 年 10 月 18 日(土)~10 月 19 日(日)

主催:佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場:羽茂地区公民館ホール

内容:出展者 10 名、展示 256 鉢、来場者 91 名

雪割草展

会期:平成 27 年 3 月 28 日(土)~3 月 29 日(日)

主催:佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場：羽茂地区公民館ホール

内容：出展者 10 名、展示 290 鉢、来場者 172 名

入館者 300 人。

1.2.3 新穂歴史民俗資料館

裂き織り作品展

会期：平成26年10月7日（火）～31日（金）

主催：佐渡市教育委員会（社会教育課佐渡学センター）
新穂さきおりサークル

内容：10月12日の「トキ夕映え市」に合わせて開催。

主に島内在住の裂き織り愛好者が、自作品を出品した。作品数150点。入館者数 347人

2014 新穂の夏 思い出写真展・「空也上人像」里帰り展

会期：平成26年10月7日（火）～11月30日（日）

主催：新穂の文化と歴史を考える会

内容：新穂の夏祭りを振り返る写真展および両津博物館に置かれていた「空也上人像」の公開展。写真展示数64点。入館者数 289人

ふるさと遺産 新穂銀山絵図特別展

会期：平成27年3月24日（火）～平成27年4月19日（日）

主催：新穂銀山友の会

共催：新穂歴史と民俗を考える会

内容：新穂銀山に関する絵図を島内から集め特別展を開催。

1.2.4 相川郷土博物館

「佐渡を世界遺産にする会 特別企画展 古地図から見る幕末の世界と日本」

会期：平成27年3月1日（日）～3月8日（日）

主催：佐渡を世界遺産にする会

後援：佐渡市・佐渡市教育委員会・ゴールデン佐渡

内容：佐渡奉行所絵図師であり蘭学への造詣も深い石井夏海・文海家に伝わった絵図・地図等（現在はゴールデン佐渡所蔵）30点を展示した。展示資料の内容は多岐にわたり、写実的な動植物を描いた絵画、佐渡の行事の図、佐渡島内の地図類、日本地図・東洋地図・世界地図の模写など。

1.3 収集保管事業

○土田麦僊書簡・はがき類 3件（4月）（寄贈）

○久知軍記ほか 3件（6月）（寄贈）

○土人形・無名異焼人形・茶掛け・色紙類 7件（6月）（寄贈）

○甚兵衛遺跡発見の縄文土器（完形を含む）一式（6月）（寄贈）

○ハ曲屏風 半双（6月）（寄贈）

○白原吉太郎氏戦争資料一括 10件（6月）（寄贈）

○足袋（サシコを施す）1足（7月）（寄贈）

○金井新保 旧兒玉医院所蔵 佐々木象堂作品（陶器）2件（7月）（寄託）

○金井新保 旧兒玉医院所蔵 美術工芸品類 一括（7月・11月）（寄贈）

○文弥人形 衣装付き1体・頭部のみ3体 4体（9月）（寄贈）

○円山溟北 二行書半切 軸物 1件（10月）（寄贈）

○佐渡博物館で展示していたトキの剥製（佐渡中等教育学校所有）を東京都国分寺市に貸し出し（10月）

○両津郷土博物館で展示していたトキ（アオ）の剥製（佐渡市所有。新穂歴史民俗資料館収蔵資料）を佐渡博物館へ移動、展示。（10月）

○金泉収蔵庫収蔵民具等を北中学校跡へ移動（10月～11月）

○甕 1個（12月）（寄贈）

○ボーリングコア 20箱（12月）（寄贈）

○相川 北見家所蔵書籍 一括（12月）（寄贈）

○鬼太鼓面 2件（1月）（寄託）

○両津郷土博物館収蔵庫の岩石資料を北中学校へ移動（2月）

1.4 調査研究事業

1.4.1 ホームページ更新

随時

1.4.2 調査回答事業（通年）

佐渡博物館は特に歴史文化の情報センターとしての

役割も多く、関係機関・市民・児童生徒・県内外にお住まいの方々から、幅広いお問い合わせがあった。

調査研究・観光等々目的も多岐にわたるが、電話での回答やFAX・電子メール等での資料提供をした。

1.4.3 寄贈・寄託資料デジタルアーカイブ化

および目録作成

1.4.3.1 古文書デジタルアーカイブ化及び資料調査

特に無し

1.4.3.2 稀少出版物およびリポジトリ関係資料のデジタル化

○教育委員会及び世界遺産推進課発刊調査報告書等のリポジトリ関係資料のデジタル化
本年度リポジトリ提供資料 5件

1.5 支援、助成事業

11.5.1 伝統文化等保存支援補助事業

1.5.1.1 体験学習事業 佐渡の能を識る会「さわつてみよう佐渡のお能」

- ・舞囃子「羽衣」鑑賞、能楽4拍子・謡い・仕舞いの各体験
- ミニ講演、「文弥人形」体験
- ・7月7日～9月5日開催
- ・のべ159名参加 金井能楽堂

1.5.1.2 後継者育成事業 高千中学校「文弥人形伝承教室」

- ・通年10名
- ・高千中学校等

1.5.1.3 特別活動支援事業 羽茂高等学校「郷土芸能部」

- ・生徒21名
- ・茨城県神栖市 全国高等学校総合文化祭参加
- ・平成26年7月27日～8月1日
- 目録等作成

1.6 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定事業

11.6.1 シンポジウム

「一地域で語る・地域を語る－宮本常一と佐渡」

- ・日時 平成26年10月25日(土)
午前10時30分～午後4時30分4:00
- ・会場 金井コミュニティセンター
- ・入場者数 250名
- ・内容 午前の部 午前10時30分～
「鼓童」小編成講演
藤本吉利・小島千絵子・藤本容子
午後の部 午後1時～
シンポジウム+討論
- ・基調講演
香月 洋一郎氏
「宮本常一と地域振興－その視点と足跡－」
柳平 則子氏 「布の文化史－宮本からの教え－」
門田 岳久氏
「宮本民俗学と地域の課題－南佐渡の取り組みに学ぶ－」
- ・討論
香月洋一郎・柳平 則子・門田 岳久・池田 哲夫・飯島 康夫(司会)

11.6.2 佐渡学セミナー

- ・日時 平成27年3月21日(土)
午後2時～5時
- ・会場 佐渡市トキのむら元気館
- ・入場者数 約120名
- ・内容
新潟大学人文学部 教授 佐藤 康行 氏
「合併後の佐渡を考える」
新潟大学人文学部 学部長 高木 裕 氏
「フランスの恋愛詩について」
新潟大学人文学部 教授 池田 哲夫 氏
「追悼 佐藤春雄先生－両津市郷土博物館での教え－」

11.6.3 佐渡芸能体験研修

- ・日時 9月12日～15日
- ・会場 赤泊地区

1.6.4 津波調査

昭和39年新潟地震時の津波調査

- ・日時 9月16日～19日
- ・両津夷・両津湊地区の聞き取り調査
- ・堀研究室

1.7 新潟大学学術情報部との連携協定業務

リポジトリ資料の提供

1.8 刊行物

- 土田麦僊展図録
- 佐渡学センター 年報 第6号
- 第4回 シンポジウム記録集

1.9 イベント（共催事業）

1.9.1 相川宵の舞（史跡佐渡奉行所跡）

6月1～2日

1.9.2 白山丸まつり（佐渡国小木民俗博物館）

7月27～28日

1.9.3 新穂トキ夕映え市

10月13日

1.10 小・中学校との連携事業

1.10.1 博物館クイズブックの作成

制作：佐渡市小学校教育研究会社会科部「佐渡博物館クイズブック作成委員会」

共催：佐渡博物館 佐渡社会科授業を研究する会

後援：佐渡市教育委員会

- ・打ち合わせ会議

7月1日

10月4日

- ・作成クイズブック

作成者：市教育研究会社会科部

初級コース 博物館クイズブック A5版4ページ

中級コース 博物館クイズブック A5版4ページ

上級コース 博物館クイズブック A5版8ページ

博士コース 博物館クイズブック A5版8ページ

- ・授業、修学旅行生、個人来館小学生に提供

1.10.2 金の道サミット

- ・金の道サミット会議

該当小学校

相川小学校・沢根小学校・河原田小学校・八幡小学校・真野小学校・羽茂小学校・小木小学校

1回目 平成26年10月22日

2回目 平成27年2月3日

- ・「金の道」合同学習会

平成27年3月4日

会場 佐渡中央会館

共催 佐渡市教育委員会・佐渡市立小学校校長会・同中学校校長会

後援 世界遺産推進課

主管 佐渡学センター

講師 金の道 羽生令吉

金の道の大地 池田雄彦

参加者 22人

1.11 その他（キャンペーン協賛）

※佐渡博物館→佐渡博、相川郷土博物館→相川博、跡佐渡奉行所跡→奉行所、佐渡国小木民俗博物館→小木博、海運資料館→海運資、新穂歴史民俗資料館→新穂資、と以下略記する。

1.11.1 ふる里帰りキャンペーン及び佐渡準市民制度

（佐渡博、相川博、奉行所、小木博、海運資、新穂資）

平成26年4月1日～平成27年3月31日

1.11.2 高速船あいびす佐渡日帰りパック（奉行所）

平成26年4月17日～平成27年3月31日

1.11.3 2014 スポニチ佐渡ロングライド210（小木博）

平成26年5月18日

1.11.4 お茶会（奉行所）

淡交会 信越・北陸地区大会

平成26年5月24日

相茶会 お茶会 平成26年11月8日

1.11.5 相川宵之舞（奉行所）

平成26年6月7日～8日

1.11.6 佐渡博物館の入館料減額

（株式会社ベネフィット・ワン）（佐渡博）

平成26年7月3日～平成27年3月31日

1.11.7 佐渡友好交流パス

(佐渡博、相川博、奉行所、小木博、海運資、新穂資)

平成26年7月12日～8月31日

1.11.8 白山丸まつり (小木博)

平成26年7月27日

1.11.9 春日居相川ふれあい事業 (奉行所)

平成26年8月10日

1.11.10 夏休み佐渡博物館小中学校講座 (佐渡博)

- ・小学生講座1 勾玉づくり

平成26年8月23日

- ・小学生講座2 簡単な化石のレプリカづくり

平成26年8月2日

- ・中学生講座 彫塑に挑戦

(伝統工芸「蠟型鑄金」を知る)

平成26年8月3日

講師：第六代本間琢斎

美術鑑賞指導：川上治美

1.11.11 伝統芸能発表会 佐渡国草の会 (奉行所)

平成26年10月4日・22日

1.11.12 2014 新穂の夏思い出写真展・「空也上人像」

里帰り展 (新穂資)

平成26年10月6日～31日

1.11.13 裂き織り展 (新穂資)

平成26年10月7日～31日

2 交流普及事業概要

2.1 視察・団体受入れ状況

2.1.1 佐渡博物館

| 月日 | 曜日 | 団体 | 人数 |
|--------|-----|------------------|-------|
| 4月21日 | (月) | 佐渡市立両津中学校2年生 | 73 |
| 4月22日 | (火) | 佐渡市立両津中学校1年生 | 67 |
| 4月22日 | (火) | 佐渡市立八幡小学校2年生 | 8 |
| 4月25日 | (金) | 佐渡市立新穂中学校 | 13 |
| 5月1日 | (木) | 佐渡市立新穂小学校 | 63 |
| 5月8日 | (木) | 佐渡市立加茂小学校4年生 | 39 |
| 5月9日 | (金) | 佐渡市立八幡小学校3・4年生 | 18 |
| 5月15日 | (木) | 佐渡市立高千小学校 | 38 |
| 5月20日 | (火) | 元気ときめきクラブ | 50 |
| 5月27日 | (火) | 佐渡市立赤泊中学校1年生 | 20 |
| 6月3日 | (火) | 佐渡市立八幡保育園3・4・5歳児 | 32 |
| 6月3日 | (火) | 佐渡市立金井小学校4年生 | 67 |
| 6月8日 | (日) | 世界遺産関係者 | 5 |
| 6月11日 | (水) | 佐渡市立畑野中学校芸部 | 10 |
| 6月19日 | (木) | 東星学園中学校 | 19 |
| 6月20日 | (金) | 東星学園中学校 | 7 |
| 6月26日 | (木) | 五泉市立五泉小学校6年生 | 35 |
| 7月3日 | (木) | 南魚沼市立藪神小学校 | 13 |
| 7月8日 | (火) | 中国 汕東大学 | 28 |
| 7月15日 | (火) | 新潟市立内野小学校 | 56 |
| 7月16日 | (水) | 長岡市立栖吉小学校 | 11 |
| 8月5日 | (火) | サイエンスクラブ | 47 |
| 8月22日 | (金) | 新潟県立佐渡高等学校1年生 | 163 |
| 8月29日 | (金) | 佐渡市立畑野小学校6年生 | 34 |
| 9月3日 | (水) | 千葉大学(世界遺産推進課随員) | 31 |
| 9月9日 | (火) | 新穂公民館いきいき学級 | 25 |
| 9月9日 | (火) | 佐渡市立小木小学校6年生 | 20 |
| 9月17日 | (水) | 両津地区公民館高齢者学級 | 20 |
| 9月19日 | (金) | 佐渡市立赤泊小学校4～6年生 | 50 |
| 10月1日 | (木) | 新潟県立羽茂高等学校1年生 | 68 |
| 10月21日 | (火) | 大和の茶の間 | 35 |
| 10月25日 | (土) | 神社庁佐渡支部義民探訪会 | 33 |
| 10月26日 | (日) | 小木地区寿学級 | 18 |
| 11月6日 | (木) | 新潟国際芸術学院 御一行様 | 25 |
| 11月18日 | (火) | 佐渡市立行谷小学校 | 11 |
| 11月29日 | (土) | 佐渡市小学校事務職員 | 15 |
| 12月7日 | (日) | 南教育事務所 高齢者学級 | 28 |
| 12月8日 | (月) | 佐渡市立羽茂小学校職員 | 12 |
| 12月13日 | (土) | 佐渡市立真野中学校職員 | 14 |
| 12月17日 | (水) | 佐渡市立両津吉井小学校 | 9 |
| 12月17日 | (水) | 佐渡市立二宮小学校 | 24 |
| 12月22日 | (月) | 佐渡市立前浜小中学校職員 | 12 |
| 12月24日 | (水) | 佐渡市立真野小学校職員 | 17 |
| 2月4日 | (水) | ネクスコ東日本様(世界遺産随員) | 5 |
| | | | 1,388 |

2.1.2 両津郷土博物館

| 月日 | 曜日 | 団体 | 人数 |
|-------|-----|-------------|-----|
| 5月20日 | (火) | 元気ときめきクラブ | 50 |
| 5月26日 | (月) | 佐渡市立両津小学校 | 28 |
| 6月3日 | (火) | 佐渡市立河崎小学校 | 10 |
| 1月28日 | (水) | 佐渡市立河崎小学校 | 14 |
| 2月10日 | (火) | 佐渡市立両尾小学校 | 12 |
| 2月24日 | (火) | 佐渡市立両津吉井小学校 | 22 |
| 2月26日 | (木) | 佐渡市立加茂小学校 | 39 |
| 3月4日 | (水) | 佐渡市立内海府小学校 | 4 |
| | | | 179 |

2.1.3 相川郷土博物館

| 月日 | 曜日 | 団体 | 人数 |
|--------|-----|----------------------------|----|
| 4月6日 | (水) | 佐渡市立金井小学校遠足下見 | 4 |
| 4月13日 | (水) | 職業訓練校 | 11 |
| 4月16日 | (土) | 小出小学校下見 | 4 |
| 4月18日 | (月) | 佐渡市立加茂小学校下見 佐渡市立相川中学校下見 | 3 |
| 4月19日 | (火) | 佐渡市立前浜中学校 | 3 |
| 4月21日 | (木) | 佐渡市立相川中学校 | 37 |
| 4月22日 | (金) | ホテル万長 | 1 |
| 4月27日 | (水) | 佐渡市立新穂中学校 | 4 |
| 4月30日 | (土) | 佐渡市観光商工課 | 2 |
| 5月15日 | (日) | スポニチ佐渡 | 7 |
| 7月10日 | (日) | 高野前市長他 視察 | 10 |
| 7月15日 | (金) | 佐渡特別支援学校 | 20 |
| 7月19日 | (火) | グリーンシグマ | 7 |
| 8月19日 | (金) | 世界遺産推進課 | 17 |
| 9月7日 | (水) | セブテンバーパス(観光商工課) | 11 |
| 9月10日 | (土) | 世界遺産推進課文化財室 | 5 |
| 9月13日 | (火) | 佐渡市立畑野小学校 | 49 |
| 9月30日 | (金) | 世界遺産推進課 | 8 |
| 10月1日 | (土) | 世界遺産推進課 | 15 |
| 10月3日 | (月) | 赤泊小学校 | 18 |
| 10月8日 | (土) | 世界遺産推進課文化財室 | 8 |
| 10月9日 | (日) | 世界遺産推進課 | 30 |
| 10月13日 | (木) | 佐渡市観光商工課 | 7 |
| 10月19日 | (水) | 相川高等学校下見 | 2 |
| 10月20日 | (木) | 佐渡市立七浦小学校 | 22 |
| 11月4日 | (金) | 相川高等学校1年生 | 40 |
| 11月7日 | (月) | ホテル万長研修生 | 1 |
| 11月11日 | (金) | 佐渡市地域振興課 | 2 |
| 11月27日 | (日) | 県・小田参事他 | 8 |
| 12月12日 | (月) | 佐渡市立金泉小学校4年生 | 12 |
| 2月1日 | (木) | 新潟大学・橋本先生他 | 3 |
| 2月20日 | (月) | 佐渡市総合政策監 視察 | 9 |
| 3月8日 | (木) | 佐渡中等教育学校 | 81 |
| 3月10日 | (土) | 文化庁 視察 | 3 |
| 3月11日 | (日) | 産業考古学会 | 13 |

2.1.4 史跡佐渡奉行所跡

| 月日 | 曜日 | 団体 | 人数 |
|--------|-----|---------------|-----|
| 4月12日 | (土) | 世界遺産講演会 | 73 |
| 4月25日 | (金) | 佐渡市立相川中学校 1年生 | 20 |
| 4月25日 | (金) | 佐渡市立新穂中学校 | 8 |
| 4月25日 | (金) | 佐渡汽船研修 | |
| 5月1日 | (木) | 佐渡市立新穂小学校 | 49 |
| 5月15日 | (木) | 日口沿岸市長会 | 19 |
| 5月18日 | (日) | 佐渡ロングライド | 38 |
| 5月22日 | (木) | 教育委員会 | 3 |
| 5月24日 | (土) | 淡交会 お茶会 | |
| 5月27日 | (火) | 佐渡市立赤泊中学校 | 18 |
| 6月11日 | (水) | 柳平さん他 | 3 |
| 6月24日 | (火) | 世界遺産視察 | 6 |
| 7月2日 | (水) | 福島交通 バスガイド研修 | 6 |
| 7月3日 | (木) | 佐渡市立河原田小学校 | 26 |
| 7月9日 | (水) | 濱野さん他 | 3 |
| 7月10日 | (木) | 世界遺産 | 4 |
| 7月16日 | (水) | 濱野さん他 | 23 |
| 7月23日 | (水) | 細野議員他 | 10 |
| 8月3日 | (日) | 親子ふれあいツアー | 39 |
| 8月10日 | (日) | 春日居ふれあい交流会 | 97 |
| 8月13日 | (水) | ALT | 7 |
| 8月22日 | (金) | 佐渡高校 | 75 |
| 8月23日 | (土) | 世界遺産 | 17 |
| 8月24日 | (日) | 入間市バドミントン | 14 |
| 8月25日 | (月) | 加藤義行さん他 | 4 |
| 9月3日 | (水) | 佐渡市建設課・国交省 | 5 |
| 9月3日 | (水) | 千葉大学視察 | 23 |
| 9月9日 | (火) | 佐渡市立二宮小学校 | 66 |
| 9月9日 | (火) | 佐渡市立七浦小学校 | 8 |
| 9月10日 | (水) | 世界遺産 | 9 |
| 9月16日 | (火) | 佐渡市立畑野小学校 | 36 |
| 9月24日 | (水) | 観光戦略官 etc | 2 |
| 10月4日 | (土) | 部落解放～ | 136 |
| 10月4日 | (土) | 御前踊り(飯山さん) | 8 |
| 10月10日 | (金) | 佐渡市立相川小学校 | 23 |
| 10月15日 | (水) | 世界遺産 | 3 |
| 10月16日 | (木) | 近藤組(お茶会) | 5 |
| 10月26日 | (日) | JR社員 | 1 |
| 10月30日 | (木) | 佐渡市立八幡小学校 | 23 |
| 11月8日 | (土) | 旅行会社視察 | 2 |
| 11月9日 | (日) | 新潟県実行委員会 | 12 |
| 11月23日 | (日) | 加藤義行さん他 | 2 |
| 12月12日 | (金) | 相川高校職員 | 12 |

2.1.5 相川技能伝承展示館

| 月日 | 曜日 | 団体 | 人数 |
|-------|-----|-----------|----|
| 4月25日 | (金) | 加茂市立加茂小学校 | 32 |
| 5月2日 | (金) | 伊米ヶ崎小学校 | 37 |
| 5月8日 | (木) | 佐渡市立加茂小学校 | 36 |

| | | | |
|-------|-----|-------------|----|
| 5月8日 | (木) | 砂山小学校 | 20 |
| 5月8日 | (木) | 平林小学校 | 12 |
| 5月9日 | (金) | 小千谷市立南小学校 | 20 |
| 5月9日 | (金) | 加茂市立加茂南小学校 | 33 |
| 5月15日 | (木) | 須原小学校 | 10 |
| 5月15日 | (木) | 金津小学校 | 26 |
| 5月21日 | (水) | 日本自然環境専門学校 | 24 |
| 5月22日 | (木) | 三条市立嵐南小学校 | 15 |
| 5月22日 | (木) | 新発田市立二葉小学校 | 58 |
| 5月27日 | (火) | 佐渡市立佐和田中学校 | 47 |
| 5月29日 | (木) | 小千谷市立千田小学校 | 25 |
| 5月29日 | (木) | 村上市立村上小学校 | 7 |
| 5月30日 | (金) | 新潟市立月瀉小学校 | 31 |
| 5月30日 | (金) | 新潟市立荒橋小学校 | 15 |
| 6月3日 | (火) | 三条市立大崎小学校 | 32 |
| 6月3日 | (火) | 燕市立燕東小学校 | 28 |
| 6月4日 | (水) | 新潟市立山瀉小学校 | 48 |
| 6月4日 | (水) | 新潟市立下山小学校 | 33 |
| 6月4日 | (水) | 阿賀野市立水原小学校 | 24 |
| 6月4日 | (水) | 阿賀野市立京ヶ瀬小学校 | 14 |
| 6月5日 | (木) | 新潟市立南万代小学校 | 35 |
| 6月5日 | (木) | 十日町市立水沢小学校 | 33 |
| 6月5日 | (木) | 南魚沼市立五日町小学校 | 21 |
| 6月5日 | (木) | 新潟市立大鷲小学校 | 27 |
| 6月5日 | (木) | 胎内市立胎内小学校 | 34 |
| 6月5日 | (木) | 南魚沼市立大崎小学校 | 25 |
| 6月5日 | (木) | 村上市立瀬波小学校 | 6 |
| 6月6日 | (金) | 南魚沼市五十沢小学校 | 32 |
| 6月6日 | (金) | 阿賀野市立神山小学校 | 16 |
| 6月6日 | (金) | 阿賀野市立分田小学校 | 7 |
| 6月6日 | (金) | 新潟市立上山小学校 | 22 |
| 6月6日 | (金) | 阿賀野市立保田小学校 | 42 |
| 6月6日 | (金) | 胎内市立黒川小学校 | 31 |
| 6月7日 | (土) | 阿賀野市立笹岡小学校 | 23 |
| 6月9日 | (月) | 新潟市立紫竹山小学校 | 34 |
| 6月10日 | (火) | 三条市立西鱈田小学校 | 8 |
| 6月10日 | (火) | 新潟市立真砂小学校 | 58 |
| 6月10日 | (火) | 新潟市立和納小学校 | 38 |
| 6月11日 | (水) | 新発田市立御面町小学校 | 35 |
| 6月11日 | (水) | 聖籠町立山倉小学校 | 38 |
| 6月11日 | (水) | 新潟市立西内野小学校 | 20 |
| 6月11日 | (水) | 新潟市立早通小学校 | 27 |
| 6月11日 | (水) | 新潟市立牡丹山小学校 | 11 |
| 6月12日 | (木) | 新潟市立阿賀小学校 | 37 |
| 6月12日 | (木) | 新潟市立大野小学校 | 16 |
| 6月12日 | (木) | 新潟市立新津第一小学校 | 16 |
| 6月13日 | (金) | 燕市立吉田小学校 | 37 |
| 6月13日 | (金) | 魚沼市立小出小学校 | 11 |
| 6月13日 | (金) | 十日町市立千平小学校 | 29 |
| 6月13日 | (金) | 十日町市立上野小学校 | 9 |
| 6月13日 | (金) | 十日町市立橋小学校 | 1 |

| | | | |
|-------|-----|--------------|----|
| 6月13日 | (金) | 小千谷市立片貝小学校 | 34 |
| 6月13日 | (金) | 新潟市立丸山小学校 | 13 |
| 6月14日 | (土) | 新潟市立小合小学校 | 19 |
| 6月17日 | (火) | 五泉市立大蒲原小学校 | 12 |
| 6月17日 | (火) | 新潟市立亀田東小学校 | 15 |
| 6月17日 | (火) | 聖籠町立蓮野小学校 | 32 |
| 6月18日 | (水) | 新潟市立松浜小学校 | 30 |
| 6月18日 | (水) | 新潟市立関屋小学校 | 13 |
| 6月18日 | (水) | 新潟市立東青山小学校 | 31 |
| 6月18日 | (水) | 新潟市立坂井東小学校 | 10 |
| 6月19日 | (木) | 五泉市立村松小学校 | 35 |
| 6月19日 | (木) | 東星学園中学校 | 7 |
| 6月19日 | (木) | 阿賀野市立安野小学校 | 28 |
| 6月20日 | (金) | 新発田市立加治川小学校 | 27 |
| 6月20日 | (金) | 新発田市立川東小学校 | 23 |
| 6月20日 | (金) | 新潟市立新通小学校 | 36 |
| 6月23日 | (月) | 長岡市立豊田小学校 | 22 |
| 6月24日 | (火) | 新潟市立亀田東小学校 | 49 |
| 6月25日 | (水) | 新潟市立巻南小学校 | 20 |
| 6月25日 | (水) | 新潟市立東山の下小学校 | 38 |
| 6月25日 | (水) | 新潟市立横越小学校 | 35 |
| 6月25日 | (水) | 新潟市立東中野小学校 | 20 |
| 6月26日 | (木) | 新潟市立青山小学校 | 38 |
| 6月26日 | (木) | 阿賀町立三郷小学校 | 7 |
| 6月26日 | (木) | 新潟市立小林小学校 | 19 |
| 6月26日 | (木) | 村上市立山辺里小学校 | 31 |
| 6月26日 | (木) | 新潟市立小林小学校 | 1 |
| 6月26日 | (木) | 柏崎市立枇杷島小学校 | 51 |
| 6月27日 | (金) | 長岡市立中島小学校 | 26 |
| 6月27日 | (金) | 上越市立保倉小学校 | 14 |
| 6月27日 | (金) | 新潟市立曾野木小学校 | 37 |
| 7月1日 | (火) | 長岡市立富曾亀小学校 | 35 |
| 7月1日 | (火) | 関川村立関川小学校 | 15 |
| 7月1日 | (火) | 新発田市立猿橋小学校 | 38 |
| 7月3日 | (木) | 田上町立羽生田小学校 | 62 |
| 7月3日 | (木) | 新潟市立万代長嶺小学校 | 9 |
| 7月3日 | (木) | 柏崎市立高柳小学校 | 19 |
| 7月3日 | (木) | 南魚沼市立塩沢小学校 | 40 |
| 7月3日 | (木) | 新潟市立大形小学校 | 53 |
| 7月4日 | (金) | 新潟市立竹尾小学校 | 36 |
| 7月4日 | (金) | 新潟市立入舟小学校 | 34 |
| 7月9日 | (水) | 南魚沼市立浦佐小学校 | 37 |
| 7月10日 | (木) | 新潟市立上所小学校 | 38 |
| 7月15日 | (火) | 新潟市立内野小学校 | 36 |
| 7月16日 | (水) | 魚沼市立堀之内小学校 | 54 |
| 7月17日 | (木) | 長岡市立栖吉小学校 | 34 |
| 7月19日 | (土) | 長岡市立淡海小学校 | 19 |
| 7月24日 | (木) | 伝統文化と福祉の専門学校 | 7 |
| 7月25日 | (金) | 新潟市立満日小学校 | 14 |
| 8月8日 | (金) | 佐渡中等教育学校 | 27 |
| 8月10日 | (日) | 笛吹市春日居支所 | 95 |

| | | | |
|-------|-----|-------------|----|
| 8月29日 | (金) | 新組小学校 | 33 |
| 9月3日 | (水) | 川東小学校 | 17 |
| 9月3日 | (水) | 笹山小学校 | 8 |
| 9月4日 | (木) | 田尻小学校 | 33 |
| 9月4日 | (木) | 五泉南小学校 | 34 |
| 9月4日 | (木) | 愛宕小学校 | 22 |
| 9月4日 | (木) | 新道小学校 | 50 |
| 9月11日 | (木) | 五泉東小学校 | 42 |
| 9月11日 | (木) | 新潟市立大通小学校 | 34 |
| 9月18日 | (木) | 新潟市立大淵小学校 | 13 |
| 9月19日 | (金) | 新潟市立山の下小学校 | 23 |
| 9月25日 | (木) | 南魚沼市立北辰小学校 | 56 |
| 9月26日 | (金) | 南魚沼市立中之島小学校 | 39 |
| 9月26日 | (金) | 南魚沼市立枡窪小学校 | 4 |

2.1.6 佐渡国小木民俗博物館

| 月日 | 曜日 | 団体 | 人数 |
|-------|-----|----------|----|
| 4月16日 | (水) | ジオパーク関係 | 2 |
| 5月12日 | (日) | 若殿会 | 28 |
| 5月12日 | (日) | 日本クルーズ | 55 |
| 5月13日 | (火) | 兵庫県豊岡市議会 | 13 |
| 5月29日 | (木) | 村上小学校 | 20 |
| 5月30日 | (金) | 河崎小学校 | 25 |
| 6月4日 | (水) | 水原小学校 | 9 |
| 6月4日 | (水) | 下山小学校 | 31 |
| 6月5日 | (木) | 瀬波小学校 | 23 |
| 6月5日 | (木) | 黒川小学校 | 45 |
| 6月10日 | (火) | 西鱒田小学校 | 13 |
| 6月10日 | (火) | 西須小学校 | 25 |
| 6月10日 | (火) | 山田小学校 | 23 |
| 6月10日 | (火) | 坂井輪小学校 | 95 |
| 6月11日 | (水) | 桃山小学校 | 44 |
| 6月12日 | (木) | 新津小学校 | 34 |
| 6月12日 | (木) | 月岡小学校 | 17 |
| 6月18日 | (水) | 蓮野小学校 | 6 |
| 6月19日 | (木) | 関屋小学校 | 27 |
| 6月19日 | (木) | 川東小学校 | 27 |
| 6月20日 | (金) | 新通小学校 | 88 |
| 6月21日 | (土) | ダコタツアー | 10 |
| 6月24日 | (火) | さんぽく小学校 | 31 |
| 6月25日 | (水) | 東の下小学校 | 32 |
| 6月25日 | (水) | 巻南小学校 | 33 |
| 6月25日 | (水) | 横越小学校 | 40 |
| 6月26日 | (木) | 三郷小学校 | 10 |
| 6月26日 | (木) | 赤石小学校 | 20 |
| 6月26日 | (木) | 小林小学校 | 29 |
| 7月2日 | (水) | 中野山小学校 | 27 |
| 7月3日 | (木) | 枡尾東小学校 | 59 |
| 7月15日 | (火) | 内野小学校 | 9 |
| 7月18日 | (金) | 十日町小学校 | 49 |
| 7月24日 | (木) | 満日小学校 | 17 |

| | | | |
|--------|-----|-----------|----|
| 7月26日 | (土) | 那須中央バス | 43 |
| 8月1日 | (金) | 日本クルーズ | 15 |
| 8月1日 | (金) | 里公小学校 | 28 |
| 8月10日 | (日) | 入間市視察 | 18 |
| 10月2日 | (木) | 佐渡高校相川分校 | 22 |
| 10月15日 | (水) | ジオパーク関係 | 25 |
| 10月15日 | (水) | 国際外国語専門学校 | 29 |
| 10月19日 | (日) | ツーデーウォーク | 97 |
| 10月19日 | (日) | ジオパーク関係 | 10 |
| 10月23日 | (木) | 福祉協議会相川地区 | 24 |
| 12月20日 | (土) | ジオパーク関係 | 13 |
| 3月10日 | (火) | ジオパーク関係 | 30 |

2.1.7 海運資料館

| 月日 | 曜日 | 団体 | 人数 |
|--------|-----|-----------|----|
| 10月28日 | (火) | 佐渡市立小木小学校 | 19 |

2.1.8 新穂歴史民俗資料館

| 月日 | 曜日 | 団体 | 人数 |
|-------|-----|-----------|----|
| 6月29日 | (日) | 佐渡市立新穂小学校 | 33 |
| 10月2日 | (木) | 佐渡市立真野小学校 | 48 |
| 2月20日 | (金) | 佐渡市立七浦小学校 | 9 |
| 3月10日 | (火) | 佐渡市立八幡小学校 | 17 |
| 3月10日 | (火) | 佐渡市立行谷小学校 | 18 |
| 3月21日 | (土) | 新潟NPO協会 | 18 |

2.2 出前授業・講演等

2.2.1 佐渡市立金井小学校3年生

総合学習「鬼太鼓について」講義

9月25日(木)

2.2.2 サイエンス倶楽部

佐渡博物館 解説

島内各地の地質巡検地 巡検指導および補助

8月5・6・7日

2.2.3 修学旅行生対象講話

長岡市立小学校「金とトキ」の講話

(+キャリア教育)

6月4日 福戸小学校

6月10日 宮本小学校・大関小学校

7月15日 和島小学校

2.2.4 佐渡市立金井小学校4年生 社会科・総合学習

新保川と新田開発、安養寺ため池と吉井開田

12月4日

2.2.5 講演「金の道・金の道の大地」

共催 佐渡市教育委員会・佐渡市立小学校校長会・
佐渡市立中学校校長会

後援 世界遺産推進課

主管 佐渡学センター

期日 3月4日

会場 中央会館

対象 佐渡市立小学校・中学校教員

3 職場体験

○11月12日(水)

佐渡市立佐和田中学校1年生 2名

4 学芸員実習受入れ

無し

IV 関係団体

1 佐渡市博物館協議会

佐渡市博物館協議会では、昨年度まで審議していた「博物館・資料館のあり方」について、具体的な運営や事業に係る議論を重ねた。

1.1 第1回 佐渡市博物館協議会

平成26年7月14日（月）

協議内容

- ・佐渡市博物館協議会委員の任命について
- ・平成25年度博物館・資料館の業務報告について
- ・佐渡博物館への寄託・寄贈について
- ・佐渡博物館内、専門部会の設置について

1.2 第2回 佐渡市博物館協議会

平成27年3月19日（木）

協議内容

- ・平成26年度博物館・資料館の業務報告について
- ・平成27年度博物館・資料館の事業計画（案）について

V 日誌抄

1 佐渡博物館

4月1日(火) 佐渡市立佐渡博物館として再オープン
 4月17日(木) グリーンシグマ来館
 4月18日(金) NTT 電話回線工事下見
 5月21日(水) 防火設備点検
 5月23日(金) 小木博物館より海図模型搬入(造形社)
 7月3日(木) 佐渡市衛生委員会 職場巡視 3名
 7月5日(土) 遠藤建設来館。民家修復見積の為
 7月9日(水) 台風8号の影響にて 各施設見回り
 7月14日(月) 平成26年度第一回博物館協議会開催
 7月26日(土) 夏休み体験講座 ジオパーク 化石レプリカ作り
 8月2日(土) 夏休み体験講座 ジオパーク 化石レプリカ作り
 8月3日(日) 夏休み体験講座 彫塑に挑戦 講師 本間琢斎氏
 8月23日(土) 夏休み体験講座 勾玉作り
 9月2日(火) 遠藤建設来館。修理
 9月22日(月) ハイエース修理
 10月7日(火) 高床式倉庫前看板破損。
 10月31日(金) 特別企画展 開場式
 11月1日(土) 特別企画展 開催
 会期 平成26年11月1日～平成27年1月31日
 11月4日(火) 遠藤建設 高床式倉庫 作業
 11月4日(火) 茅葺職人 本間 弘 氏民家作業
 11月19日(水) 消防設備点検
 12月3日(水) 佐渡テレビ取材
 12月4日(木) 新潟テレビ21 来館。高田慎蔵の写真撮影。
 12月23日(火) 読売新聞佐渡通信部石原氏 取材
 12月24日(水)～26日(金) 閉館後 特別展示替(撤収作業)
 12月25日(木) 特別企画展 展示替えのため美術工芸展示室 休室。
 12月26日(金) 特別企画展 展示替えのため美術工芸展示室 休室。
 12月27日(土) 特別企画展 後期展開催
 12月30日(火) 特別企画展 図録到着
 1月4日(日) 吾郷集落 鬼面寄託更新
 1月8日(木) 新潟日報 佐渡支局 鶴巻氏 取材

1月13日(火) 新潟放送 取材
 1月15日(木) 佐渡テレビ取材
 1月16日(金) グリーンシグマ・遠藤建設来館 民家の修復打ち合わせ
 1月20日(火) 東北電気保安協会 点検
 1月29日(木) セコム来館 センサー交換
 1月30日(金) 武蔵野美術大学小野寺様他1名、土田麦僊資料借用の挨拶の為
 1月31日(土) 特別企画展 後期展終了
 2月1日(日) 企画展 展示替えのため美術工芸展示室 休室。(～9日)
 2月10日(火) 企画展開催(会期 平成27年2月10日～4月10日)
 2月26日(木) 読売新聞佐渡通信部 石原氏取材

2 両津郷土博物館

記録無し

3 相川郷土博物館

4月2日(水) 世界遺産推進課より 唐丸かご返却
 4月8日(火) 天秤 貸出す(佐渡博経由)
 4月9日(水) トイレ屋根修理(イワイ工務店)
 4月10日(木) トイレ屋根修理終了
 4月15日(火) 観光振興課 文書館見学
 4月21日(月) 鬼瓦と下見板修理(イワイ工務店)
 4月24日(木) 文書館窓ガラス修理(高澤商店)
 5月23日(金) バス通行障害の為 松の枝切る
 6月23日(月) コピー機移動の為 配線工事(NTT)
 6月30日(月) 入館券(大人)30冊印刷
 6月30日(月) 佐渡博より 天秤返却
 7月3日(木) サドテレビ 良寛の母の碑撮影
 7月9日(水) 雨の為、トイレ前の廊下に水入る・玄関雨漏り
 7月16日(水) 雨の為、トイレ前の廊下に水入る・玄関雨漏り
 7月19日(土) 雨の為、トイレ前の廊下に水入る・玄関・遊女の部屋 雨漏り
 7月20日(日) 「島の新聞社」馬場遺跡出土品撮影
 7月23日(水) 2F 鉦山長室 窓ガラス1枚落下、1枚ヒビ入る(日時不明)
 7月24日(木) 2F 鉦山長室 窓ガラス2枚入れる(高澤商店)
 7月26日(土) 「地球の歩き方」雑誌掲載の為の撮

影

9月18日(木) 中廊下シャッター 鍵穴修繕 (高澤商店)
 9月26日(金) 長岡ケーブルテレビ 木喰の取材
 9月29日(月) 火災報知器点検
 10月1日(水) 総合政策課 トイレ数の確認に来る
 10月19日(月) BSN 下見
 11月6日(木) 灯油タンク入替え
 11月7日(金) 裏の石垣調査 (世界遺産ーフレッツ研究所)
 11月10日(月) 鉦山絵巻調査 (県立歴史博物館)
 11月11日(火) 鉦山絵巻調査 (県立歴史博物館)
 11月25日(火) 裏の石垣調査
 11月27日(木) 玄関入口上の看板取替え (小松工芸)
 1月13日(火) BSN 取材 (新潟大学公開講座)
 1月14日(水) サドテレビ 絵巻撮影
 1月15日(木) 引き込み線より煙(時々火)出た為点検終了するまで臨時休館
 1月16日(金) 伝承館の事務所を借りる(パソコン等移す)
 2月2日(月) 通常通り再開館

4 相川技能伝承展示館

記録無し

5 史跡佐渡奉行所跡

4月12日(土) 世界遺産講演会 (73名)
 4月16日(水) 勝場音声ガイダンス故障
 →4/26(新日)
 4月24日(木) 石磨修理→4/26(三木)
 4月25日(金) 佐渡汽船研修
 4月29日(火) 汚物排管の上ふた 流れ出る(下の)
 5月9日(金) 石磨修理→5/10(三木)
 5月15日(木) 日ロ沿岸市長会(19名)
 5月18日(日) 佐渡ロングライド (38名)
 5月19日(月) 役所玄関にステージ設置
 5月20日(火) 奉行所前ガードレール落下(6/13)
 5月20日(火) お茶会準備スタート
 5月22日(木) 教育委員会(3名)
 5月24日(土) 淡交会 信越・北陸地区大会
 5月26日(月) NST 館内撮影
 5月29日(木) 消防点検→12/30の落雷の影響あり
 6月6日(金) 宵の舞準備
 6月6日(金) 長野テレビ取材(齋藤・長浜)
 6月7日(土) 宵の舞

6月8日(日) 宵の舞
 6月11日(火) 柳平さん他 (3名)
 6月16日(月) 勝場体験用エプロン着
 6月20日(金) 井戸のポンプ故障(6/27,28修理)
 6月24日(火) 世界遺産視察 (6名)
 6月27日(金) ねこ流し除菌 エタノール
 6月30日(月) 役所センサー点検 7/5にも
 7月2日(水) 公事方の扉 修理
 7月2日(水) 福島交通バスガイド研修 (6名)
 7月7日(月) ねこ流し タンク水替(本間、中村)
 7月9日(水) 濱野さん他 (3名)
 7月10日(木) 世界遺産 (4名)
 7月11日(金) 台風のため予約全キャンセル・延期
 7月12日(土) 友好パススタート(～8/31)
 7月16日(水) 濱野さん他 (23名)
 7月19日(土) 7/18落雷で電話機故障→修理
 7月23日(水) 細田議員他 (10名)
 7月24日(木) 鉛部屋 etc に扇風機
 7月25日(金) 馬小屋前の道 浮いている、割れている→7/26修理(岩崎さん)
 7月26日(土) 相中ガイド(7/27,8/28/3も)
 8月3日(日) 親子見学ツアー(39名)
 8月10日(日) 春日居相川ふれあい事業(97名)
 8月12日(火) 白洲わらじ交換
 8月13日(水) ALT (7名)
 8月23日(土) 世界遺産 (17名)
 8月24日(日) 入間市バドミントン (14名)
 8月25日(月) 加藤義行さん他 (4名)
 9月3日(水) 佐渡市建設課・国交省 (5名)
 9月3日(水) 千葉大視察 (23名)
 9月10日(水) 世界遺産 (9名)
 9月14日(日) BS11「日本ほのぼの散歩」撮影・外観
 9月24日(水) 観光戦略官来館 (2名)
 10月1日(水) 勝場 裏口の鍵修理(岩崎さん)、掘手すり修理(岩崎さん)
 10月2日(木) 地方テレビ故障→来年(2015年)修理予定
 10月4日(土) 部落解放～ (136名)
 10月4日(土) 御前踊り(飯島さん)(8名)
 10月5日(日) 相川病院側湯呑み所横雨漏り→修理(岩崎さん)
 10月15日(水) 世界遺産 (3名)
 10月16日(木) 近藤組(お茶会)(5名)
 10月18日(土) BSN撮影 内観・外観
 →2/13放送「文化芸能篇」
 10月20日(月) BSN撮影 内観・外観

→2/14 放送「文化芸能篇」
 10月26日(日) JR社員(1名)
 10月28日(火) 佐渡テレビ撮影(世界遺産・濱野さん対応)
 11月6日(木) 消防点検→12/30の落雷の影響あり
 11月7日(金) お茶会準備
 11月8日(土) 相茶会 お茶会
 11月8日(土) 旅行会社視察(2名)
 11月9日(日) 新潟県実行委員会(12名)
 11月15日(土) 寺社溜の屋根 銅版落下
 11月16日(日) 御裁許所陣屋側の壁落下
 11月21日(金) 新潟日報取材(大瀬)
 11月23日(日) 加藤義行さん他(2名)
 12月4日(木) UX撮影(千代美)
 12月4日(木) 新潟日報取材(岩崎さん)
 12月4日(木) 陣屋の壁落下
 12月9日(火) 佐渡テレビ撮影(世界遺産・濱野さん、萩田)
 12月12日(金) 白洲 外壁落下
 12月12日(金) 相川高校職員(12名)
 12月18日(木) 勝場 奥外の雨樋落下
 12月21日(日) 畳廊下横中州上部外壁落下
 12月23日(火) 堀周り屋根銅板落下
 12月25日(木) 近藤組 準備
 12月27日(土) 近藤組 作業
 1月6日(月) 12/30落雷のための修理(勝場=新日、電話=アルソック)
 1月20日(月) 井戸の上壁落下(岩崎さん)
 1月30日(木) 吟味所外側壁落下(岩崎さん)
 2月4日(火) 畳撤出(地方)
 2月7日(金) 畳搬入(地方)、搬出(山方。筋金)
 2月11日(火) 畳搬入(山片、筋金)、撤出(鉛、吟味、使者)
 2月14日(金) 畳搬入(鉛、吟味、使者)
 2月21日(金) お雛様搬入、展示→(～3/28)
 2月25日(火) 勝場ワックス(佐渡ビル)
 2月28日(金) 版画展示(版画村)
 3月1日(土) 相川発見スタンプラリー(～3/23)

6 佐渡国小木民俗博物館

4月11日(金) NST撮影(3名)
 4月17日(木) 甲成建設修繕下見
 4月18日(金) 甲成建設修繕下見
 4月19日(土) 新館瓦止め修繕
 4月21日(月) 造形社新館模型下見
 4月23日(水) 収蔵庫に台帳2棚移動

4月24日(木) はんぎり茶屋に机4台搬入
 4月25日(金) はんぎり茶屋で白山丸友の会会議
 5月2日(金) 海運資料館へ2月から貸出していた雛人形を回収
 5月7日(水) イモ畑作り
 5月8日(木) 草刈
 5月8日(木) 甲成建設事務所修繕下見
 5月8日(木) 玄関カギ取り替え(大和屋)
 5月11日(日) 草刈(友の会)
 5月13日(火) 幼稚園イモ植え
 5月13日(火) 兵庫県豊岡市市議会(13名)
 5月19日(月) 畑に藁を敷く
 5月27日(火) NHK「日本縦断こころ旅」撮影
 6月2日(月) 白山丸祭の会議
 6月2日(月) 堅木氏裏倉庫で作業
 6月5日(木) はんぎり茶屋で白山丸友の会会議
 6月9日(月) はんぎり茶屋で白山丸友の会会議
 6月9日(月) 新潟日報取材
 6月12日(木) さどさんば撮影
 6月18日(水) 集落の映画撮影のためはんぎり茶屋と駐車場使用
 6月24日(火) 船点検(船大工、他数名)
 6月27日(金) チルローラー点検
 6月27日(金) 幼稚園イモ畑に肥料
 6月30日(月) 草刈(友の会)
 7月17日(木) 伝三郎帆柱修繕
 7月22日(火) 草刈(友の会)
 7月26日(土) 白山丸前夜祭
 7月27日(日) 白山丸まつり
 8月8日(金) 入間市視察(10名)
 8月20日(水) BSN撮影(2名)
 8月24日(日) 3年教室鼓童関係シンポジウムで使用(32名)
 8月31日(日) 草刈(友の会)
 9月3日(水) 幼稚園イモ畑草取り
 9月9日(火) 県博『北前船』展のための下見
 9月10日(水) 県博『北前船』展のための下見
 9月23日(火) 草刈(友の会)
 10月3日(金) 電話故障 NTT修理
 10月19日(日) ツーデーウォーク(92名)
 10月20日(月) BSN地図の撮影(6名)
 10月24日(金) いもほり
 10月30日(木)～11月2日(日)
 佐渡宿根木地区で観光客の駐車場等検討のための社会実験
 10月31日(金) 監視カメラの見積り
 12月1日(月) 12月～1月 月曜日休館

12月3日(水) 中央の部屋床材はがして確認
 12月14日(日) 3年教室選挙に使用
 12月16日(火) 中央の部屋床材全てはがす
 1月13日(火) 甲成建設 床工事
 1月14日(水) 床工事
 1月16日(金) 床内装工事終了
 1月22日(木) 中務商店 下水マンホール修繕

7 海運資料館

4月5日(土) 佐渡汽船(ジオパーク)
 4月12日(土) ジオパーク推進室
 5月5日(月) 障害者手帳掲示、見学
 5月10日(土) 小木港400周年記念のため入館無料
 5月11日(日) 小木港400周年記念のため入館無料
 5月25日(日) 長野市青木島小学校下見
 6月19日(木) 南佐渡地区沿岸防犯協力会
 6月21日(土) 障害者手帳掲示、見学
 6月22日(日) 小木港400周年記念のため入館無料
 6月24日(火) 佐渡市準市民、見学
 6月30日(月) 小木港400周年記念のため入館無料
 7月9日(水) 障害者手帳掲示、見学
 7月10日(木) 長野県臨海学校生、見学
 7月20日(日) 友好交流パス
 7月29日(火) 佐渡市準市民、見学
 8月1日(金) 佐渡市準市民、見学
 8月3日(日) ジオパーク推進室、友好交流パス
 8月10日(日) 友好交流パス
 8月14日(木) 障害者手帳掲示、見学
 8月22日(金) ジオパークミニツアー
 8月23日(土) ジオパークミニツアー、ジオパーク推進室
 8月24日(日) ジオパーク推進室、佐渡市準市民見学
 9月9日(火) 兵庫県歴史博物館資料調査、新潟県立歴史博物館資料調査
 9月10日(水) 兵庫県歴史博物館資料調査、新潟県立歴史博物館資料調査
 9月12日(金) 世界遺産推進課資料調査、新潟県博物館資料調査
 9月14日(日) 障害者手帳掲示、見学
 9月18日(木) 地域おこし協力隊 撮影
 10月5日(日) 障害者手帳掲示、見学
 10月12日(日) 佐渡市準市民
 10月19日(日) 社会教育課、佐渡トキツアーデーウォーク
 10月21日(火) 新潟日報佐渡支局 取材下見
 10月25日(土) BSN取材
 10月26日(日) BSN取材

10月28日(火) 小木小学校 総合学習
 11月14日(金) 社会教育課他 視察
 11月23日(日) 佐渡市準市民
 11月30日(日) 佐渡市準市民
 12月6日(土) ジオパーク推進室
 12月13日(土) ジオパーク推進室
 3月10日(火) 新潟日報取材

8 新穂歴史民俗資料館

4月1日(火) 通常通り開館
 4月8日(火) 資料返却対応
 4月10日(木) 佐渡市立行谷小学校下見
 4月16日(水) 新穂公民館見学
 4月24日(木) 佐渡市立新穂小学校・佐渡市立行谷小学校交流会 勾玉づくり体験
 4月25日(金) 新穂地区地域おこし協力隊見学
 4月26日(土) 佐渡市立新穂小学校学年行事のため下見、管理・受付業務打合せ
 5月3日(土) 新穂地区地域おこし協力隊による写真展開催
 5月6日(火) 明治大学名誉教授来館
 5月7日(水) 資料館受付
 5月15日(木) 高千地区地域おこし協力隊他見学
 5月16日(土) 管理・受付業務打合せ
 5月23日(金) 島の新聞社取材
 5月27日(火) 島の新聞社・新潟日報写真展取材
 5月28日(水) 島の新聞社・裂き織り取材
 5月29日(木) 管理・受付業務打合せ
 6月10日(火) 三条市立西鱈田小学校・新潟市坂井輪小学校 裂き織り・勾玉作り体験
 6月12日(木) 大野小学校・月岡小学校 勾玉づくり・裂き織り・火起こし体験
 6月17日(火) 新潟日報写真展取材
 6月18日(水) 蓮野小学校 勾玉づくり体験
 6月19日(木) 佐渡市立新穂小学校下見
 三用小学校 勾玉づくり体験
 6月25日(水) 東山の下小学校 勾玉づくり体験
 6月26日(木) 藪神小学校 勾玉づくり体験
 6月29日(日) 佐渡市立新穂小学校 火起こし・勾玉づくり体験、管理・受付業務打合せ・写真展終了
 7月3日(木) 藪神小学校 勾玉づくり体験
 7月6日(日) 青木地区マップ制作のため見学
 7月15日(火) 内野小学校 勾玉づくり体験
 7月23日(水) 農林年金受給者連盟 羽茂支部見学
 7月25日(金) 管理・受付業務打合せ
 8月14日(木) 空也上人像展示
 8月15日(金) 「石仏の力」寄附

8月20日(水) 新穂小学校下見
8月27日(水) 管理・受付業務打合せ、佐渡市立真野小学校下見
9月12日(金) 佐渡市立新穂小学校 ウォークラリー
9月18日(木) 環境省見学
9月25日(木) 管理・受付業務打合せ
10月2日(木) 佐渡市立真野小学校 勾玉作り体験
10月6日(月) 裂き織り展・写真展準備
10月7日(火) 佐渡市立畑野中学校 勾玉作り・裂き織り体験
裂き織り展・写真展開始
10月9日(木) 新潟日報取材
10月12日(日) トキタ映え市対応
10月23日(木) 新潟県立佐渡総合高校 裂き織り・勾玉作り体験
10月24日(金) 地域センター下見
10月25日(土) テレビ撮影
10月26日(日) テレビ撮影
10月28日(火) 管理・受付業務打合せ
10月30日(木) 收藏品佐渡博物館へ貸し出し
10月31日(金) 裂き織り展終了
11月12日(水) 婦人会見学
11月19日(水) 佐渡テレビ 文弥人形の撮影
11月26日(水) 管理・受付業務打合せ
11月27日(木) 大野婦人会見学
11月30日(日) 写真展終了
2月1日(日) 收藏品返却
2月20日(金) 佐渡市立七浦小学校社会科
2月25日(水) 管理・受付業務打合せ
3月10日(火) 佐渡市立八幡小学校・佐渡市立行谷小学校社会科

寄贈資料調査研究

北見健彦先生蒐集の佐渡島海産生物（海藻類・貝類・魚類）の地方名

伊藤正一（新潟県佐渡市沢根町153）

はじめに

長い間、新潟大学理学部附属佐渡臨海実験所に勤務され、海産生物にご造詣の深い北見健彦先生が、2014年3月1日に79才で急逝された。

先生は、いくつかの学会誌のほか、海産生物をはじめとした多くの蔵書や資料を有し、父上の北見秀夫先生は高校教師で植物の研究者であり、その蔵書や資料も引き継いでおられた。先生は、これらの蔵書等を分野別にリストを作り、自宅の書架に整理されていた。

先生のご遺族は、学会誌や蔵書、資料等をすべて佐渡市に寄贈されることを申し出られ、佐渡市は佐渡博物館で管理することを決めた。

私は、2014年11月下旬に佐渡博物館の職員と、蔵書等の引き取り準備のために先生のお宅を訪問した。その際、書斎で最初に目に入ったのは、段ボール箱の上にあった佐渡島の海産生物（海藻類・貝類・魚類）の地方名と和名を記した12枚の表である。一見して北見健彦先生が蒐集し作成されたものであると分かった。

先生が、海産生物の地方名を調べておられることは以前から存じ上げていたが、ご遺族も達者集落を中心として、多くの人々に頻繁に地方名を問うていた姿を語ってくれた。しかし、地方名を公表されたとはお聞きしていない。

佐渡島は勿論、新潟県内でも、海産生物の海藻類・貝類・魚類の分類ができる方によるそれぞれの地方名の蒐集例は少なく、蒐集種数も多くない。また、佐渡島内であっても、集落によって、同じ種に対する地方名が異なったり、同じ地方名に異なった種が含まれることがある。したがって、わずかな地域で蒐集した地方名を、佐渡島の地方名として集約するのは、情報の精緻さを欠く。

北見先生の地方名の表は、蒐集集落名が記されていない海藻類、集落名が記されている貝類、「佐渡北部海府地区」と比較的広い地域を記す魚類とからなっている。しかし、北見先生は運転免許を持たれず、自転車

に乗っておられるのも拝見したことがない。したがって、地方名を聞き取るという地道な活動は、勤務先であり若い頃は隣接する官舎で10年を過ごされた新潟大学理学部附属佐渡臨海実験所のある達者集落を中心とした地域と、幼少期から青年期にかけて生活された入川集落周辺が主たる地域と考えてよからう。

このように、佐渡島の達者集落を中心とした地域と推定できる地方名は貴重である。

北見先生が蒐集されたこのような資料がこのまま埋もれるのはあまりにも惜しい。そこで、僭越ながら、50年を越えるご厚誼のよしみで、この資料を公表させていただきたいとご遺族にお願いし、了解を得た。

先生は、自らの研究の他に、佐渡島周辺に見られる海藻相や動物相全般にも注意を払っておられた(Honma and Kitami: 1978, 1979, 1995)。また、海産生物種の佐渡島における地方名の他に、利用方法、古文書に載る海藻や動植物の種名や地方名にも興味を持っておられたことも記しておきたい。

以後、北見健彦先生のことを北見と記すこととお許しいただきたい。

佐渡島海産生物の地方名

1. 佐渡における海藻類の地方名

北見は海藻の研究者である新潟大学の故野田光蔵教授と、佐渡島に生育する海藻の分布と利用について調査されていた(野田・北見: 1962)。

佐渡島の陸上植物を研究された島内の諸家は、海藻の標準和名や地方名について北見の教示を得たことを記すもの(本間: 1999)や、記さなくとも北見から教示を得たことを著者から私がお聞きしたもの(伊藤: 1991)もある。また、新潟日報(佐渡版)に連載された「食の民俗」を纏めた「佐渡の民俗(浜口: 1979)」には、幾つかの魚介類や海藻の和名と地方名が出てくる。そのうち魚介類は北見から教示を得たこと記すが、海藻についても北見が関わっているのではなかろうか。

主に食用とされている海藻の和名と地方名は、新潟県内については新潟県水産海洋研究所（2011）が、新潟県を含む日本海沿岸各県については有用海藻増殖研究会（2002）の報文がある。しかし、その地方名の使われている地域は、新潟県あるいは佐渡と記されている。

北見が蒐集した佐渡における海藻類の地方名は、表1. に示した。表1. の地方名数は、新潟県水産海洋研究所（2011）の新潟県全体より多く、有用海藻増殖研究会（2002）の新潟県内の和名の種数を越えている。

表1. のNo.2 地方名アオモは海藻でなく、砂底に地下茎を這わせる単子葉植物の海草である。No.17 のコブは、購入したコンブ類の佐渡島での呼称であろう。

No.23 の生殖芽は、生殖器床のことと思われる。アカモクの雌雄の葉状体は、雌雄の生殖器床が成熟するにつれて粘液成分が増加する。さらに、雌雄の生殖器床は卵や精子が放出されるまで、雌雄によって粘液成分は異なるが、葉状体の2倍ほどの粘液成分が含まれる（豊田：2006）。この雌雄の生殖器床を含む部分のみをトロロモというのか、この時期のアカモクの葉状体全体を指すのかは、今後、確認したい。いずれにせよ、単なる地方名でなく、海藻の生育期に伴う地方名は興味深い。また、No.25 のようにアカモクのことをナガモよりナンバンモの方をよく使うという漁業者がいる。それは、生殖器床の形が、佐渡の人が「ナンバン」と呼称するトウガラシの果実に似ているからであろう。

No.34 のワカメゴロシは生活に利用するのではなく、ウルシグサやケウルシグサは、空気に触れると急速に硫酸を放出し、自らは緑色になり、接する海藻や魚類を変色や変質させる。また、肌の弱い人は和名の由来でもあるが、触れると漆かぶれのような症状を起こす。ワカメなどの有用海藻に触れれば変色と変質をして商品価値を落とすと害藻として地域に知られている。

表1. には、佐渡島で比較的食用にされる和名カヤモノリ（地方名：スガナ）が見当たらず、和名ウップルイノリの地方名であるシマヘギがない。この理由は今後、折をみて調べたい。また、ワカメのように和名と地方名が同じものは表1. に載っていない。他にもこのような例があるのかは分からない。

表1. の欄外に「それぞれの土地で利用しているものには、方言（地方名）がある」と記してある。生活

と密着する地方名への北見の想いであろう。

2. 佐渡における貝類の地方名

陸産や海産動物の分類ができる研究者による動物の地方名の報文は、菊地（1954）、菊池（1959）がある。その中で海産貝類の地方名は前者で20種ほど、後者が30種ほどである。

北見の蒐集した貝類の地方名と和名は表2. に示した。表2. の表題は「佐渡における貝類の地方名」であるが、地方名の欄に蒐集した集落名が併記されている。その集落は、北見の勤務した新潟大学理学部附属佐渡臨海実験所のある達者集落とその周辺の集落である。

表2. には、菊池が佐渡で蒐集した地方名も併記されているが、これは菊池（1959）の和名と地方名の記述に似ている。表2. から、菊池（1959）の地方名を外した方がすっきりするが、北見の意図は不明である。なお、菊地（1954）の姓は、菊池の誤りである。

日本の貝類の方言を集大成した著書（川名：1998）に、佐渡における貝類の方言があり、北見から1972、1973に情報を得たと記されている。北見にこの件についてお聞きしたことがあるが、記憶に無く、電話による問い合わせではないかと語っておられた。川名（1998）の佐渡の貝類の方言は、表2. におおむね似た記述がなされている。

表2. の貝類の地方名は、隣接する集落間でも異なる例が見られる。佐渡島内ではこのような例は珍しい。

3. 佐渡北部海府地区における魚類の地方名

佐渡北部海府地区における魚類の地方名は表3. に示した。

佐渡島を含む新潟県の魚類について、和名と写真に加えて、県内各地域における地方名（方言）を付したユニークで便利な図鑑（本間：1992）がある。著者の本間教授は北見の上司で共著論文もあり、図鑑の佐渡島の地方名に北見の協力があつたかも知れない。

北見のいう佐渡北部海府地区が、具体的にどの地域を指すのか分からない。しかし、佐渡臨海実験所前の岸壁に一日に午前と午後の2回の水揚げをする達者沖の定置網は、学生実習の一環として揚網を手伝って入網する魚名を調べたり、実験材料の魚類の入手のために学生を引率して漁船に乗ったりされていた。また、

実験所前の達者漁港には、刺し網漁をする漁業者も多く、北見がもっとも頻繁に漁業者に接触した所は、達者集落である。また、誕生から青年期までを過ごした入川集落の情報も含まれるであろう。これらの集落およびその周辺集落が、聞き取りの主な範囲と思われる。

しかし、達者集落の漁業者は、隣接する北狄集落とは地方名が異なる魚種があると話される。したがって、「佐渡北部海府地区における魚類の地方名」には、同じ和名の種に対して集落によって異なる地方名が記されていると思われる。ただ、どれがどの集落の地方名であるかは表3.からは判断できない。しかし、「アブラメ」と「シジュウ」という地方名が、佐渡島の地域によって和名が入れ替わることがあるが、ここではそのような現象は見られない。

No.15の地方名イワナは、No.134のヤマメとともに、それぞれ降海もするアメマス、サクラマスの河川残留型を指す呼称である。

No.25の和名ウキゴリとヨシノボリは、現在それぞれ数種に分けられているので、ウキゴリ類、ヨシノボリ類とすべきである。

表3.には、サクラフグ、ス アブラメ(巢アブラメ)、ツツジバチメ、ヒナサンバチメ、フジフグ、フナスリ、ムギワラバチメ、ワタリアブラメなどのように、単なる地方名ではなく、種の生態や人の生活を反映した地方名であり、興味深い。

おわりに

北見先生は、本文を校閲されることもならず、本文は意に沿わない記述となったと思われる。お許しいただきたい。

現在、私は未発表であるが、佐渡全島の集落ごとに、海産貝類の地方名を調査して5年ほどになり、北見の表2.を越える種数とそれに対応する地方名を得ている。しかし、海藻と魚類は、佐渡全島において今後とも、今回の北見先生の蒐集数に達するのは困難であろう。

本報が佐渡島の海産生物の地方名の調査や研究の緒となることを願ってやまない。

引用文献

- 浜口一夫. 1979: 佐渡の味—食の民俗—. 201頁. 野島出版.
- Honma, Y. and T. Kitami 1978: Fauna and flora in the waters adjacent to the Sado Marine Biological Station, Niigata University. Ann. Rep. Sado Mar. Biol. Stat. Niigata Univ., (8), 7—81.
- Honma, Y. and T. Kitami 1979: Fauna and Flora in the waters adjacent to the Sado Marine Biological Station, Niigata University.: Supplement 1. Ann. Rep. Sado Mar. Biol. Stat. Niigata Univ., (9), 27—36.
- 本間義治. 1991: 「佐渡州物産, 上・下」に載せられた動物. 新潟県生物教育研究会誌, (26). 57—65.
- Honma, Y. and T. Kitami 1995: Fauna and flora in the waters adjacent to the Sado Marine Biological Station, Niigata University.: Supplement 2. Ann. Rep. Sado Mar. Biol. Stat. Niigata Univ., (25), 13—30.
- 本間建一郎. (2006): 佐渡国 享保・元文の植物誌 佐州産物志(全)の植物(1735), 25頁. 自刊.
- 本間建一郎. 2006:(文化3~13年)佐渡志の植物(改訂2006). 77頁. 自刊.
- 本間義治. 1992: 新潟県海の魚類図鑑. 358頁. 新潟日報事業社.
- 伊藤邦男. 1991: 佐渡山菜風土記. 173頁. 佐渡国小本民族博物館.
- 伊藤邦男. 1992: 『佐渡州物産, 上・下』に載せられた植物. 新潟県生物教育研究会誌, (27), 101-111.
- 川名 興. 1998: 日本貝類方言集—民族・分布・由来—. 321頁. 未来社.
- 菊池勘左衛門. 1954: 佐渡の動物方言. 郷土研究 佐渡第一集, 34—36.
- 菊池勘左衛門. 1959: 佐渡百科事典の編纂について, 動物方言の部. 佐渡博物館館報, (3), 21—31.
- 新潟県水産海洋研究所. 2011: 新潟県で食用として利用されている海藻. 新潟県海洋研究所年報(平成21年度), 84—88.
- 野田光蔵・北見健彦. 1962: 佐渡ヶ島の“板アラメ”に就いて. 藻類, 10(3), 96—101.
- 豊田智康. 2007: 褐藻アカモクにおけるマンニトールとラミナランの役割. 2006年度三重大学大学院, 修士論文, 35頁.
- 有用海藻増殖研究会. 2002: 日本海沿岸の海藻に関する情報(1)海藻の地方名. 藻類, 50, 37—40.

表1. 佐渡における海藻類の地方名

| | 地方名 | 和名 |
|----|---------|---|
| 1 | アオノリ | ホソバアオノリ、ボウアオノリ (緑藻) |
| 2 | アオモ | アマモ (顕花植物) |
| 3 | アラメ | ツルアラメ (褐藻) |
| 4 | イゴ | エゴノリ (紅藻) |
| 5 | イジコリ | コメノリ、マツノリ、ツノマタ (紅藻) |
| 6 | イシモヅク | イシモヅク (褐藻) |
| 7 | イソナ | ウスバアオノリ (緑藻) |
| 8 | イワノリ | ウップルイノリ (紅藻) |
| 9 | ウシノシタベラ | ツルツル (紅藻) |
| 10 | ウミワサビ | ユナ (紅藻) |
| 11 | エゴノハナ | イギス (紅藻) |
| 12 | オニモヅク | クロモ (褐藻) |
| 13 | カジメ | ツルアラメ (褐藻) |
| 14 | カズラ | ツルモ (褐藻) |
| 15 | ギンバソー | ホンダワラ (褐藻) |
| 16 | ケイゴ | イギス、アミクサ (紅藻) |
| 17 | コブ | コンブ類一般 (褐藻) |
| 18 | ジンバソウ | ホンダワラ (褐藻) |
| 19 | ソゾ | ユナ (紅藻) |
| 20 | ツノマタ | コメノリ、マツノリ、ツノマタ (紅藻) |
| 21 | テングサ | マクサ、オバクサ (紅藻) |
| 22 | テンツ | フシスジモク (褐藻) |
| 23 | トロロモ | アカモク (褐藻) 主に生殖芽 |
| 24 | ナガモ | アカモク (褐藻) |
| 25 | ナンバンモ | アカモク (褐藻) |
| 26 | ノリ | ウップルイノリ、クロノリ、サツキノリ (紅藻) |
| 27 | ハナモヅク | モヅク (褐藻) |
| 28 | ハバ | ハバノリ、セイヨウハバノリ (褐藻) |
| 29 | ヒラモ | ハバノリ (褐藻) |
| 30 | フクノリ | キョウノヒモ、ヒラムカデ (紅藻) |
| 31 | ベロ | ツルツル (紅藻) |
| 32 | ミズノリ | アサクサノリ、クロモ、スサビノリ、サツキノリ (紅藻) (主に、春になって荒磯の海水中に生える) |
| 33 | モヅク | モヅク、イシモヅク (褐藻) |
| 34 | ワカメゴロシ | ウルシグサ、ケウルシグサ (褐藻) |
| 35 | ワニカズラ | ツルモ (褐藻) |

それぞれの土地で利用しているものには、方言(地方名)がある

表 2. 佐渡における貝類の地方名

| | 地方名 | 和名 |
|----|-----------------|-----------------|
| 1 | アカニシ (菊地) | アカニシ (巻貝) |
| 2 | アカニシ (菊地) | レイシガイ (巻貝) |
| 3 | アギリ (達者) | オオヘビガイ (巻貝) |
| 4 | アマシタダミ (菊地) | タマキビ (巻貝) |
| 5 | アマシタダミ (戸地) | アラレタマキビ (巻貝) |
| 6 | アービ | アワビ鮑類一般 (巻貝) |
| 7 | イゲー (達者) | イガイ (二枚貝) |
| 8 | イギリ (北狄) | オオヘビガイ (巻貝) |
| 9 | インギリゲー (入川) | オオヘビガイ (巻貝) |
| 10 | ウシシタダミ (菊地) | イシダタミ (巻貝) |
| 11 | オカショーモリ (姫津) | アラレタマキビ (巻貝) |
| 12 | オトコガイ (菊地) | アカガイ (二枚貝) |
| 13 | オトコゲメ (菊地) | コカモガイ (巻貝) |
| 14 | オマンコガイ (菊地) | ヨメガカサガイ (巻貝) |
| 15 | オンガイ (入川) | クロアワビ (巻貝) |
| 16 | オンジキゲー (入川) | トコブシ (巻貝) |
| 17 | オンナゲメ (菊地) | ベッコウガサガイ (巻貝) |
| 18 | オンベコ | アメフラシ類 (巻貝) |
| 19 | ガキ (菊地) | カキ (二枚貝) |
| 20 | ガキガイ (菊地) | カキ (二枚貝) |
| 21 | ガキゲー (菊地) | カキ (二枚貝) |
| 22 | カタツブリ (菊地) | カタツムリ類一般 (巻貝) |
| 23 | カタガイ (菊地) (潟貝?) | カラスガイ (二枚貝) |
| 24 | カミソリガイ (菊地) | マテガイ (二枚貝) |
| 25 | キエー (菊地) | 貝類一般 |
| 26 | クスリイソモン (北川内) | タマキビ (巻貝) |
| 27 | クスリシタダミ (小川) | タマキビ (巻貝) |
| 28 | グメ | ヨメガカサ (巻貝) |
| 29 | グメゲー (達者) | ヨメガカサガイ (巻貝) |
| 30 | クロクチ (菊地) | イガイ (二枚貝) |
| 31 | クロクチ | ムラサキインコガイ (二枚貝) |
| 32 | クロニシ (菊地) | イボニシ (巻貝) |
| 33 | ケエー (菊地) | 貝類一般 |
| 34 | コブラゲー (達者) | トコブシ (巻貝) |
| 35 | コマンツボ (達者) | アラレタマキビ (巻貝) |
| 36 | コメガイ (菊地) | ヨメガカサガイ (巻貝) |
| 37 | コメゲー (菊地) | ヨメガカサガイ (巻貝) |
| 38 | サザイ (菊地) | サザエ (巻貝) |
| 39 | サゼエー | サザエ (巻貝) |

| | | |
|----|----------------|--------------------|
| 40 | サトーショーモリ (北狄) | スガイ (巻貝) |
| 41 | ジイノセゴウ (菊地) | ヒザラガイ (多板) |
| 42 | シタダミ | コシダカガンガラ、クボガイ (巻貝) |
| 43 | シッタカ (菊地) | オオコシダカガンガラ (巻貝) |
| 44 | ショーモリ (達者) | オオコシダカガンガラ (巻貝) |
| 45 | シマガイ (菊地) | アカガイ (二枚貝) |
| 46 | スズメゲー (菊地) | シジミ (二枚貝) |
| 47 | セナコウジ (入川) | ヒザラガイ (多板) |
| 48 | セナコジ (入川) | ヒザラガイ (多板) |
| 49 | ナンドキ (小川) | アラレタマキビ (巻貝) |
| 50 | ナンドキ (達者) | イシダタミ (巻貝) |
| 51 | ナンドキ (菊地) | ウミニナ (巻貝) |
| 52 | ニシ (菊地) | イボニシ (巻貝) |
| 53 | ニシ (菊地) | レイシガイ (巻貝) |
| 54 | ニタリゲー | イガイ (二枚貝) |
| 55 | ビンナ (菊地) | カタツムリ (巻貝) |
| 56 | ベエコン (入川) | アメフラシ (巻貝) |
| 57 | ベカ (菊地) | アメフラシ (巻貝) |
| 58 | ベカタコ (達者) | アメフラシ (巻貝) |
| 59 | ベントーショーモリ (達者) | クボガイ (巻貝) |
| 60 | ヨミヨミ (菊地) | クロズケガイ (巻貝) |
| 61 | メガイ | メガイアワビ (巻貝) |
| 62 | メクサリ (北狄) | イシダタミ (巻貝) |
| 63 | メクサリ (達者) | スガイ (巻貝) |
| 64 | メクラシタダミ (菊地) | イシダタミ (巻貝) |
| 65 | メンガイ | メガイアワビ (巻貝) |
| 66 | ヤマヤケ (達者) | アメフラシ (巻貝) |
| 67 | ヨダレゲー (菊地) | エッチュウバイ (巻貝) |

地方名の後の(菊地)は、菊地勘左衛門氏による。

その他の()は、それぞれの地区での呼名。

地方名の後に()のないものは、島内で割合広く用いられている呼名。

表3. 佐渡北部海府地区における魚類の地方名

| | | |
|----|--------|--------------------------|
| 1 | アオ | アオザメ (軟骨魚) |
| 2 | アオバクトー | キュウセン (雄) |
| 3 | アカバクトー | キュウセン (雌) |
| 4 | アカバチメ | メバル |
| 5 | アジ | マアジ |
| 6 | アナゴ | ヨロイメバル |
| 7 | アブラメ | クジメ |
| 8 | アミクイ | ミシマオコゼ |
| 9 | アメマス | カラフトマス (主に、体色が銀毛していない個体) |
| 10 | イガコ | キヌカジカ |
| 11 | イソフグ | ゴマフグの幼魚 |
| 12 | イナダ | ブリ (幼魚) 全長 30cm前後の個体 |
| 13 | イバラゴチ | イネゴチ |
| 14 | イワイザメ | カスザメ (軟骨魚) |
| 15 | イワナ | アメマス (淡水産) |
| 16 | インデアン | バショウカジキの幼魚 |
| 17 | ウー | ヨロイメバル |
| 18 | エトリ | ホンベラ |
| 19 | オーイオ | イシナギ |
| 20 | オキナンダラ | フサギンボ |
| 21 | オコゼ | オニオコゼ |
| 22 | ガザバチメ | ヨロイメバル |
| 23 | ガゼバチメ | ヨロイメバル |
| 24 | カクトビ | ツクシトビウオ |
| 25 | カジカ | ウキゴリ、ヨシノボリ (淡水産) |
| 26 | カスベ | ガンギエイ (軟骨魚) |
| 27 | カタベ | イシダイ幼魚 |
| 28 | カタボ | イシダイ幼魚 |
| 29 | カツオ | マルソウダ |
| 30 | カネタタキ | マトウダイ |
| 31 | キクガレイ | ムシガレイ |
| 32 | キミヨ | ハウボウ |
| 33 | キンダイ | アカマンボウ |
| 34 | キンバチメ | ウスメバル |
| 35 | ギンバチメ | ウスメバル |
| 36 | キンブク | サバフグ |
| 37 | クチボソ | オキタナゴ |
| 38 | クチロ | オキタナゴ |
| 39 | クマサカ | トラフグ |
| 40 | クロコ | メジナ |
| 41 | クロバチメ | クロソイ |

| | | |
|----|---------|-----------------------------|
| 42 | クロブク | マフグ |
| 43 | ゲナ | ミミズハゼ、オオミミズハゼ |
| 44 | ゲナグリ | ミミズハゼ |
| 45 | ゲナラン | ミミズハゼ、オオミミズハゼ |
| 46 | ゲンナグロ | ミミズハゼ、オオミミズハゼ |
| 47 | ゲンブク | ヒガンフグ、コモンフグ |
| 48 | コウグリ | カワハギ |
| 49 | コガネバチメ | タケノコメバル 時にウスメバル |
| 50 | コダイ | チダイ |
| 51 | ゴードラフグ | ホテイウオ |
| 52 | コチ | トビヌメリ |
| 53 | コーナゴ | イカナゴ |
| 54 | コメフグ | クサフグ |
| 55 | コムギバチメ | エゾメバル |
| 56 | サクラフグ | ヒガンフグ (春の彼岸頃に産卵に集まる) |
| 57 | サシ | カジキマグロ類一般 |
| 58 | サバ | マサバ |
| 59 | サバフグ | ゴマフグ (春サバの捕れる頃沿岸に集まる) |
| 60 | サメ | アブラツノザメ |
| 61 | シジュウ | アイナメ |
| 62 | シシンボ | ツマグロカジカ |
| 63 | シビ | クロマグロ (大型の個体、体重 30kg以上?) |
| 64 | シマダイ | イシダイ |
| 65 | ジョロー | ナベカ |
| 66 | シマメグリ | キュウセン (雌、幼魚) |
| 67 | ス アブラメ | クジメ (産卵期、主に春先産卵場付近に見られる) |
| 68 | スケソ | スケトウダラ |
| 69 | スケト | スケトウダラ |
| 70 | スケソー | スケトウダラ |
| 71 | スジガツオ | ハガツオ |
| 72 | ズンベ | ブリ (幼魚) モジャコより大、イナダより小 |
| 73 | セイウチ | ナガズカ |
| 74 | セイワシ | ナミノハナ |
| 75 | セキダガレイ | シマウシノシタ |
| 76 | センベ | ガンギエイ (軟骨魚) |
| 77 | タイ | マダイ |
| 78 | タイザメ | ホシザメ (サメ類のなかでは一番味が良い) (軟骨魚) |
| 79 | タカナバチメ | ウスメバル |
| 80 | タナゴ | ウミタナゴ |
| 81 | タヌキボーソー | ムスジガジ |
| 82 | チンダイ | クロダイ |
| 83 | チンブク | クサフグ |

| | | |
|-----|---------|---------------------------|
| 84 | チンポムキ | アサヒアナハゼ |
| 85 | ツツジバチメ | エゾメバル (春レンゲツツジの花が咲く頃が漁期) |
| 86 | ツラナゴ | タケノコメバル |
| 87 | テーザメ | ホシザメ (軟骨魚) |
| 88 | テッポウ | カマスサワラ |
| 89 | デバ | キュウセン等ベラ類 |
| 90 | ドーコ | クロソイ |
| 91 | トビ | ホソトビウオ |
| 92 | トビウオ | ホソトビウオ |
| 93 | ドベ | アゴハゼ、ドロメ、ヨシノボリ |
| 94 | ドベカチ | アゴハゼ、ドロメ、ヨシノボリ |
| 95 | トーネ | ヨシノボリ |
| 96 | トーマ | カワハギ、ウマズラハギ |
| 97 | ドモ | ホッケ |
| 98 | ドモシジュウ | ホッケ |
| 99 | トラザメ | ネコザメ (軟骨魚) |
| 100 | トラフグ | ヒガンフグ |
| 101 | ナキリ | ギンポ |
| 102 | ナンダラ | フサギンポ |
| 103 | ナンバン | チャガラ (幼魚の色・形が、トウガラシに似ている) |
| 104 | ニガイゴ | ハオコゼ |
| 105 | ニツカリ | ササノハベラ |
| 106 | ネコザメ | トラザメ (軟骨魚) |
| 107 | ノロ | ダイナンギンポ、ギンポ |
| 108 | ノロマケンロン | アサヒアナハゼ、アナハゼ |
| 109 | バカザメ | ウバザメ (軟骨魚) |
| 110 | バカホージョー | アサヒアナハゼ |
| 111 | バクトー | キュウセン ホンベラなどのベラ類 |
| 112 | バクチコキ | ウマズラハギ (皮膚が簡単に剥ける) |
| 113 | ハタザメ | カスザメ (軟骨魚) |
| 114 | ハチメ | メバル カサゴ |
| 115 | バリ | アイゴ |
| 116 | バンジョー | サンマ |
| 117 | ヒナサンバチメ | ハツメ (春の雛祭り頃に捕れる) |
| 118 | フクラギ | ブリ (幼魚 全長 30 ~ 45cm前後) |
| 119 | フジブク | ゴマフグ (春のフジの花が咲く頃捕れる) |
| 120 | ブタザメ | ウバザメ (軟骨魚) |
| 121 | フナスリ | ブリ (大型成魚, 船縁を擦るように大きい) |
| 122 | ホージョー | アナハゼ |
| 123 | ボーソー | ダイナンギンポ |
| 124 | ボラ | メナダ |
| 125 | ホンマス | サクラマス |

| | | |
|-----|---------|-----------------------------|
| 126 | マダロ | クロマダロ (体重 15kg以上) |
| 127 | マシジュウ | アイナメ |
| 128 | マバチメ | メバル |
| 129 | ムギワラバチメ | ヤナギメバル |
| 130 | ムクジ | コブダイ |
| 131 | メジ | クロマダロ (幼魚、体長 60m、体重 5kg位以上) |
| 132 | メプト | ウルメイワシ |
| 133 | モモジロ | ホンベラ |
| 134 | ヤマメ | サクラマス (淡水産) |
| 135 | ユゴイ | ウグイ |
| 136 | ユーゴイ | ウグイ |
| 137 | ユグイ | ウグイ |
| 138 | ワタリアブラメ | クジメ (秋口、産卵のために磯に入ってくる) |

資料研究 古文書にみる佐渡で記録された天文事象

佐渡学センター 情報指導員 池田 雄彦

1 はじめに

依頼されたジオパークの研修会で、佐渡学の視点も加味し天文教室を実施した。その中で、佐渡における天文と信仰、古文書に見られる天文事象の概略を紹介した。本誌では、後者の古文書に見られる天文事象の記録を、科学的視点で整理したものを紹介したい。

昭和37年(1962)7月25日に気象庁新潟気象台相川測候所が発刊した『佐渡災異誌』の中から、天文事象に関係していると思われる記録を取り出してみた。日食の記録1件、彗星と思われる記録6件、流星と思われる記録2件と予想外に少ないことが分かった。(この他オーロラ3件)

なお、元和2年(1682)・宝暦9年(1759)のハレー彗星等、他地域の古文書に多く見られる顕著な天文記録が『佐渡災異誌』にはみられない。『佐渡災異誌』の調査時に漏れの可能性も考えて、『佐渡国略記』・『佐渡年代記』・『佐渡風土記』等を調べたが、前述したハレー彗星の記録は見付けることができなかった。その作業の過程で、『佐渡国略記』の明和6年に彗星の記録を新たに追加することができた。

『佐渡災異誌』に記録されているものは、表1のとおりである。仙台藩や加賀藩の天文古記録や各地の気象災異誌等から整理されたものがインターネットで紹介されている(仙台藩の天文学史HP、富山市科学文化センターHP等)が、仙台藩が30、加賀藩が36の彗星と思われる古記録を紹介している。日蝕・月蝕については、仙台藩45、加賀藩の24の記録がある。

佐渡奉行所に残された日々の記録には日食や彗星等の天文記録の記載が、他地域の古文書に比べ極めて少ないと言える。仙台藩や加賀藩には、藩おかなかえの天文方がおり、職務の上からも詳細な記録を残している。

一方佐渡の場合、残された古文書は、奉行所の書記役の記録が主で、天文に対する関心の強さにも多少左右されると考えている。記録が少ない他の原因としては、日蝕予想の暦を江戸時代の佐渡奉行所役人が所持しているなど、日蝕予想の情報が事前に流れ、島民が大騒ぎすることもなかったためであろうか、日本海

側気候で太陽や月が雲にかくれる日がおおいことが絵一驚しているのか、いろいろな理由が考えられる。

「佐渡気象災異誌」他、古文書に記録された天文事象を諸データをもとに分類の上、簡潔に紹介したい。

なお、以下の文中の年月日は、旧暦を新暦に換算して掲載する。

2 検証方法

彗星や日蝕等は、検証確認のため、パソコンのシミュレーションソフト「ステラナビゲータ8(アストローツ)」を使って、その当手を再現させてみることにした。緯度・経度は、江戸幕府直轄の相川奉行所であった相川広間町に設定し(E138.14.34、N38.01.58、標高20m)、彗星データとして、近日点通過が800年~1850年の彗星データ(ケンブリッジ大学版)を追加登録した。周期が極端に長い彗星等は該当しないし、彗星は一時的に爆発的に増光を見せることもあり、データはあくまでも参考として捉えた。

3 隕石

(1) 1732年2月25日

「**田野浦村に挽白石落る。**」(出典：『佐渡名勝志』)

隕石を「^{ひきうすいし}挽白石」を呼称している。

石臼のような石が空から落ちてきたと解釈してよいでしょうか。隕石のことを「挽白石」とよぶ用語は、閲覧できた天体方言等の辞書を調べたが見当たらない。佐渡独自の呼称か不明である。

1732年に近い佐渡最古の佐渡国絵図(1680年代)を見ると田ノ野浦村は加茂郡の田ノ浦村(現北田野浦)、羽茂郡の田ノ浦村(現小木・田野浦)の両方に見られ、どちらの田野浦村か断定しがたい。

(2) 1794年8月8日

「**宝珠山延命院流火に遭ふ、直に諸伽藍を再建せり。**」(出典：『赤泊村誌』)

宝珠山延命院は赤泊の真言宗智山派の寺院で、寺の

表1 『佐渡災異誌』抜粋

| 年号 | 旧暦 | 新暦 | 記事 |
|---------------|-------------|-------------------|---|
| 承和元年 834 | 10月2日 | 11月6日 | 佐渡国言慶雲見 |
| 貞観14年 872 | 2月21日 | 4月6日 | 佐渡に紫雲見はる。 |
| 元和5年 1619 | | | 夏より冬に至りて東南の雲間に毎夜白気あり牛角の如し数10丈也。 |
| 享保14年 1729 | 7月27日 | 8月21日 | 白昼ハツ時月星共に分明に見える。 |
| 享保15年 1730 | 正月2～ 3日 | 2月18～19 日 | 2日夜、光物有3日夜も亦光物有り。 |
| 享保17年 1732 | 11月9日 | 2月25日 | 田野浦村に挽白石落る。 |
| 寛保3年 1743 | 10月 ～11月 | 10月28日 ～12月26日 | 大星現れ、其余光流れ射る事3尺から4尺、或は夜に依つては1丈余流れる、又實に鷄旦と其出る処替れり然れども多く西北の方に出づ国民名付て上元星と云ふ。 |
| 明和7年 1770 | 5月朔日 | 5月25日 | 日蝕曆書には之五刻西の方より掛け始一刻甚だしく同六刻東の方に而終るとあり処之上刻東の方より三、四分掛かりなり。 |
| 寛政6年 1794 | 7月13日 | 8月8日 | 宝珠山延命院流火?に遭ふ、直に諸伽藍を再建せり。 (※火災、いん石にも分類せず「異常気象」として分類) |
| 天保14年 1843 | 2月19日 | 3月19日 | 19日より当分夜毎に海上の空に妖雲が出た。 |

縁起に「本堂は幾度の流火の厄に遭い伽藍を再建しましたが、更に、寛政六年（1794年）再度類焼し、五年後に宥秀が再建復興したと伝えられております。…」とある。

巨大隕石が地球規模の大火災を起こし、恐竜が絶滅した要因の話もある。しかし、隕石落下時の流れ火で火災を起こし炎上した事例の情報は得られていない。海外で、火の玉が飛んできて火災が起きた記録はあるが、「隕石の可能性もある」と表現はされているが断定はされていない。隕石が残る等の物証があるとよいのだが、流れ火の正体は不明である。

4 オーロラ

太陽活動の極大期に、「磁気嵐」と呼ばれる地磁気擾乱が激しく起きたときは、日本のような低緯度でもオーロラが見られる。日本で見られるオーロラはそのほとんどが赤い色をしており、「赤気」と呼ばれていた。

また、地震前にも赤気が見られたとの記録もあるが、佐渡の場合、地震前の発光の記録は見られない。

(1) 1635年9月7日

「西方の空に赤気ありて、火焰の如し、是佐渡のみに

あらず、京都其外の国々にも如斯ありしとなり、肥前国島原一揆の前表なるへしと言う。」(出典：『佐渡年代記』)

参考のため、太陽活動の極大期と比べるために、黒点の相対数を参考にすることとした。理科年表には、1700年前の黒点の相対数が数値データとして記載されていない。理科年表の太陽黒点相対数のグラフには1600年代のプロット(図1、J.A.Eddy, Scienceによる)があるが、1635年頃は、黒点相対数が50、前後の最大値は120～80と高い。なお、1645年～1715年はマウンダー極小期とよばれ、太陽活動の停滞期に入っている。

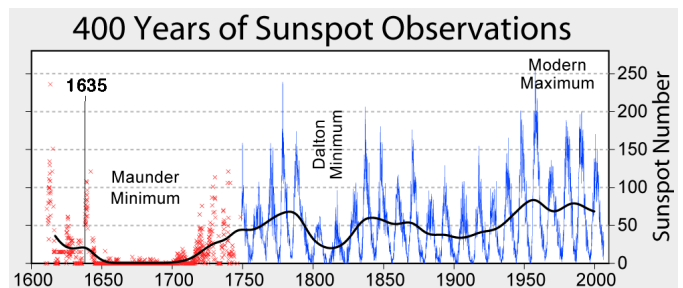


図1 最近400年の太陽黒点数(相対数)の変動
(太陽黒点数データセンターの資料からR. A. Rohdeが作製)
曲線は長期間をならした値

仮に、太陽の活動期でないとすると、オーロラとは考えにくくなる。産業技術総合研究所 中部センター 榎本 祐嗣氏の「地震史料にみる”空の赤気と白気立つ”現象について」の中で、「満天が赤気であったので、それは満蒙の砂漠の細砂が朔風に吹上げられ所謂黄塵万丈となって日本海を渡って来る三・四月の頃に見られる黄砂が原因ではないか」と推測している。しかし、この古文書は、春でなく秋であり、この説をそのまま当てはめるにはいかない。文面にある京都に残された資料等を参考にすることが必要だが、資料が得られなかった。

(2) 1730年2月18～19日

「2日夜、光物有3日夜も亦光物有り。」

(出典：『佐渡名勝志』)

同時期に、加賀藩、中国や欧州でも記録がある。他地域はオーロラと断定しているの、オーロラの可能性が極めて高いといえる。

太陽黒点は、1727年に極大となっている。

(3) 1770年9月17日

「戌之刻より来たの方の空赤気ありて火焰の如し、外海府村々火事にもあらんかと相川に住せし海府出生のもの共皆々戸地、戸中村辺迄至りて様を尋ぬといへとも別条なし、又相川より南の沢根、河原田辺に而は相川に火事ありとて、中山、下戸迄駆付しものもありと聞ゆ。」(出典：『佐渡年代記』)

日本各地に「赤気」の記録が見られる。この記述と同じように、他地域の古文書にも、オーロラを火事と思われる記述が見られる。

1年前の1769年9月に太陽活動が極大で、1770年の黒点相対数も100.8と大変高く、太陽活動が活発であったことなどから、オーロラの可能性が高い。

(4) 1839年9月22日

「日没、赤色の妖雲が現れた。」(出典：『金泉郷土史』)

『大辞林』で「妖雲」とは、「不吉な事の起こるのを暗示しているような気味の悪い雲。」とある。不気味な赤色の空だったと思われる。

近年の太陽活動極大は、1837年3月であり、理科年表を見ると1939年も黒点数相対数が高く(85.7)、

オーロラの可能性が高い。

5 日 蝕

1770年5月25日

「日蝕曆書には之五刻西之方より掛け始之一刻甚だしく同六刻東之方に而終るとあり処之上刻東の方より三、四分掛かりなり。」出典：『佐渡年代記』

「寅五月朔日、日そく(喰)巳五刻西ノ方ヨリ掛始、午一刻甚シク、同六刻東ノ方ニ而終ルト有之候得共、午上刻三四分程東方ヨリ掛け、八つ刻少々雨天」

出典：『佐渡国略記 下』(『佐渡災異誌』に無し)

佐渡国略記には、日蝕の終わり近くに雨天になったことが追加されている。

日蝕曆書をもとに、予想との誤差を佐渡の役人が記述していることは、とても意義深い。日蝕は緯度・経度によって欠け方や時間が異なり、記載の日蝕曆書は佐渡専用の地方版があったとは考えにくく、どのような曆書であったか不明である。佐渡は直轄地で江戸より役人が出入りしていたことから、江戸で作成されたものと考えられる。また、日蝕の予測は、正確に求められない時代で、日蝕日が一致しただけでもすばらしい事と思う。

佐渡奉行所の緯度・経度を入力してシミュレーションさせると、蝕は、午前8時50分頃より欠けだして10時頃最大となり11時10分過ぎ食が最大時のシミュレーションに終わっている。この時の食は3.6分となり、記述と一致する。

この時、すぐ側に金星がマイナス4等級で位置している。条件によっては、同時に見られた可能性もある。シミュレーションは、西側より東側にぬけ、記述と



蝕の最大

おりの動きをする。

なお、この日蝕のために、役人が新しくきた奉行に挨拶にいく日を延期した記述が『佐渡国略記』に見られるのも面白い。

●四月九日江戸出立、同廿八日、御奉行長山百助様越後寺泊ヨリ赤泊へ御渡海、翌廿九日相川江御着、…

…

五月朔日日そく（喰）二付、諸役人并御用町人御目見引、翌日相勤、三日相川残役人、浦方役人、同寺社・山伏・町医師相勤、同五日浦方残役人

6 彗星

(1) 834年11月6日

「佐渡国言慶雲見」

出典：『日本気象史料追捕』・『日本気象史料綜覧（続日本後記）』

『広辞苑』で「慶雲」は「めでたいことの前兆の雲。瑞雲」、『字通』では以下のように説明している。

【慶雲】けいいうん瑞雲。〔漢書、天文志〕稼の彫（ごと）くにして稼に非ず、雲の彫くにして雲に非ず。郁郁（るくるく）岫岫、秃索（せうさく）輪牙（りんきん）たる、是れを慶雲と謂ふ。

「稼」（稲のことであり、彗星の尾の形とも考えられる。）、「郁郁」、「輪牙」等の解釈から彗星と思われる。

834年11月6日夜の空をシミュレーションさせた結果、日没後の西の空に7等級のエンケ彗星が見られる。

現在の環境下では肉眼で見られない明るさであるが、尾の一時的な輝き等はシミュレーションでは判断がつかない。シミュレーションでは、尾の長さは10



月頃最大になり、彗星の最大接近は、11月下旬で4等級の明るさとなり、東の空に現れてくる。この明るさならば、光害がほとんどない佐渡の夜空で、肉眼観察が可能となる。記録の情報が少なく、現在確認されていない彗星の可能性も否定できない。11月末～12月上旬頃には、4.5等級の明るさになる。

可能性の高い彗星 エンケ彗星 (2P)

- ・周期3.3年（現在知られている彗星の中で一番短い）
- ・1786年ペーテル・メシアンによって発見された。
- ・おうし座流星群の母彗星と考えられている。

(2) 872年4月6日

「佐渡に紫雲見はる。」

出典：『越佐史料』・『日本気象史料綜覧（三代実録）』

『佐渡災異誌』では、「紫雲」をオーロラに分類していない。オーロラの色は、普通、青・緑・赤となっている。「上空100km以下ではピンク色や紫色の光を発することがあり、ピンク色は窒素分子、紫色は窒素分子イオンによるものです。（JAXA宇宙情報センターHP）」とあるが、佐渡の古記録に見られるように低緯度でのオーロラは赤色系の記録がほとんどである。

彗星と断定できないが、シミュレーションさせると、3.7等級でタートル・ジャコビニ・クレサック彗星が現れる。



有名なジャコビニ流星群と関連性が高い彗星と言われている。彗星カタログ等から、この彗星は頻繁にバースト（突発的な増光）を起こし、予想のつかない光度変化を見せることがあるとなっている。色スペクトル

のデータがあれば紫色系の彗星であることが確認できる。

可能性の高い彗星
 タツトル・ジャコビニ・クレサック彗星 (41P)
 ・ジャコビニ流星群の母天体?
 ・周期5.42年

(3) 1619年
 (記述年で彗星が見られたのは1618年と思える)
 「夏より冬に至りて東南の雲間に毎夜白気あり牛角の如し数10丈也。」(出典：『佐渡名勝志』)

記録には、月日が書かれていない。「数10丈なり」の表記されており、相当長い尾の彗星であったことが分かる。牛角の表記は加賀藩や仙台藩にもある。彗星の形を表現する当時の用語と思われる。

持ち合わせの彗星カタログには、1619年が近日点通過の彗星データはない。前年の1618年に3つの彗星が登録されている。他地域の古文書や彗星の文献等から1618年には、2個の彗星が同時に見られとの記録がある。シミュレーションさせても1619年の夏～冬にかけて、大接近の彗星はない。

古文書の中には、前年のことを振り返っての記述も時々見られる。文面等から元和5年に入ってから、元和4年の夏より冬についての記述をした可能性が高い。

前年の元和4年、夏より冬にかけて東南に現れる明るい彗星は、C/1618 V1である。シミュレーションでは、1.4等級の明るさである。光害のない澄んだ佐渡の夜空では、相当長い尾が観察されたと考えられる。



可能性の高い彗星 C/1618 V1
 ・近日点通過 1618年10月27日
 ・非周期性彗星

(4) 1730年2月18～19日
 「2日夜、光物有3日夜も亦光物有り。」
 出典：『佐渡名勝志』

シミュレーションでは、ショーマス彗星が見られる。2月18日頃は、6.3等級の暗い彗星である。この日には、月も出ており、ショーマス彗星であると判断しがたいが、尾の明るさは、判断基準がなく、数字以上に明るく見える可能性、彗星が爆発的に明るくなる性質等から、ショーマス彗星の可能性が高い。



晴天の日がほとんどない雪国の冬空の澄んだ、光害などない佐渡の空ならきれいに見えたのではないかと考えられる。今後も、周期彗星のデータを追加し、再確認していきたい。

可能性の高い彗星 ショーマス彗星 (24 P)
 ・周期8.27年
 ・1911年ショーマスが発見
 ・1.205AU

(5) 1743年
 この年の彗星は、詳細に記録されている。
 ○寛保3年
 「大星現れ、其余光流れ射る事3尺から4尺、或は夜に依っては1丈余流れる、又竇に鶏旦と其出る処替

れり然れども多く西北の方に出づ国民名付て上元星と云ふ。」(出典：『佐渡名勝志』)

○延享元年

「一去ル亥(寛保3年)十月比ヨリ十二月二至テ大星ヲ現ス、其余光流レ射事三尺四尺或ハ夜ニ依テ一丈有余ニ流レヌ、宵トアシタト其ノ出ル処替レリ、然レトモ多ク西北ノ方ニ出、国民名ケテ上元星ト云リ。今年(延享元年)三月或人病ニ依テ療養ノ為ニ上京シ、六月帰リヌ、洛説を尋ルニ稻穂星ト云々。……」

(出典：『佐渡名勝志(鑑通年鑑鳳)』)

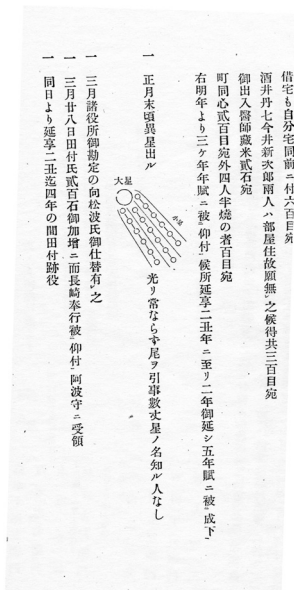
◇寛保2年

「一正月末頃異星出ル光り常ならず尾ヲ引事数丈星ノ名知ル人なし」(『佐渡風土記・下巻』)

◇延享元年(3月より延享元年、寛保3年1月)

「一正月又異星出ル成ノ星二同前去年十二月中頃より出る上元星ト云星の由今年を上元の始ト云」

(『佐渡風土記・下巻』)



佐渡風土記

寛保2年の記述、他の仙台藩・加賀藩等古文書ならびに理科年表および記載の図等から、これは寛保3年のクリンケンベルグ彗星と思われる。シミュレーションからして、寛保2年には、まだ肉眼では記述のような観察ができないと思われるが、環境のよい星空では早い段階から観測されたとも考えられる。延享元年の図の尾が複数に分かれていることから、海外の当時代の写実画からクリンケンベルグ彗星の特徴がよく表れている。

天文シミュレーションで、1743年10月～1744年3月(新暦)の星空をみると、数か月の間空にみえる。



シミュレーションでは、佐渡風土記の「延享元年正月又異星出ル成ノ星二同前去年十二月中頃より出る上元星ト云星の由今年を上元の始ト云」、新暦で1744年2月頃、日の出直前の東の空低く-2～3等級という最大光度となる。極めて明るい彗星である。

可能性の高い彗星

クリンケンベルグ彗星 (C/1743X1)

- ・ 史上最も美しく明るかったと語り継がれる彗星
- ・ 1744年の世界のスケッチ図では、複数の尾の記録が残っている。
- ・ 近日点通過 1744年3月1日
- ・ 肉眼可視 1743～1744年

(6) 1769年8月25日

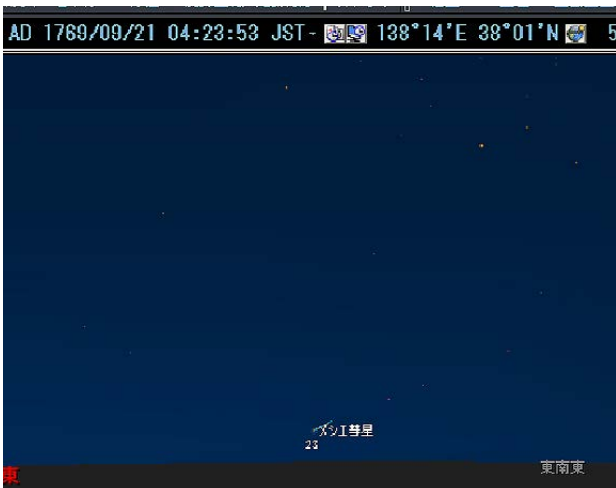
「夜ほうき星出」

出典：『佐渡国略記下』(『佐渡災異誌』に記録がない)

この彗星の記録は、全国各地の古文書に多く残っている。

1769年に現れたメシエ彗星と考えられる。シミュレーションでは、8月25日頃は、東の空高く5等級くらいの明るさであるが、9月中旬頃は明け方東の空低く2等級の明るさとなる。仙台藩の高野家の彗星記録には、尾の長い彗星であったと「仙台藩の天文学史」のホームページで紹介されている。

江戸時代で光害の全くないことを考えれば5等級の明るさならば十分観察可能である。9月中旬をピークに日ごとに明るさを増していくので、長い間、このほうき星は、みごとに佐渡の夜空に見られたことと思う。



可能性の高い彗星 メシエ彗星 (C/1769 P1)

- ・近日点通過 1769年10月8日
- ・非周期彗星

(7) 1843年3月19日

「19日より当分夜毎に海上の空に妖雲が出た。」

(出典：『金泉郷土誌』)

○柴田収蔵日記

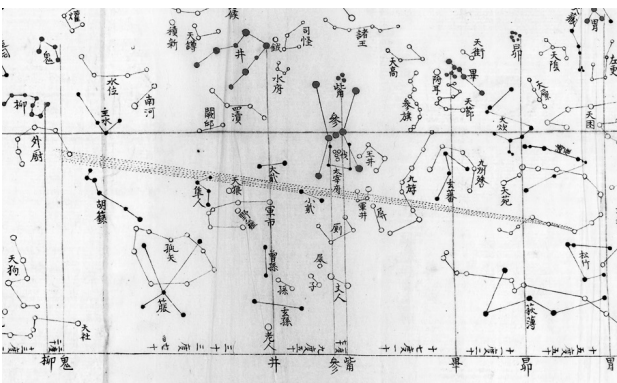
天保14年癸卯年年中日記2月19日(旧暦)

「2,3日先より西南の間に白気顕るる由高崎(≡)聞(ㄅ)。則今夜此を見る。参の下より起て長き事□文計(ばかり)。人皆是を異とす。」

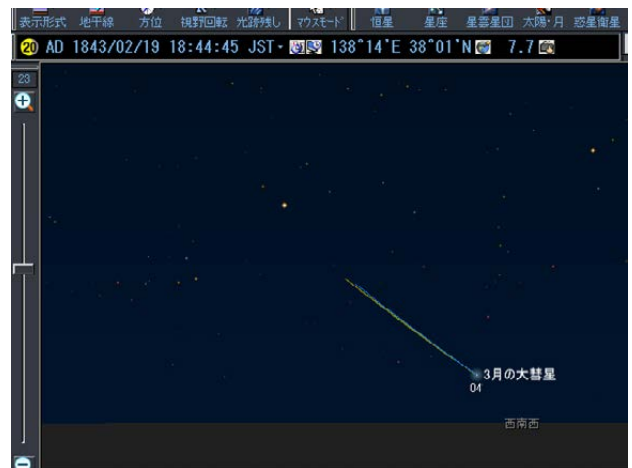
○柴田収蔵日記 天保14年2月26日

「…夜に入り)石井氏行き、西窓にて白気を見、並(に)昴星の直形を写す。」

この彗星の記録については、石井夏海が「白気発動星座測量之図草稿」で星図の中に彗星を記録している。佐渡で正確に記録された貴重な彗星図である。この記録は、平成19年度佐渡伝統文化研究所年報(創刊号)



「白気発動星座測量之図 草稿」の一部



ならびに「彗星探検(縣 秀彦、2013、二見書房)で紹介した。

シミュレーションでは、日没後の西の空低く見られる。明るさは、0.4等級ととても明るく、光害のない江戸時代の夜空では、長い尾が見事に見られたと思われる。

可能性の高い彗星 三月の大彗星 (C/1843)

- ・近日点通過 1843年2月27日
- ・夜空に70°の尾を飾った
(尾の長さ3億3000万km)
- ・太陽のすぐ脇にあり、日中でも見られたとの記録もある
- ・非周期性彗星

7 その他

(1) 1729年8月21日

「白昼八ッ時月星共に分明に見える。」

出典：『佐渡名勝志』

午後2時頃に月と星がはっきりと区別して見えるとの記述である。星が複数なのかどうか、この記述では不明である。

シミュレーションの結果、西の空に26日の月とマイナス等級の金星・木星・水星が並んで見られる。目が極めてよい人なら、火星も見えた可能性がある。現在でも、すんだ日中の空で木星や金星が肉眼で見られることがあるが、明るい惑星がこれだけそろって見られるチャンスはあまりなく、このように記録されたものと思える。コンピュータでシミュレーションした星の明るさは、次のとおりである。



- ・金星－4等級
- ・木星－2等級
- ・水星－1等級
- ・火星 2等級
- ・月 月齢 26日

8 おわりに

関連講座のために『佐渡災異誌』掲載の天文事象を中心にまとめたが、佐渡災異誌の漏れの事象も追加することができた。佐渡名勝志・佐渡国略記・佐渡年代記・佐渡風土記をハレー彗星など有名な天文事象の年のみチェックしたが、漏れなく目を通せば、さらに追加できた可能性もある。この報告書は、限られた時間の中でまとめたものであり、途中経過の報告と理解してほしい。古文書に掲載外の天文事象の記録を見られた方は情報をぜひお願いしたい。

ここに掲載した天文事象のほか、佐渡にある絵地図の中に緯線・経線の描かれたものがある。また、伊能図には北極星の高度も場所別に書かれている。さらに、伊能忠敬自筆による地球より惑星まで距離を記した文書も佐渡に残っている。その値を見る限り、誤差があるとはいえ、当時の測定器具及び測量・測定方法としては、すばらしい値であると思っている。これらについても、佐渡学センター調査・研究の機会があれば報告したいと思っている。

文 献

- 相川測候所編, 1962, 佐渡災異誌, 気象庁新潟地方
気象台相川測候所
- 伊藤隆敬・新潟県立佐渡高等学校同窓会, 1997, 佐
渡名勝志, 野島出版

- 新潟県立佐渡高等学校同窓会, 1986, 佐渡国略記, 新
潟県立佐渡高等学校同窓会
- 佐渡郡教育会編, 1974, 佐渡年代記, 臨川書店
- 永井次芳・萩野由之, 1941, 佐渡風土記, 新潟県佐
渡郡教育会, 永井次芳, 萩野由之
- 天文年鑑編集委員会(編), 2013, 天文年鑑 2013年
版, 誠文堂新光社
- 国立天文台(編), 2012, 理科年表平成 23 年, 丸善
出版
- 長倉三郎他, 2003, 理化学辞典第 5 版 (CD-ROM 版)
岩波書店

彗星カタログ

IAUC ホームページ

MPEC ホームページ

彗星カタログ新着情報 (吉田誠一のホームページ)

オーロラ

JAXA 宇宙情報センター HP

仙台藩の天文学ホームページ

富山市科学博物館ホームページ

収集資料紹介 牛窪剛氏寄贈『牛窪弘善文庫』について

佐渡学センター 本間裕亨

平成 22 年度に牛窪剛氏より寄贈を受けた牛窪齊賢・弘善二代にわたる修験関係の資料について紹介する。

牛窪齊賢は字を子省、金溪と号し、峰順房と称した。文政 3 年、新穂武井の玉置家に生まれ、相川の牛窪氏を継いだ。嘉永 3 年聖護院法親王から仏教の奥義を受け、同 7 年大和葛城山に登り攘夷の行法に参勤し感賞を賜った。安政 6 年 10 月、佐渡奉行岡松伊予守の帰信を受け、奉行は時々その坊を密かに訪れて祈祷を受けたという。明治維新で修験道が廃止となると帰俗し、明治 10 年天台宗に帰依し、明治 26 年 12 月、70 歳で没した。生涯修験の再興と独立に奔走した。(越佐人名辞書)

齊賢の子弘善は、明治 13 年 1 月生まれ。明治 36 年新潟県教員免状を取得し相川をはじめ、大正 10 年に足尾鉾業所小学校教諭、大正 12 年栃木県教員免状を取得、大正 13 年 4 月神奈川県で教鞭を執る。また、新潟県教育史資料調査方囑託等教育関係に長く携わった。

一方、明治 18 年東京天台宗浅草寺の徒弟となり得度して法名を弘善という。経典・教義・高祖伝等を読破し、21 歳で「仏教鉾物学宝玉篇(七宝考)」をまとめたり、「竜樹菩薩伝」「役行者伝」の編纂、「佐渡鉾物標本」の選定、「日蓮聖人霊場案内」を刊行する等、修験道を中心とした調査研究にも精力的に取り組んだ。昭和 17 年 8 月没した。

寄贈資料の総件数は 2,087 件であるが、書翰類・書画類・鉾物標本・版木類・法具類・免状などの資料を除く図書・自筆資料等 1,645 件を目録として掲載した。

表中 □は、梵字、JIS 第1・第2水準以外の漢字で電子出版で標記できないもの

| 連番 | タイトル | 著作・発行者等 | 発行年月日等 | 備考 |
|----|-----------------------------|------------|-----------------|--|
| 1 | 齊賢翁伝承自供養法・床定大事 | 牛窪齊賢 | | 筆写 |
| 2 | 御入壇灌頂式 | | | 合綴。筆写 |
| 3 | 積柴燈發渡護法之表白並祝章 | | | 合綴。筆写 |
| 4 | 本山修験入峯度敷席順扣 | | 文久2戊辰. 8. 相改 | 合綴。筆写 |
| 5 | 理智不二界會禮讚・修験佛説三身壽量無邊經 | 百蝶山鳳閣寺藏版 | M35. 壬寅 11. 冬至 | 版本 |
| 6 | 理智不二界會禮讚・修験佛説三身壽量無邊經 | 百蝶山鳳閣寺藏版 | M35. 壬寅 11. 冬至 | 版本。合綴。古澤僧都の書翰付 |
| 7 | 佛説三身壽量無邊經 | | | 合綴。古澤僧都の書翰付 |
| 8 | 醍醐の曙 | 真言宗龍華會発行 | M41. 9. 30 | 合綴。古澤僧都の書翰付 |
| 9 | 柱源神法護摩私記 | 法印峯順齊賢・誌 | 萬延元庚申. 11. 7 | 折本。「閨加水事」炷。新聞切り抜き2枚貼付。筆写 |
| 10 | 校訂附注柱源探燈供養法 | 権少僧都無染弘善 | S5. 12. 26 | S6. 11. 10 佐渡験門弟子役弘善再訂。筆写 |
| 11 | 探燈行要記 | 金峯山寺藏版 | S2. 11. | 版本。折本。牛窪弘善輯「六大理觀探燈口決」筆写有 |
| 12 | 毘沙門天秘法 | | | 筆写。折本。「奉寄進毘沙門供養法東觀山中堂常什物 凌雲院第五世大僧正義道」 |
| 13 | 真言諸経常用集上巻 | | | 版本。折本。表紙欠落 |
| 14 | 真言諸経常用集下巻 | 智積院正僧正隆榮校正 | 慶応元乙丑 9. 再版 | 版本。折本 |
| 15 | 高王観音経 附高王経縁起並白衣感応記 | | | 版本。折本。「安政5年11月心願成就 施主某」墨書 |
| 16 | 金剛般若経 | 書林 藤屋吉兵衛 | 寛政9. 己7. | 版本。折本 |
| 17 | 金剛壽命陀羅尼経 | | | 版本。折本。朱書有 |
| 18 | 修験朝暮誦用之偈文 | | | 筆写。折本。法教院藏。「齊賢」他印有。表紙に「下」とある |
| 19 | 菩薩戒経 | 玉龍山禪定禪寺藏版 | 享保第7壬寅孟夏佛降生日 | 版本。折本。注記有。映入 |
| 20 | 大乘経無量義教菩薩法佛所護念（法華経） | | | 和綴。映入。注記有 |
| 21 | 三陀羅尼・金剛壽命陀羅尼経 | 吉水王宮御施印 | 天保2. 辛卯季冬 | 版本。折本。注記有 |
| 22 | 柴燈護摩次第 | 神變社刊 | S4. 4. 1 | 折本。弘善校訂附注。弘善筆写「理護摩口決略抄・六大理觀柴燈略抄・庭壇大護摩供次第」附 |
| 23 | 校訂附注 柴燈護摩次第 | 神變社刊 | S6. 2. 1 再版 | 折本。牛窪弘善校合朱書有 |
| 24 | 校訂増補 修験無常用鈔 | | | 昭和6年役弘善作定本書写 |
| 25 | 三本対照壽量無邊經 | 牛窪弘善対訳 | S8. 7. 31 | 謄写本。同本7部有 |
| 26 | 柱源法間見録・漢籍小観・修験雑誌 | 牛窪弘善 | | 筆写。市販ノ用メモ |
| 27 | 得度作法 | | | 筆写。裏紙にメモ |
| 28 | 忘債録 | 役氏金剛位曉歎筆 | | 筆写。齊賢追記 |
| 29 | 柱源神法護摩軌 全 | 牛窪齊賢注並書 | | 筆写。折本。弘善校合。副本 |
| 30 | 那那三十三卷開結法則 | 法教院齊賢書写 | M7 戊辰. 3. | 筆写 |
| 31 | 三陀羅尼 | | | 版本。折本。朱書有 |
| 32 | 聖不動尊秘密陀羅尼経 | 聖護院藏版 | | 版本。折本。朱書有 |
| 33 | 無量義経・観普賢経 | | | 版本。折本。朱書有 |
| 34 | 六太流修法聞書 | 齊賢 | | 筆写。横帳 |
| 35 | 仁王経法則 | 法教院齊賢 | | 筆写。和綴。 |
| 36 | 病者加持作法 | 峯順坊齊賢書之 | 天保11 庚子歳 | 和綴。筆写 |
| 37 | 不動秘決抄・御札口訣 | 牛窪齊賢 | | 筆写。横帳 |
| 38 | 大経偈（無量壽経） | | | 筆写。折本 |
| 39 | 異訳対照 六方禮経 | 牛窪弘善 | | 筆写。市販ノ用使用 |
| 40 | 柱源指渡記・不動明王法 | 牛窪齊賢録 | | 筆写。折本 |
| 41 | 光明真言和讃 | 牛窪齊賢書写 | M12. 己卯 9. 彼岸終日 | 筆写。和綴 |
| 42 | 曠野神供作法 | 牛窪弘善書之 | M28 乙未. 正月 | 筆写。和綴 |
| 43 | 不動念誦印圖抄 | 沙門慧宅撰 | 寛政4. 壬子 10. | 版本。東都常楽院藏版 |
| 44 | 神道日所作之次第 | | | 筆写。一紙。吉田兼資伝之 |
| 45 | 星供 | 金溪道人齊賢書 | | 筆写。獨尊居士窪弘善補註 |
| 46 | 胎金私記（胎藏界私記・金剛界私記） | | | 筆写。合本。當山沙門生椿 |
| 47 | 遷宮作法 | | | 筆写。源性院賢管 |
| 48 | 秘法集（修験施餓鬼作法） | | | 筆写。齊賢輯 |
| 49 | 徳教主義学童日常祈禱法 | 草繁全纂著 | T7. 1. 21 再版 | |
| 50 | 役君無染供 附宇津室神法 | | 文化12 乙亥夏 | 受者歎賢佐渡人 金峯山五鬼童義雄示正与。筆写 |
| 51 | 虎巻秘法 全 | 栄諄写之 | 寛政4. 壬子 2. | 明治7 戊年貢求也。筆写 |
| 52 | 安鎮法 | 齊賢写之 | | 筆写 |
| 53 | 不動護摩私記 | 齊賢写之（16才） | | 筆写 |
| 54 | 地鎮支度記・佛説地神經・金神除祈禱之秘事 | 峯順齊賢写之 | 弘化4 丁未 2. 20 | 筆写。合綴 |
| 55 | 略地鎮 | | | 筆写。合綴 |
| 56 | 毘沙門真聞之秘法・大辯才尊天竹生鳥流法 | | | 筆写。折本 |
| 57 | 九方便 | 牛窪齊賢翁手書 | | 筆写。折本 |
| 58 | 佛説北斗七星延命経 | 獨尊居主人謹書 | M31. 某月 | 筆写。折本 |
| 59 | 神供法 二通 | 舜陽 | 元禄4 辛未 8. 13 | 神供次第最略・神供現用護摩。筆写 |
| 60 | 辨才天流法（辯才天竹生鳥流法） | 法印栄寛示之 | 明和5 戊子 6. 吉日 | 筆写。折本。 |
| 61 | 護身法礼拝作法 | | | 筆写。和綴。 |
| 62 | 護身神法・甲子需大事・庚申需大事・辨財天経 | | | 筆写。和綴。 |
| 63 | 表題なし | | | 筆写。和綴。引導作法ほか |
| 64 | 御札守記 | | | 筆写。和綴。般若坊藏 |
| 65 | 修験秘法集 | 牛窪齊賢書写 | M11. 戊寅 7. 10 | 筆写。和綴 |
| 66 | 十一面観世菩薩祈法・邪氣加持次第・死靈教化大事 | 歎賢示之 | | 筆写。文化12年亥7月・天保8 丁酉年 10月 15日授与 |
| 67 | 加行切紙（護摩五穀拵様事・神供略作法・同正修作法次第） | | | 筆写 |
| 68 | 法曼流加行切紙留・入護摩次第 | 牛窪齊賢誌 | M19 丙戌. 8. 吉日 | 筆写。横帳 |
| 69 | 遷宮支度用意事 | | | 筆写 |
| 70 | 遷宮作法 | | | 歎秀。筆写 |
| 71 | 一宿五遍 | | 文化2 乙丑. 2. 吉 | 授与順性。筆写 |
| 72 | 放生文 | | | 覺樹王院にて写之。筆写 |

| | | | | |
|-----|------------------------------|--------------|------------------|--------------------------------------|
| 73 | 神道正授巻 | 正五位河内守橘朝臣正成 | 建武 3. 5. | 筆写。川原田千手院ほか書付 |
| 74 | 校訂附註修験道峰中秘軌 | 牛窪弘善編 | S9. 12. 校合編次 | 仮綴。「副本」「一名峯中法流切紙集」 |
| 75 | 校訂附註修験道峰中秘軌 | 牛窪弘善編 | S9. 12. 校合編次 | 仮綴。「副本」「一名峯中法流切紙集」 |
| 76 | 密教皇供用意 | 佐渡本山方修験牛窪齊賢写 | | 合本。筆写 |
| 77 | 台宗皇供用意 | 佐渡本山方修験牛窪齊賢写 | | 合本。筆写 |
| 78 | 閑蔵要鈔 | 牛窪弘善抄 | M43. 天長節以降 | 筆写。「佛典摘要」 |
| 79 | 異訳対照六方禮經 | | M43. 10. 初 2 起草 | 筆写 |
| 80 | 三密加持法 | 金剛三魔地庵主 | 明治壬寅 11. 草創 | 筆写 |
| 81 | 修験安心義鈔 完 | 海浦義観著述 | M22. 仲春 | 筆写。明治 32 年正月 16 日牛窪弘善書写 |
| 82 | 護摩記 | 峯順齊賢写之 | 文久 2 壬戌。春 3. 吉日 | 合綴。筆写 |
| 83 | 臨書心經 | | M45. | 臨書 |
| 84 | 表紙なし | | | 各種作法。筆写 |
| 85 | 柴探燈護摩供祓書 | 法教院齊賢謹誌 | | 合綴。筆写 |
| 86 | 守子着用物之写 | | | 合綴 |
| 87 | 修験秘法集 | 峯順齊賢編 | | 合綴。筆写 |
| 88 | 不動護摩専心記 | 法教院峯順謹写 | 萬延元庚申。4. 14 | 合綴。筆写 |
| 89 | 異訳対照般若心經 | 優婆塞弘善対校 | | 筆写。市販ノトニハシ書 |
| 90 | 祈禱作法 | 牛窪弘善 | | 筆写。原稿 |
| 91 | 積柴燈作法 | 権大僧都歎賢授与 | 文化 15 寅 2. 吉日 | 筆写。折本。受者椿榮。裏面に文政元寅 9 月授与作法有 |
| 92 | 表題なし | 峯順坊齊賢写之 | 天保 9 戊戌。11. 吉日 | 邪氣加持之祭文ほか。筆写 |
| 93 | 手図（印明秘傳） | 損峯写 | | 筆写 |
| 94 | 融通念佛之由來 | | | 筆写。和綴。作法あり |
| 95 | 表題なし（入峯修行之秘哥） | | | 筆写 |
| 96 | 如意輪念誦次第 | 佛子全淨書写 | S3. 4. 8 | 筆写 |
| 97 | 大般若經の字数（大般若經誦誦記） | 法教院齊賢写之 | 嘉永 2 酉。10. 17 | 筆写 |
| 98 | 秘密符守集書 | 牛窪金溪書写 | | 筆写。和綴。他に「屋堅祈禱札手本」 |
| 99 | 當山峯中修行秘鑑 附奥駈明細録 | 法印暎歎謹書 | 寛政 5. 癸丑 3. 吉日 | 和綴。弘化 3 歳舎丙午閏 5 月吉日法教院齊賢書写 |
| 100 | 法曼三井二流加行切紙 | 牛窪齊賢編次 | | 筆写。合綴 |
| 101 | 禮業師佛略法 | | | 筆写 |
| 102 | 護身神法之大事 | | 文化 3 丙寅。秋 8. 朔日 | 授与門人榎本栄蔵殿。筆写 |
| 103 | 宗源神道日所作次第 | 吉田兼資傳之 | | 筆写 |
| 104 | 呪唱返道仕切作法 ロイ | | | 筆写 |
| 105 | 船祈禱之法 | 法教院齊賢 | 萬延元庚申。11. 写之 | 筆写 |
| 106 | 十一面觀世音秘密次第 | 大慶院法印大乗示之 | 文化 12 亥 7. | 筆写 |
| 107 | 集草 | 峯順坊齊賢集之 | | 光明真言秘戒・五輪生事・五輪成就因。筆写 |
| 108 | 星供諸真言 | | | 静山自持。筆写 |
| 109 | 呪唱返道仕切作法 ロイ | | | 筆写 |
| 110 | 雨寶童子啓白 | 峯順坊 | 天保 6 乙未。10. 吉日書之 | 大梵天王御勅言。筆写 |
| 111 | 修験護摩次第 | | | 筆写 |
| 112 | 表題なし | | | 天台 者……。筆写 |
| 113 | 探燈大護摩供次第 | | | 探燈次第についての質問書。筆写 |
| 114 | 修験道経軌 | 牛窪弘善輯 | | 合綴。謄写本 |
| 115 | 無染室叢書（修験道篇） | 牛窪弘善著 | | 雑誌等掲載文等の合綴 |
| 116 | 無染室叢書（役君傳） | 牛窪弘善著 | | 雑誌等掲載文等の合綴 |
| 117 | 無染室叢書 | 牛窪弘善著 | | 雑誌等掲載文等の合綴。密教篇・郷里篇（佐渡の仏教者関係） |
| 118 | 無染室叢書 | 牛窪弘善著 | | 雑誌等掲載文等の合綴。通仏教篇 |
| 119 | 無染室叢書 | 牛窪弘善著 | | 雑誌等掲載文等の合綴。仏教篇（仏典医説・お伽喃・仏教算術）・郷里篇・禰篇 |
| 120 | 無染室叢書 | 牛窪弘善著 | | 雑誌等掲載文等の合綴。仏教篇・験乘篇・郷土篇・雑篇 |
| 121 | 天台恵心流五重相伝略式 | 法印圓雄写之 | 天保 8 丁酉天正。大吉日 | 筆写 |
| 122 | 驚風加持 | 傳法 法印梅貞 | 文政元。戊寅 9. 吉日 | 筆写 |
| 123 | 折之作法 | | | 筆写 |
| 124 | 神供作法 | 法印蓮海房慶傳示之 | 享和 2 壬戌 5. 吉日 | 筆写 |
| 125 | 折之作法 | | | 筆写 |
| 126 | 金剛蔵王権現神鏡禮法 | 管領正大先達智泉傳授 | T10. 2. 5 | 版本。金峯山寺蔵版 |
| 127 | 秘密秘書次第 | | | 筆写。折本。峯順坊齊賢 |
| 128 | 能延六月加持大事 | 授者 齊賢 | 天保 14. 卯 9. 求法日 | 筆写 |
| 129 | 靈符行法 | 齊賢 | 弘化 4 丁未 2. | 筆写。後山村源性院法印傳也 |
| 130 | 法界調伏 | | | 筆写 |
| 131 | 役仙流歳行秘法 | | | 筆写 |
| 132 | 神山灌頂秘軌 | 権大僧都歎賢授与 | 文化 15. 2. 吉日 | 受者椿榮 佐渡人。筆写 |
| 133 | 千手千眼觀自在菩薩根本陀羅尼 | | | 筆写 |
| 134 | 役仙流金縛秘法 | 法印知見 | 天保 13. 龍集辛丑中夏 | 授与 齊賢。筆写 |
| 135 | 三輪流神申下大事 | 菅神社職 齋示之 | 寛政 12 申。11. 吉日 | 筆写 |
| 136 | 易産大事 | 法印盛尊示之 | 宝永 7 寅天季秋吉日 | 授与 順与。筆写 |
| 137 | 不淨除大事 | 僧都庸示之 | 天保 9 戊戌。2. 求法日 | 峯順授之。筆写 |
| 138 | 疫病消除法 | 傳授那智山法印知見 | 天保 7. 星次口申夏 5. | 授与 峯順。自筆 |
| 139 | 大辯才尊天竹生鳥流法 | 密教院法印養傳示之 | 弘化 2. 舎乙巳 5. 巳日 | 授者 齊賢。筆写 |
| 140 | 薬師秘法 | 法教院 9 世齊賢書写 | 慶応 2 寅。3. 8 | 筆写 |
| 141 | 縁切大事 一通 縁切極秘之大事・離別秘法・守加持勤行作法 | 傳燈少僧都性紀 | 天保 14. 6. 吉日 | 授与 齊賢。筆写 |
| 142 | 口虫呪詛大事 | 傳法正覚院法印梅貞 | 文政元。戊寅 9. 19 | 授者 法教院。筆写 |
| 143 | 秘法秘書 | | | 死靈教化大事・邪氣加持次第・九字之大事。筆写 |
| 144 | 荒神放捨秘法 | | 天保 9 戊戌。10. 求法日 | 授与 齊賢。筆写 |

| | | | | |
|-----|--------------------------------|---------------|-----------------|---|
| 145 | 荒神供次第 | | 天保9戊戌. 11. 吉日 | 授与 齊賢。筆写 |
| 146 | 安産請合之秘符認様・安産延縮自在秘符並守認様・同極秘加持大事 | 那智山知見法印 | 天保14. 閏9. | 授与 齊賢。筆写 |
| 147 | 東照権現之三法 | 権律師金光教順示之 | | 筆写 |
| 148 | 東照権現秘法 | | | 筆写 |
| 149 | 神道印可(神道三種神祇) | 権大僧都歎賢示之 | 天保6乙未天10.7 | 授与 峯順。自筆 |
| 150 | 護身法 | | | 謄写 |
| 151 | 十八道加行作法 | 阿遮梨全旨僧正弟子全浄謹写 | S2. 8. 28 | 筆写。如意輪三種真言 |
| 152 | 自門入室相承前行切紙 | 利根山住侶大僧都圓光大長 | S5. 10. 良辰 | 筆写。授与 役弘善 |
| 153 | 桂源法相承前行切紙 | 利根山住大僧都圓光大長 | S5. 10. 良辰 | 筆写。授与 役弘善 |
| 154 | 自門入室制誠切紙 | 瀧窟傳燈大僧都大長 | S5. 10. 良辰 | 筆写。授与 役弘善 |
| 155 | 燈蕊加持秘事 | | | 筆写 |
| 156 | 華押口傳(極秘傳判形占口傳書) | | | 卷子。版本 |
| 157 | 校訂増補床堅秘法 | 牛窪弘善誌 | T12 季6. 初4 再治 | 筆写。修驗初稿(袋入り) |
| 158 | 校訂増補峯中正灌頂柱源供養法 | | | 修驗初稿(袋入り)。筆写 |
| 159 | 浄蔵貴所 | 牛窪弘善輯 | | 修驗初稿(袋入り)。筆写 |
| 160 | 『役行者及其教理』編纂の趣旨 | 牛窪弘善編 | | 修驗初稿(袋入り)。筆写 |
| 161 | 引導口訣秘鈔 | 神奈川県真言宗聯盟會 | S2. 8. 25 | 謄写。須賀長楽寺声明講習會の砌に能化鈴木智辨僧正所傳秘鈔を謄写して配布。 |
| 162 | 十結切紙目錄録書 | 大阿闍梨法印性紀示之 | 壬寅5.(天保13)口傳有之 | 筆写 |
| 163 | 十八道加行作法 | 権大僧都慶傳示之 | 享和2壬戌. 3. | 授与 峯順。筆写 |
| 164 | 九字法(朱書) | | | 筆写。五大加持(峯順)・摩利支天九字法(天保9戊戌年2月、峯順)・兵法九字印大事(天保6未天10月7日、峯順)・九字之大事 |
| 165 | 理趣分法則 | | | 筆写 |
| 166 | 柱源法相承行中制誠一紙 | 瀧窟傳燈大僧都大長 | S5. 10. | 筆写。授与 役弘善 |
| 167 | 正灌頂附法印證状 | 瀧窟傳燈大僧都大長 | S5. 12. 27 | 受者 無染房弘善。筆写 |
| 168 | 隋場帝内御秘訣之解 | 賢澤山人 | 丙午弥生. 吉日 | 卷子。筆写 |
| 169 | 修驗群書類從目錄 | 牛窪弘善集 | | 筆写 |
| 170 | 無洗室叢書 修驗道篇 上 | 牛窪弘善輯 | | 雑誌等掲載文の合綴 |
| 171 | 無洗室叢書 修驗道篇 下 | 牛窪弘善 | | 雑誌等掲載文の合綴 |
| 172 | 修驗道研究 未定稿 略本 | 牛窪弘善 | | 雑誌等掲載文の合綴 |
| 173 | 修驗叢書 | | | 峯中秘名密言集(自筆)・出羽山史資料(他者論文資料)合綴 |
| 174 | 神變大菩薩傳 正本 | 牛窪弘善編輯 | | 雑誌等掲載文の合綴 |
| 175 | 修驗道綱要 附録「役行者傳 | 牛窪弘善編輯 | | 雑誌等掲載文の合綴 |
| 176 | 役行者と修驗道と | 牛窪弘善著 | | 雑誌等掲載文の合綴 |
| 177 | 役行者及修驗道附録 | 牛窪弘善輯 | | 書画・写真等 |
| 178 | 稿本 役行者年譜 副本(「修驗道研究」第1附録) | 牛窪弘善輯 | | 原稿 |
| 179 | 稿本 役行者年譜 副本 | 牛窪弘善輯 | | 原稿。中に「稿本 役行者年譜 廣本」とあり。 |
| 180 | 八音修驗資料 附 入宋定心 | | | 原稿・書翰など |
| 181 | 修驗道襍録 | 役弘善集 | | 木版・原稿・書翰など |
| 182 | 校訂増補 修驗章疏 | 牛窪氏函書 | | 自筆資料・謄写資料 |
| 183 | 維摩經備考 | 牛窪弘善編 | | 原稿 |
| 184 | 異訳註解 六方禮經 | 牛窪弘善編 | | 原稿 |
| 185 | 三密門啓蒙 | 牛窪弘善 | 明治壬寅11. 草創 | 自筆 |
| 186 | 修驗叢書 | | | 合綴 |
| 187 | 修驗高祖知覺集 | | | 本山永峯書拔。筆写 |
| 188 | 岩城社山伏出入済口条々 | 法教院齊賢扣 | 文久3亥. 10. 写之 | 筆写 |
| 189 | 当山修驗御定書写並帶刀御答書写 公儀御條目写 | 法教院扣 | 安政7庚申. 3. 16 写之 | 法教院峯順。筆写 |
| 190 | 本山修驗家名記 | 法教院蔵 | 嘉永元戊申. 9. 改之 | 先考牛窪齊賢師筆蹟。筆写 |
| 191 | 鳥海山小瀧村蔵王権現由来記 | 遠藤貞三 寄 | | 筆写 |
| 192 | 宮様と本山修驗 | 牛窪弘善稿 | | 筆写。罫紙にメモ |
| 193 | 修驗帖 | | | 筆写。市販ノリにメモ |
| 194 | 無染室叢書 | | | 合綴 |
| 195 | 真言秘密の法術一名密教祈禱法 | 牛窪弘善編 | S22. 11. 12 識 | 謄写 |
| 196 | 校訂柱源探燈供養法 | 牛窪弘善校訂 | S6. 10. 初八 | 謄写 |
| 197 | 再訂柱源供養法 | 牛窪弘善校訂 | S6. 10. 初八 | 謄写 |
| 198 | 無染室叢書 | 牛窪弘善輯 | | トラクト集(T15年-S12年) |
| 199 | 副本 トラクト(T15年-S12年) | 牛窪弘善述 | | たとう入 |
| 200 | 法財拾彙 佛祖三經指南・注疏合本 | 牛窪弘善筆 | M31. 戊戌夏6. 抄書 | 筆写。合綴 |
| 201 | 天台四教儀頭書 | 牛窪弘善筆 | M33. 9. 14 | 筆写。合綴 |
| 202 | 蘇迷盧因説 | 牛窪弘善筆 | | 筆写。須弥山之図(明治31年写)・三聖の十大弟子合綴 |
| 203 | 梵漢対訳 | 牛窪弘善筆 | | 罫紙に筆写 |
| 204 | 梵語襟誌 | | | 自筆資料ほか |
| 205 | 諸法会心得 | 土師原穆秀僧正講傳 | S2. 7. 26 書写 | 謄写。「諸法会儀則心得」 |
| 206 | 諸法会心得 | 土師原穆秀僧正講傳 | S2. 7. 26 書写 | 謄写。「諸法会儀則心得」・「流灌頂開眼供養作法」ほか合綴 |
| 207 | 修驗道法具略解 | 牛窪弘善述 | | 謄写 |
| 208 | 天台修驗道無常用鈔 | 牛窪弘善編輯 | S6. 12. 念9 | 謄写 |
| 209 | 校訂増補天台修驗道無常用抄 | 牛窪弘善編 | S7. 4. 初8 | 謄写。表題なし |
| 210 | 校訂増補天台修驗道無常用抄 完 | 牛窪弘善編 | S8. 4. 初4 三訂 | 謄写。同本7部有 |
| 211 | 三訂柱源供養法 | 牛窪弘善編 | S9. 2. 初1 | 謄写。同本9部有 |
| 212 | 験者必携 | 牛窪弘善輯 | S8. 1. 23 | 謄写。同本4部有 |
| 213 | 修驗最秘分三通 | 牛窪弘善校訂附註 | S8. 5. 念5 | 謄写。同本13部有 |
| 214 | 大般若理趣分説誦作法・地鎮文度記 合本 | | S8. 4. | 謄写。同本7部有 |
| 215 | 般若心經法則 | 牛窪弘善誌 | | 謄写。同本12部有 |
| 216 | 光明真言法 | | S2. 7. 22 | 謄写。於浄泉寺道場記 |
| 217 | 高祖大師法 | 土師原穆秀僧正授傳 | S2. 7. 23 | 謄写。於相州腰越浄泉寺道場 |

| | | | | |
|-----|------------------------|------------|----------------|--|
| 218 | 土砂供養導師法則 付金剛界第一三五 | 土師原穆秀僧正授傳 | S2. 7. 23 | 謄写。於相州腰越浄泉寺道場 |
| 219 | 流灌頂開眼供養作法 | 土師原穆秀僧正授傳 | S2. 7. 24 | 謄写。於相州腰越浄泉寺道場 |
| 220 | 新刊目次〔牛窪弘善校訂〕 | | | 謄写。半紙一枚2部 |
| 221 | 茶の湯起源 | | | 謄写 |
| 222 | 神變大菩薩木像 | | T5. 8. 15 写真 | |
| 223 | 金峯神社鳥居前 | 羽後象潟佐々木製 | | 壹 |
| 224 | 金峯神社 | 羽後象潟佐々木製 | | 貳 |
| 225 | 慈覚大師御築之石段 | 羽後象潟佐々木製 | | 参 |
| 226 | 神明社 | 羽後象潟佐々木製 | | 四 |
| 227 | 奈曾の白橋・奈曾の白瀧 | 羽後象潟佐々木製 | | 五 |
| 228 | 鳥海山一の木戸 | 羽後象潟佐々木製 | | 六 |
| 229 | 鳥海山一之王子金剛堂 | 羽後象潟佐々木製 | | 七 |
| 230 | 奈曾の木瀧 | 羽後象潟佐々木製 | | 八 |
| 231 | 奈曾のもと瀧 | 羽後象潟佐々木製 | | 九 |
| 232 | 金峯神社宝物 | 羽後象潟佐々木製 | | 拾 |
| 233 | 薬師十二神将 | 羽後象潟佐々木製 | | 拾壹 |
| 234 | 金峯山神幅 | 羽後象潟佐々木製 | | 拾貳 |
| 235 | 慈覚大師の笈 | 羽後象潟佐々木製 | | 拾参 |
| 236 | 鳥海弥三郎の具足 | 羽後象潟佐々木製 | | 拾四 |
| 237 | 小瀧名所浮嶋 | 羽後象潟佐々木製 | | 拾五 |
| 238 | 太元帥明王像 | | | |
| 239 | 却温黄神咒經・疫病消除秘法 | 法印齊賢謹誌 | | 筆写。折本 |
| 240 | 理趣分作法 | 峯順書之 | 天保6乙未10. | 筆写 |
| 241 | 般若心經法則 | 法教院齊賢 | M6 癸酉. 12. 吉祥日 | 筆写 |
| 242 | 不動十座十万遍開結法則 | 齊賢撰 | M6 癸酉. 大吉祥 | 筆写 |
| 243 | 仁王經開結作法 | | | 筆写。折本 |
| 244 | 不動明王護摩供作法 | 結縁咲傳書写 | 安永6丁酉3. 吉日 | 帙入り。和光院咲歎師所傳。筆写 |
| 245 | 雲染王(梵字)法 | | | 筆写 |
| 246 | 施餓鬼略法 | | | 筆写。全法 |
| 247 | 不動明王法 | 齊賢書写 | | 筆写 |
| 248 | 理趣分作法 | | | 筆写。星供略作法 |
| 249 | 貝鼓略傳 吹螺秘訣 | 牛窪弘善著 | | 筆写 |
| 250 | 八箇經傳 | 法教院齊賢書写 | | 筆写 |
| 251 | 密藏院発露懺悔文 | 米阪盛之助 | T14. 5. 12 | 折本。為除蓋院弘道童子菩提 |
| 252 | 表題なし | 法教院齊賢書之 | | 筆写。折本。帙入り。薬師供(弘化2年)・毘沙門供(弘化4年)・十一面觀音秘法・十一面觀世音供(弘化3年) |
| 253 | 安楽集 完 | | | 筆写。折本。上下2冊。帙入り |
| 254 | 改正四度開結作法 附上廁等作法 | | 文政4. 辛巳仲秋日 | 版本。折本。法曼院蔵板 |
| 255 | 改正護摩供私記 | | | 版本。折本。 |
| 256 | 心地觀經報恩品 | 鳥尾小弥太訓點 | M35. 壬寅11. 謄写畢 | 筆写十善居士佛仙識 |
| 257 | 金剛界念誦法 | 牛窪全浄書写 | S5. 8. 21 書写了 | 筆写 |
| 258 | 大辯才天女法 | 法印権大僧都知見傳授 | 天保15. 甲辰正月 | 筆写。折本。授与 峯順 |
| 259 | 法界一覽 | | | 筆写。一枚 |
| 260 | 般若波羅蜜多心經・大無量壽經嘆佛偈 | | S10. 8. 1 | |
| 261 | 陀羅尼雜集 | 牛窪弘善注 | | 版本。折本。後欠 |
| 262 | 随求陀羅尼經 | | | 版本。折本。 |
| 263 | 印施仏説弥勒上生經 刻高麗本 | | 文政第12星紀己丑臘月之吉 | 版本。折本。 |
| 264 | 佛垂般涅槃略説経誠経 | | | 版本。折本。加州大乘寺蔵版 |
| 265 | 寶篋印陀羅尼經 | | 元禄2己巳. 4. 佛誕日 | 版本。折本。洛陽書林伊藤次郎兵衛刊行 |
| 266 | 大随求陀羅尼 | | | 版本。折本。和州般若窟寶山寺 |
| 267 | 佛説辨財天經 | | 安永7戊戌6. 吉日 | 折本。願主 佐州雜太郎相川米屋町齊藤與傳治。版本 |
| 268 | 新訳仁王般若經 全 | | 寛政8. | 版本。折本。聖護院蔵版。帙入り。2冊組 |
| 269 | 金剛頂大教王經卷第一 | | | 版本。折本。 |
| 270 | 金剛頂大教王經卷第二 | | | 版本。折本。 |
| 271 | 金剛頂大教王經卷第三 | | | 版本。折本。 |
| 272 | 蘊悉地羯羅經卷上 | | | 版本。折本。 |
| 273 | 蘊悉地羯羅經卷中 | | | 版本。折本。 |
| 274 | 蘊悉地羯羅經卷下 | | | 版本。折本。 |
| 275 | 薬師瓔珞光如来本願功德經 全 | 慈海宋順校合 | 元禄9. 丙子臘月初8 | 版本。折本。帙入り。 |
| 276 | 般若理趣分 | 慈海宋順校合 | 貞享2. 乙丑正. | 版本。折本。帙入り。 |
| 277 | 金光明最勝王經 全(品目一〜十) | 金剛窟老龍識 | 元治元甲子晚秋 | 版本。折本。帙入り11冊。 |
| 278 | □□(悉曇)摩多體文 | 西海蓮華沙門源昭 | 元禄7甲戌秋8. | 版本。折本。皇都玉泉堂經師伊兵衛敬刻 |
| 279 | 修験叢書 | | | 合綴 |
| 280 | 修験摘要記 | 細川孝源著 | T5. 5. 5 | 合綴 |
| 281 | 修験道法具要解 | 海浦義親著 | M34. 11. 30 | 合綴。神變大菩薩寺千貳百年御遠忌紀念 |
| 282 | 林勘商報 第十三号 | 林 竹夫編 | S11. 6. 1 | 合綴。カタログ |
| 283 | 羽黒山修験道要略 | 島津傳道著 | T11. 9. 10 | 合綴。羽黒山修験道大本山荒澤寺発行 |
| 284 | 霊峰須賀の山略記 | 山根辰治記 | S10. 5. | 合綴。「霊地須賀の山」「須賀の山」パン付 |
| 285 | 修験之話 | 大三輪信哉著 | S6. 1. 1 | 合綴。真言宗醍醐派修験道宗務庁発行 |
| 286 | 教会所設置の菜 | | | 合綴。総本山醍醐寺修験道宗務庁教学課 |
| 287 | 修験叢書 修験道の起原並に成立(宇野圓空)他 | | | 雑誌等掲載文の合綴 |
| 288 | 辯顯密二教論 断箋 | 鈴木智辨述 | T4. 10. 下旬 | 辯顯密二教論講義 全 の一部 |
| 289 | 和訳金剛經 | | | 相州大船無我相山発行 |
| 290 | 真言密教の要諦 | 眞井覺深講述 | S14. 1. 20 | 古義真言宗学務部発行。教学文書第七輯 |
| 291 | 修験宗規 | | | 合綴 |
| 292 | 法相宗咒師部規則 | 法相宗咒師部本庁編 | T10. 8. 制定 | 合綴 |
| 293 | 法相宗大本山薬師寺法規一覽 | 法相宗大本山薬師寺編 | S5. 12. | 合綴 |

| | | | | |
|-----|-----------------------------------|-------------------|------------------|----------------------|
| 294 | 天台宗修験道規則並細則 | 修験道事務局編 | T7. 7. 改正 | 合綴 |
| 295 | 神變教会規約 | 大本山聖護院門跡編 | S3. 1. 改正 | 合綴 |
| 296 | 神徳皇恩之説 | 新居日薩謹述 | | 合綴 |
| 297 | 天台立宗原由 | 延暦寺権大教正赤松光映 | M9. 2. | 合綴 |
| 298 | 修験道に関する絵葉書 | | | |
| 299 | 梵文 | | | 自筆。牛窪 暁 |
| 300 | 修験大綱 | 山田廣園・高井善證著 | S8. 1. 5 | |
| 301 | 修験道 | 三井豊興著 | T7. 10. 28 | |
| 302 | 国文浄土三部聖典 | | M40. 4. 8 三版 | |
| 303 | 和訳孟蘭盆経 附在家盆供作法 | 草繁全宜著 | T4. 10. 25 五版 | |
| 304 | 秘鍵(般若心経秘鍵講話)・(心経秘鍵講話) | 玉島實雅述・吉祥真雄述 | | 合綴 |
| 305 | 般若心経講話 | 高島米峰著 | S7. 8. 8 | |
| 306 | 密教諸徳年齢鑑 | 林田光禪撰 | | |
| 307 | 殺活自在 禪定力 | 森脇星江著 | M36. 7. 20 | 表紙欠 |
| 308 | 禪学無一物修行 | 森脇星江著 | M35. 9. 18 | |
| 309 | 在家勤行法則講話 | 服部如實著 | T14. 12. 25 | |
| 310 | 在家勤行法則講話 | 津下秀雄編 | S3. 3. 3 | 岡山県真言宗伝道団発行 |
| 311 | 桂源探燈供養法願文 | 金剛佛子敬白 | S5. 10. 如意日 | 筆写。一紙。包紙入 |
| 312 | 三密加持法 | 牛窪弘善校訂 | | 筆写 |
| 313 | 柴探燈護摩次第 | 圓成寺亮海 | 文政元寅. 9. | 授与 法教院椿榮。筆写 |
| 314 | 柱源神法護摩私軌 | 五鬼童口雄 | 文化乙亥夏 | 受者 正善院快友。合綴。筆写 |
| 315 | 自身引導作法 | | | |
| 316 | 十八道前方便記 | 権律師齊賢写 | M19 丙戌. 12. 吉日 | 筆写。合綴 |
| 317 | 秘法集 | 牛窪弘善改書 | S3. 12. 念 6 | 筆写。合綴 |
| 318 | 祈願記(六時勤行事並祈願記) | 権律師齊賢写 | M20. 7. 写 | 筆写。合綴 |
| 319 | 修験道の今昔 | 牛窪弘善 | | 自筆・雑誌等掲載文の合綴 |
| 320 | 宗教的儀式と冷水浴ほか | 牛窪弘善 | | 自筆原稿の綴り |
| 321 | 床堅法 | | | 筆写 |
| 322 | 長日自供養法大事 完 | 暎欽法印書 | | 筆写 |
| 323 | 柱源神法 | 高井善證編 | S8. 1. 15 | 牛窪弘善対校(朱書)有 |
| 324 | 修験道自心引導次第(修験道葬送次第自心引導 峯中灌頂之大事) | 法住寺峯秀写 | | 筆写 |
| 325 | 引導之大事(真言宗自心引導之大事) | 佐州相川格峯写 | | 筆写 |
| 326 | 修験之道具図形口伝大事・同道具寸尺傳授番匠 之事 | 本山方修験相川峯秀写 | 元文 4 己未. 弥生上旬 | 筆写 |
| 327 | 自身引導作法 | 阿闍梨雄真 | 慶応 2. 6. 22 | 佐渡加茂郡武井村威徳院本清。包紙入。筆写 |
| 328 | 柱源探燈供養法切紙 | 瀧窟傳燈大僧都圓光大長 | S5. 10. | 筆写。授与 役 弘善。包紙入 |
| 329 | 自門入室相承切紙 | 瀧窟傳新権少僧都無染房弘 善 | S11. 7. 吉祥日 | 筆写。授与 弘道。包紙入 |
| 330 | 修験道六大縁起相傳法脈 | | | 筆写。役 弘善。包紙入 |
| 331 | 柱源供養法 | | | 筆写。役 弘善。包紙入 |
| 332 | 峯中正灌頂大事 | | | 役 弘善。包紙入。筆写 |
| 333 | 正灌頂六大縁起相傳前行切紙 | | | 役 弘善。包紙入。筆写 |
| 334 | 柱源自供養法切紙 | | | 役 弘善。包紙入。筆写 |
| 335 | 靈供作法 | | | 役 弘善。包紙入。筆写 |
| 336 | 本山方密書 | | 文政元. 寅 8. 吉日 | 佐州相川大工町法教院椿榮。合綴。筆写 |
| 337 | 修験本當偽邪辯論 | | | 筆写 |
| 338 | 文化史上に於ける役行者附録 | | | 便箋に自筆の原稿 |
| 339 | 仏教新演説 全 | 秋田向榮編 | M30. 10. 27 五版 | |
| 340 | 通夜説教自在集 全 | 大石養淳著 | M43. 8. 10 | |
| 341 | 大乘仏教百話 完 | 加藤熊一郎著 | M33. 10. 10 | |
| 342 | 御詠歌和讃 上 | 中田生蓮編 | S10. 3. 25 | |
| 343 | 通俗仏教問答 | 三浦兼助編 | M28. 1. 28 | |
| 344 | □□(シツカ) | 竹田鐵仙 | | シツカ通俗講座。雑誌等掲載文の合綴 |
| 345 | 神道綱要 | 山本信哉著 | S17. 5. 20 | |
| 346 | 修験道史研究 | 和歌森太郎著 | S18. 8. 25 三版 | |
| 347 | 日本九峯修行日記 | 野田泉光院著 | S10. 2. 24 | |
| 348 | 蔵漢対照和訳大日経 | 桐尾祥雲訳 | | 前後欠 |
| 349 | 漢蔵対照国訳維摩経 | 河口慧海訳著 | S3. 4. 10 | |
| 350 | 法句経・六方禮経・玉耶経講義 | 足立俊雄著 | S10. 1. 20 | |
| 351 | 修験聖典 | 修験聖典編纂會編 | S2. 11. 30 | |
| 352 | 秘密仏教護摩 | 佐伯與人著 | S4. 4. 28 | |
| 353 | 民衆真言密教講話 | 野見山思愈著 | S8. 10. 31 | |
| 354 | 秘密経典理趣経 | 八田幸雄著 | 1991. 7. 30 (H3) | |
| 355 | 和訳維摩経評註 | 加藤熊一郎著 | M45. 2. 13 | 和綴 |
| 356 | 梵文和訳金光明最勝王経 | 阿満得壽稿 | S9. 5. 1 | 光壽會発行 |
| 357 | 仏教通俗講義梵文阿弥陀経 完 | 南條文雄著 | M38. 9. 20 二版 | |
| 358 | 阿舎経講義 | 安井廣度著 | S9. 11. 20 | |
| 359 | 理趣経入門 | 服部如實著 | S9. 10. 17 | |
| 360 | 維摩経 | 武者小路實篤著 | S9. 7. 25 | |
| 361 | 修験道の発達 | 村上俊雄著 | S18. 3. 10 | |
| 362 | 真言秘密の魔力實修法通信傳授秘録(全四巻合 本) | 木原通徳著 | T10. 3. 5 | |
| 363 | 弘法大師の報恩主義 | 宮崎忍海編 | S3. 5. 7 | |
| 364 | 真言密教の理想 | 服部如實著 | S5. 11. 3 | |
| 365 | 傳教大師傳記 | 「比叡山」発行所 | S11. 6. 5 | 雑誌。「比叡山」特輯号 |
| 366 | 出羽三山修験道の研究 | 戸川安章著 | S48. 10. 20 | |
| 367 | 野山名畫集 | 日野西真定編 | S54. 5. 30 | 高野山史 |
| 368 | 神祇史大系 | 宮地直一著 | S17. 3. 10 訂正再版 | |

| | | | | |
|-----|---|------------------|------------------|---|
| 369 | 本邦生祠の研究-生祠の史実と其心理分析- | 加藤玄智著 | S7. 1. 10 | (財) 明治聖徳記念学会紀要抜刷「本多忠篤公の生祠」(第40巻)・「岩倉具視公の生祠岩倉神社」(不詳)・「太吾上人高井善證師の生祠」(第47巻) 貼付 |
| 370 | 密教とマンダラ-その万華鏡的世界 | 頼富本宏著 | H2. 9. 20 | |
| 371 | 真言宗のしきたりと心得 | 高野山真言宗仏教習俗研究会監修 | 1989. 9. 20(H元) | |
| 372 | 煉丹修養法 | 伊藤光遠著 | S2. 4. 8 | |
| 373 | 佛教滅亡論 | 田島象二著 | M21. 11. 20 | |
| 374 | 明治大正探僧秘談 | 山内脩謙著 | S4. 4. 20 | |
| 375 | 現代語訳正法眼蔵礼拝得髓 | 三沢智雄・池田寿一共訳 | S38. 11. 9 | |
| 376 | 信仰の餘瀝 | 近角常観著 | M38. 5. 10 七版 | |
| 377 | 高野板之研究内容見本 | | | |
| 378 | 禪の人物録成 | 早田玄洞著 | M35. 11. 17 | |
| 379 | 佛説孝子経講話 | 草繁全宜著 | T5. 1. 1 | |
| 380 | 佛教或問 | 齋藤聞精著 | M27. 1. 25 | |
| 381 | 人の行くみち | 佛教學會発行 | M27. 12. 23 八版 | 合綴 |
| 382 | 向上向下(遊獵者を難ず H.M. 生)・(慎獨説と十善戒 外崎 覚)・(佛教大原則 釈 雲照) | 施本傳道會編 | M38. 12. 21 | 合綴 |
| 383 | 人の人たる道 | 施本傳道會編 | M36. 11. 5 | 合綴 |
| 384 | 安心立命之福音 | 施本傳道會編 | M36. 12. 25 | 合綴 |
| 385 | 佛教修身論 全 | 大澤興國著 | M28. 12. 1 三版 | 合綴 |
| 386 | 日本精神と日本佛教 | 矢吹慶輝著 | S10. 1. 21 七版 | |
| 387 | 公教要理 | | M22. 12. | |
| 388 | 光あれ | 姉崎正治著 | T9. 10. 1 五版 | |
| 389 | 當麻山無量光寺略縁起 | 大本山無量光寺事務所 | T14. 7. 10 | 合綴 |
| 390 | 遊行寺縁起 | 時宗総本山遊行寺 | S4. 9. 21 | 合綴 |
| 391 | 時宗概説 | 加藤實法編 | S4. 6. 1 | 合綴 |
| 392 | 時宗綱要 | 河野往阿著 | M45. 3. 20 三版 | 合綴 |
| 393 | 通俗行者本記 | 早川平吉著 | T8. 5. 15 | 合綴 |
| 394 | 優婆塞行者役小角御略傳 | 中根古洞編 | T12. 9. 15 | 合綴 |
| 395 | 修験道入門 | 五来 重著 | S55. 8. 25 | |
| 396 | 醍醐天皇孝千年御息奉贊會趣意規定並記念事業 | 岩鶴密傳編 | S4. 9. 20 | 合綴 |
| 397 | 醍醐天皇と醍醐寺 | 岩鶴密傳編 | S4. 7. 15 三版 | 合綴 |
| 398 | 醍醐天皇御事略 | 岩鶴密傳編 | S3. 12. 5 | 合綴 |
| 399 | 弘法大師傳 | 蓮生観善編 | S6. 6. 15 | |
| 400 | 役の行者 附神變大菩薩傳 | (財) 國劇向上會 | S13. 5. 28 | 坪内逍遙著・河竹繁俊解説 |
| 401 | 聖徳太子傳 | 境野 哲著 | M37. 5. 12 | 新聞切抜「聖徳太子と農業」(熊谷繁三郎)ほか貼付 |
| 402 | 釈尊の生涯及其教理 | 赤沼智善訳 | M44. 9. 15 | リス. デイズ著 |
| 403 | 日本文明史上に於ける弘法大師 | 谷本 富著 | M41. 2. 10 再版 | 合綴。新聞記事等貼付有 |
| 404 | 南紀の高野・湖東の高野(雑誌掲載記事) | 植村閑堂 | | 合綴。新聞記事等貼付有 |
| 405 | 弘法大師降誕會演説集 | 真言宗青年會発行 | M38. 1. 11 | 合綴。新聞記事等貼付有 |
| 406 | 弘法大師傳 | 中村孝也著 | S9. 3. 29 | |
| 407 | 神變大菩薩 | 大三輪信哉著 | S11. 3. 18 | |
| 408 | 役行者 | 山田文造著 | S4. 6. 1 | |
| 409 | 釈迦牟尼傳 | 常盤大定著 | M41. 10. 15 | |
| 410 | 醍醐寺略史 | 中島俊司著 | S5. 6. 15 | |
| 411 | 高野山千百年史 | 高野山金剛峯寺記念大法會事務局編 | T3. 10. 20 | |
| 412 | 吉野精華 | 水木要太郎著 | T4. 4. 5 二版 | |
| 413 | 日光山沿革略記 | 彦坂○照編 | M45. 7. 5 十一版 | 合綴 |
| 414 | 日光案内 | 田村昌天著 | T6. 8. 1 | 合綴 |
| 415 | 足利庄鏝阿寺 | 山越忍空編 | T元. 12. 27 | |
| 416 | 開創以前の高野山 | 中田法壽著 | T13. 4. 18 | 「高野山文化史」第一輯 |
| 417 | 吉野名所誌 | 中岡清一著 | T9. 3. 10 六版 | 吉野山同窓會発行 |
| 418 | 羽黒月山湯殿三山雅集 | 戸川安章解説 | S49. 8. 25 | |
| 419 | 入峯大観 | 聖護院門跡編 | S3. 9. 25 | 読売新聞夕刊「羽黒の山伏道中」(S11. 7. 5) 貼付 |
| 420 | 諸宗必携年忌弔當原論 全二冊 上 | 横矢重朝著 | M26. 5. 2 | 和綴 |
| 421 | 諸宗必携年忌弔當原論 全二冊 下 | 横矢重朝著 | M26. 5. 2 | |
| 422 | 山伏と尊皇 | 大伴 茂著 | S16. 4. 20 | |
| 423 | 山伏-入峰・修行・呪法- | 和歌森太郎著 | S39. 9. 5 | |
| 424 | 空海の風景 上巻 | 司馬遼太郎著 | S57. 12. 15 二十八版 | |
| 425 | 空海の風景 下巻 | 司馬遼太郎著 | S57. 3. 5 二十一版 | |
| 426 | 曼荼の風光 | 真言宗青年會編 | M39. 6. 15 | 合綴 |
| 427 | 末法の大導師 | 田中巴之助著 | M35. 6. 7 六版 | 合綴 |
| 428 | 萬國宗教大意 全 | 内山正如著 | M24. 10. 2 | |
| 429 | よしの山花と史蹟 | 山田文造編 | S4. 4. 四版 | 金峰山寺発行 |
| 430 | 光明真言法・施餓鬼法則 | 法教院齊賢筆 | 元治元. 4. 24 写之 | 筆写 |
| 431 | 天台大師和讃・傳教大師和讃 | 牛窪齊賢筆 | M12 己卯. 7. 11 | 筆写 |
| 432 | 金光明最勝王經回向 | 牛窪齊賢筆 | M18. 旧 8. 9 | 筆写 |
| 433 | 光明供法則并愛染明王敬白并薬師如来表白 | 法教院齊賢筆 | M20. 2. 写之 | 筆写 |
| 434 | 表紙なし(引導印信) | 授与能海 | 宝永6 己丑 4. 13 | 筆写 |
| 435 | 六臂如意輪觀世音法・吉祥天法 | | | 筆写。法教院 |
| 436 | 慈惠大師供開結作法 | | | 筆写。揖峯軒 |
| 437 | 表紙なし(九字之法他) | 授与賢海 | 宝曆6 丙子. 6. 22 | 筆写。折本 |
| 438 | 天台法則集 | | | 筆写 |
| 439 | 不動法 | 法教院峯順齊賢書之 | 萬延元庚申. 7. 2 | 筆写 |
| 440 | 台宗三陀羅尼 | | | 筆写。法教院齊賢扣 |
| 441 | 心易口訣 | | 貞享甲子元. 9. 聖降日 | 和綴。中村孫兵衛・小林判兵衛開板 |
| 442 | 役行者和讃・智證大師和讃 | | | 筆写。折本。法教院齊賢 |

| | | | | |
|-----|--------------------|---------------|-----------------|-----------------|
| 443 | 表紙なし(慈慧大師供) | | | 筆写。折本。法教院啓歎書 |
| 444 | 新刻改正 論語 再刻後藤點 上 | 後學大槻修如電 校 | | 卷1-5 |
| 445 | 新刻改正 論語 再刻後藤點 下 | 後學大槻修如電 校 | | 卷6-10 |
| 446 | 新刻改正 孟子 再刻後藤點 上 | 後學大槻修如電 校 | M32. 9. 20 | 卷1-6。原版佐土原學習館 |
| 447 | 新刻改正 孟子 再刻後藤點 下 | 後學大槻修如電 校 | M32. 9. 20 | 卷7-14。原版佐土原學習館 |
| 448 | 新刻改正 學庸 再刻後藤點 全 | 後學大槻修如電 校 | | 佐土原版 |
| 449 | 明治新刻 校正標註十八史略 一 | 石村貞一・河野通之標註訓點 | M29. 4. 30 | |
| 450 | 明治新刻 校正標註十八史略 二 | 石村貞一・河野通之標註訓點 | M29. 4. 30 | |
| 451 | 明治新刻 校正標註十八史略 三 | 石村貞一・河野通之標註訓點 | M29. 4. 30 | |
| 452 | 明治新刻 校正標註十八史略 四 | 石村貞一・河野通之標註訓點 | M29. 4. 30 | |
| 453 | 明治新刻 校正標註十八史略 五 | 石村貞一・河野通之標註訓點 | M29. 4. 30 | |
| 454 | 明治新刻 校正標註十八史略 六 | 石村貞一・河野通之標註訓點 | M29. 4. 30 | |
| 455 | 明治新刻 校正標註十八史略 七 | 石村貞一・河野通之標註訓點 | M29. 4. 30 | |
| 456 | 校正標註日本外史 七刻 一 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 457 | 校正標註日本外史 七刻 二 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 458 | 校正標註日本外史 七刻 三 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 459 | 校正標註日本外史 七刻 四 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 460 | 校正標註日本外史 七刻 五 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 461 | 校正標註日本外史 七刻 六 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 462 | 校正標註日本外史 七刻 七 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 463 | 校正標註日本外史 七刻 八 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 464 | 校正標註日本外史 七刻 九 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 465 | 校正標註日本外史 七刻 十 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 466 | 校正標註日本外史 七刻 十一 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 467 | 校正標註日本外史 七刻 十二 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 468 | 校正標註日本外史 附圖 十三 | 類 龍三著 | M28. 1. 20 七刻 | |
| 469 | 論文 日本外史講義 全 | 的場銚之助著 | M29. 3. 17 | |
| 470 | 唐詩選墨本 上 | 書肆嵩山房刊行 | 宝曆丁丑秋 9. | 一部欠損 |
| 471 | 唐詩選墨本 中 | 書肆嵩山房刊行 | 宝曆丁丑秋 9. | |
| 472 | 唐詩選墨本 下 | 書肆嵩山房刊行 | 宝曆丁丑秋 9. | |
| 473 | 増補諸宗佛像圖彙 一 | 書林 大野木實文堂蔵 | 寛政 4. 壬子秋 8. | |
| 474 | 増補諸宗佛像圖彙 二 | 書林 大野木實文堂蔵 | 寛政 4. 壬子秋 8. | |
| 475 | 増補諸宗佛像圖彙 三 | 書林 大野木實文堂蔵 | 寛政 4. 壬子秋 8. | |
| 476 | 増補諸宗佛像圖彙 四 | 書林 大野木實文堂蔵 | 寛政 4. 壬子秋 8. | |
| 477 | 増補諸宗佛像圖彙 五 | 書林 大野木實文堂蔵 | 寛政 4. 壬子秋 8. | |
| 478 | 助字詳解 一 | 平安 皆川愿伯恭著 | | |
| 479 | 助字詳解 二 | 平安 皆川愿伯恭著 | | |
| 480 | 釈教正謬初破 上 | 佛嶺把憂道人著 | M6. 8. | 縁山蔵版 |
| 481 | 釈教正謬初破 下 | 佛嶺把憂道人著 | M6. 8. | |
| 482 | 明治孝節録 一 | 宮内省蔵版 | M10. 6. | |
| 483 | 明治孝節録 二 | 宮内省蔵版 | M10. 6. | |
| 484 | 明治孝節録 三 | 宮内省蔵版 | M10. 6. | |
| 485 | 明治孝節録 四 | 近藤芳樹編 | M10. 11. | 宮内省蔵版 |
| 486 | 曾文正文鈔 上 | 塚 達編 | M12. 8. 刊 | |
| 487 | 曾文正文鈔 下 | 塚 達編 | M12. 8. 刊 | |
| 488 | 盆施軌 完 | 縁山僧某志 | 文政丁亥季夏 | 二念庵蔵版 |
| 489 | 増補科註原人論 完 | 岸上恢嶺著 | M18. 5. 新刻 | 京都 二書堂梓 |
| 490 | 近世名家小品文鈔 上 | 土屋 榮編 | M15. 3. 28 校訂再版 | |
| 491 | 近世名家小品文鈔 下 | 土屋 榮編 | M15. 3. 28 校訂再版 | |
| 492 | 明治現存三十六歌撰 完 | 山田謙益編 | M10. 6. 28 | 竹本石亭画。福農屋蔵版 |
| 493 | 古文真寶(魁本大字諸儒箋解古文真寶) | | | 一部欠損 |
| 494 | 新編本朝年代記 卷五 | | | 一部欠損 |
| 495 | 新編分類本朝年代記 卷七 | | 貞享元甲子 8. 刊 | 一部欠損 |
| 496 | 葛嶺雜記 | 常住窟置版 | 嘉永 3 戊 6. 7 | |
| 497 | 海外異傳 全 | 惜陰書屋蔵梓 | 嘉永庚戌 (3) 刊 | |
| 498 | 結字詳解習字教授本 | 小原聞一編・卷 菱澤筆 | M16. 9. 刊 | |
| 499 | 譯文筌蹄 初編 卷/一 卷/二 | 祖來先生口授 | | 合綴 |
| 500 | 華嚴三昧章 | 唐魏國西寺沙門法藏述 | 民國 6. 秋 9. | 金陵刻經處蔵 |
| 501 | 孫子指要 | 津藩阿川義廣注解 | 文化 11 稔甲戌秋 8. | 写本 |
| 502 | 在家勤行法則和解 全 | 服部鏗海述 | M14. 11. 刊 | 真言宗法務所蔵版 |
| 503 | 新建瓊瑤殿記 | | 元禄 12 己卯夏 6. | 武州東叡山寛永寺 |
| 504 | 文章奇観 卷一 | 大谷元知・依田喜信同抄 | M10. 1. 新彫 | 東京鹿島氏蔵板 |
| 505 | 文章奇観 卷二 | 大谷元知・依田喜信同抄 | M10. 1. 新彫 | 東京鹿島氏蔵板 |
| 506 | 歸元直指 乾 | | 寛永癸未 (20) 11. | 二條玉屋町 村上平樂寺 |
| 507 | 歸元直指 坤 | | 寛永癸未 (20) 11. | 二條玉屋町 村上平樂寺 |
| 508 | 密宗安心鈔開達記 卷上 | 釈 良基和尚原著 | M18. 12. 刊 | 圓通閣蔵版 |
| 509 | 密宗安心鈔開達記 卷中 | 釈 良基和尚原著 | M18. 12. 刊 | 圓通閣蔵版 |
| 510 | 密宗安心鈔開達記 卷下 | 釈 良基和尚原著 | M18. 12. 刊 | 圓通閣蔵版 |
| 511 | 訳文筌蹄 初編 卷三・卷四 | | 宝曆 3 癸酉弥生吉辰 | 洛東知恩院門前澤田吉左衛門刊行 |
| 512 | 訳文筌蹄 初編 卷五・卷六 | | 宝曆 3 癸酉弥生吉辰 | 洛東知恩院門前澤田吉左衛門刊行 |
| 513 | 舜水朱氏談綺 上 | | 宝永戊子. | 書林茨城多左衛門壽梓 |
| 514 | 舜水朱氏談綺 下 | | 宝永戊子. | 書林茨城多左衛門壽梓 |
| 515 | 助辞新訳 乾 | | M3. 庚午冬 | 尚友館蔵 |

| | | | | |
|-----|------------------------------|------------------|-----------------------|----------------------------------|
| 516 | 助辞新訳 坤 | | M3. 庚午冬 | 尚友館蔵 |
| 517 | 倫理教科論語抄 上巻 | 山本信孝編 | M36. 5. 20 七版 | |
| 518 | 倫理教科論語抄 下巻 | 山本信孝編 | M36. 5. 20 七版 | |
| 519 | 助語辞 全 | | 天和 3 癸亥. 仲夏 | 梅村弥右衛門翻刻 |
| 520 | 原飯伍冲虚仙佛合宗 全四冊 | | | 上海千頃堂書局印刷。映入り |
| 521 | 夾註輔教編原教要義第一・夾註輔教編勸書要義第二 | 杭州佛日山嗣祖明教大師契嵩編并註 | | |
| 522 | 夾註輔教編廣原教要義下第四 | 杭州佛日山嗣祖明教大師契嵩編并註 | | |
| 523 | 夾註輔教編孝論要義第五・夾註輔教編壇經贊要義第六 | 杭州佛日山嗣祖明教大師契嵩編并註 | 寛永 19 壬午 歲林鐘 吉辰 (第 5) | 三条鶴屋町田原仁左衛門新刊 (第 6) |
| 524 | 秦碑之研究 漢碑之形制 | 中村不折著 | \$10. 11. 25 | |
| 525 | 漢碑之研究 附蔡邕考 | 中村不折著 | \$10. 3. 15 | |
| 526 | 東坡志林 | | 民國 10. 7. 三版 | |
| 527 | 臨池楷則 | 董 其昌 | T6. 10. 20 | 東京外国語学校編 |
| 528 | 張金界奴本蘭亭序 | | | 折本 |
| 529 | 鳴鶴先生草書蘭亭序 | 日下部東作筆 | T14. 11. 25 | |
| 530 | 北宋拓顔魯公坐位帖 | 潘氏海山仙館珍藏 | 中華民國 4. 1. | |
| 531 | 大統歌 | 監谷甲蔵著 | T12. 8. 5 | |
| 532 | 般若心經秘鍵 | | 寛永 16 己卯 歲孟冬 吉辰 | 三条通鶴屋町田原仁左衛門梓 |
| 533 | 首書禮記集註 卷之三・四 | | | |
| 534 | 首書禮記集註 卷之七・八 | | | |
| 535 | 首書禮記集註 卷之九・十 | | | |
| 536 | 首書禮記集註 卷之十一・十二 | | | |
| 537 | 首書禮記集註 卷之十七・十八 | | | |
| 538 | 首書禮記集註 卷之十九・二十 | | | |
| 539 | 首書禮記集註 卷之二十一・二十二 | | | |
| 540 | 首書禮記集註 卷之二十三・二十四 | | | |
| 541 | 首書禮記集註 卷之二十五・二十六 | | | |
| 542 | 首書禮記集註 卷之二十七・二十八 | | | |
| 543 | 佛說冊二章終 完 | | | 裏表紙に「貞享 4 年卯 6 月日」 |
| 544 | 三教指歸註刪補 一 | 沙門運敏 | 寛文 3 癸卯 春 3. 吉且 | 明曆丁酉 春 2 月 15 日起首乃至 24 日夜半畢 |
| 545 | 三教指歸註刪補 二 | 沙門運敏 | 寛文 3 癸卯 春 3. 吉且 | 明曆丁酉 春 2 月 25 日之晚砥筆至 3 月初 5 深更闌毫 |
| 546 | 三教指歸註刪補 三 | 沙門運敏 | 寛文 3 癸卯 春 3. 吉且 | 明曆丁酉 春 3 月 29 日…… |
| 547 | 三教指歸註刪補 四 | 沙門運敏 | 寛文 3 癸卯 春 3. 吉且 | 明曆丁酉 春 4 月 16 日……萬治己亥 秋一校了 |
| 548 | 三教指歸註刪補 五 | 沙門運敏 | 寛文 3 癸卯 春 3. 吉且 | 萬治 2 年 秋 7 月日校合了 |
| 549 | 三教指歸註刪補 六 | 沙門運敏 | 寛文 3 癸卯 春 3. 吉且 | 萬治己亥 秋 7 月点檢了 |
| 550 | 三教指歸註刪補 七 | 沙門運敏 | 寛文 3 癸卯 春 3. 吉且 | 梓行 洛陽寺町中野小左衛門尉・前川茂右衛門尉 |
| 551 | 觀自在隨心陀羅尼・消伏毒害陀羅尼・十一面觀世音神呪經 三 | 唐大總持寺沙門智通訳 | | |
| 552 | 支那撰述口口(シツク)字記捷覽 上 | | 元禄 11. 戊寅 12. 12 | |
| 553 | 支那撰述口口(シツク)字記捷覽 上 | | 元禄 11. 戊寅 12. 12 | |
| 554 | 冠解口口(シツク)字母表便覽 | | 享保 4. 亥初秋 | 平安城 書肆 林庄五郎開板 |
| 555 | 道春点付書經集註 卷一・卷二・卷三 | | | 合綴 |
| 556 | 書經集註 卷四 | | | |
| 557 | 書經集註 卷六 | | | |
| 558 | 書經集註 卷七 | | | |
| 559 | 九想詩諷解 卷上・卷下 | | 元禄 7. 2. 中旬吉日 | 合綴。書林 永田調兵衛蔵板 |
| 560 | 遍照發揮性靈集便蒙 卷一 | | 延宝乙卯 (3) 孟夏日 | 元禄癸酉中夏改点 |
| 561 | 遍照發揮性靈集便蒙 卷三 | | 延宝乙卯 (3) 孟夏日 | 元禄癸酉中夏改点 |
| 562 | 遍照發揮性靈集便蒙 卷四 | | 延宝乙卯 (3) 孟夏日 | 元禄癸酉中夏改点 |
| 563 | 遍照發揮性靈集便蒙 卷五 | | 延宝乙卯 (3) 孟夏日 | 元禄癸酉中夏改点 |
| 564 | 遍照發揮性靈集便蒙 卷六 | | 延宝乙卯 (3) 孟夏日 | 元禄癸酉中夏改点 |
| 565 | 遍照發揮性靈集便蒙 卷七 | | 延宝乙卯 (3) 孟夏日 | 元禄癸酉中夏改点 |
| 566 | 遍照發揮性靈集便蒙 卷八 | | 延宝乙卯 (3) 孟夏日 | 元禄癸酉中夏改点 |
| 567 | 遍照發揮性靈集便蒙 卷十 | | 延宝乙卯 (3) 孟夏日 | 元禄癸酉中夏改点 |
| 568 | 大悲神呪經 | | 延宝 5. 丁巳 8. 吉辰 | 二條通仁王門町長尾平兵衛開刊 |
| 569 | 顯道和上行業記 附復古四侍略傳 | | 文政 11 戊子秋 | 園城寺法明律院 |
| 570 | 日本書籍考 併經典題說 全 | 羅山子 | 文化 13 丙子 歲暮冬 | 攝陽書林 多田勘兵衛 |
| 571 | 増補点註国史略 一 | 巖垣松苗著 | M17. 10. 2 四版 | |
| 572 | 増補点註国史略 二 | 巖垣松苗著 | M17. 10. 2 四版 | |
| 573 | 増補点註国史略 三 | 巖垣松苗著 | M17. 10. 2 四版 | |
| 574 | 増補点註国史略 四 | 巖垣松苗著 | M17. 10. 2 四版 | |
| 575 | 増補点註国史略 五 | 巖垣松苗著 | M17. 10. 2 四版 | |
| 576 | 増訂標疏箋註蒙求校本 上 | 佐々木貞介編 | M17. 8. 18 | |
| 577 | 増訂標疏箋註蒙求校本 中 | 佐々木貞介編 | M17. 8. 18 | |
| 578 | 増訂標疏箋註蒙求校本 下 | 佐々木貞介編 | M17. 8. 18 | |
| 579 | 草書法要 上冊 卷之一 | | 寛政 8. 丙辰 春 2. 3 | |
| 580 | 草書法要 下冊 卷之三 | | 寛政 8. 丙辰 春 2. 3 | |
| 581 | 行書治家格言 | 若林常猛書 | M26. 3. 13 | |
| 582 | 法界次第 上 | | | 法界次第初門第一 |
| 583 | 法界次第 中 | | | 法界次第初門第二 |
| 584 | 法界次第 下 | | | 法界次第初門第三 |
| 585 | 小止観 (脩習止観坐禪法要) | | | 杭州法華山西方庵校刻 |
| 586 | 錫杖抄 | | 寛文丁未 (7) 孟蘭盆日 | 長谷僧 亮汰 |
| 587 | 小經註解 完 (科註佛說阿彌陀經) | | | |
| 588 | 梵語雜名 完 | | 享保 17. 3. 穀且 | 書林 長谷川正右衛門板行 |
| 589 | 藍泉集 上 | 役 觀興山著 | 文化 13. 丙子 季秋 | 周陽徳府百世堂蔵板 |
| 590 | 藍泉集 中 | 役 觀興山著 | 文化 13. 丙子 季秋 | 周陽徳府百世堂蔵板 |

| | | | | |
|-----|--------------------------|--------------|-----------------|---|
| 591 | 藍泉集 下 | 役 親興山著 | 文化 13. 丙子季秋 | 周陽徳府百世堂藏板 |
| 592 | 放生報応集 | | 文化 3. 丙寅 5. 11 | |
| 593 | 父母恩重経鈔 | | 延宝 3 乙卯. 中冬吉且 | 中野小左衛門板行 |
| 594 | 光明真言直談鈔 | | 寛文 2. 壬寅中春吉日 | □□吉兵衛板口 |
| 595 | 諸尊種子真言集 | | 寛文 11. 庚亥 5. 吉日 | |
| 596 | 北道游簿 | 美濃 長戸讓士讓著 | 天保己亥仲秋 | |
| 597 | 昭代叢書 西方要紀 | | 康熙丁丑秋日 | 筆写 |
| 598 | 内閣秘傳字府 | | 寛文 4 甲辰. 3. 吉日 | 吉野屋権兵衛尉板行 |
| 599 | 林家正本易経 改点 乾 | | 寛政 3 歳辛亥臘月 | 東都書舖千鐘房 |
| 600 | 種類集 | | 寛文 7 丁未 12. 吉日 | 高橋清兵衛板 |
| 601 | 三界一心記 三賢一致書 | | 寛文 4 甲辰. 3. 吉日 | |
| 602 | 本朝名筆 | | | |
| 603 | 天台四教儀 全 | | 延宝 4 丙辰. 孟秋上浣 | |
| 604 | 標註八宗綱要 | 黒田真洞編 | M19. 9. 20 刻成 | |
| 605 | 三教指歸 全 | | M15. 4. 翻刻出版 | 書肆 森江藏版 |
| 606 | 新刻改正 小學 後藤點 元 (卷一-卷二) | 芝山後藤先生定本 | 文化 7. 庚午 6. 発行 | 男師周校訂。林家正本 |
| 607 | 新刻改正 小學 後藤點 亨 (卷三-卷四) | 芝山後藤先生定本 | 文化 7. 庚午 6. 発行 | 男師周校訂。林家正本 |
| 608 | 新刻改正 小學 後藤點 利 (卷五) | 芝山後藤先生定本 | 文化 7. 庚午 6. 発行 | 男師周校訂。林家正本 |
| 609 | 新刻改正 小學 後藤點 貞 (卷六) | 芝山後藤先生定本 | 文化 7. 庚午 6. 発行 | 男師周校訂。林家正本 |
| 610 | 叢桂偶記 一 | 原 南陽著 | 寛政 12. 庚申秋 | |
| 611 | 叢桂偶記 二 | 原 南陽著 | 寛政 12. 庚申秋 | |
| 612 | 彈誓上人絵詞傳 卷上 | | 明和 4. 丁亥 10. 25 | |
| 613 | 彈誓上人絵詞傳 卷下 | | 明和 4. 丁亥 10. 25 | |
| 614 | 野語述説 | | 元禄 5 壬申. 晚秋良辰 | 書肆 藤田半右衛門壽梓。前編卷 1-5・続編卷上下 (一部欠?)・後編卷上下・外編 |
| 615 | 和漢真俗佛事編 一 (卷一・二) | 浪華生玉沙門子登輯 | | 京都書林菱屋友五郎 |
| 616 | 和漢真俗佛事編 二 (卷三・四) | 浪華生玉沙門子登輯 | | 京都書林菱屋友五郎 |
| 617 | 和漢真俗佛事編 三 (卷五・六) | 浪華生玉沙門子登輯 | | 京都書林菱屋友五郎 |
| 618 | 因果経輯解 一・二 | 楚璞集記 | | 筆写 |
| 619 | 因果経輯解 三・四 | 楚璞集記 | | 筆写 |
| 620 | 因果経輯解 五 | 楚璞集記 | | 筆写 |
| 621 | 因果経輯解 六・七 | 楚璞集記 | | 筆写 |
| 622 | 因果経輯解 八・九大尾 | 楚璞集記 | | 筆写 |
| 623 | 行書類纂 子集 | 関 子徳選輯 | 天保 4. 癸巳正月 | 集古字堂藏版。文政己丑年鑄。本箱入 |
| 624 | 行書類纂 丑集 | 関 子徳選輯 | 天保 4. 癸巳正月 | 集古字堂藏版。文政己丑年鑄。本箱入 |
| 625 | 行書類纂 寅集 | 関 子徳選輯 | 天保 4. 癸巳正月 | 集古字堂藏版。文政己丑年鑄。本箱入 |
| 626 | 行書類纂 卯集 | 関 子徳選輯 | 天保 4. 癸巳正月 | 集古字堂藏版。文政己丑年鑄。本箱入 |
| 627 | 行書類纂 辰集 | 関 子徳選輯 | 天保 4. 癸巳正月 | 集古字堂藏版。文政己丑年鑄。本箱入 |
| 628 | 行書類纂 巳集 | 関 子徳選輯 | 天保 4. 癸巳正月 | 集古字堂藏版。文政己丑年鑄。本箱入 |
| 629 | 行書類纂 午集 | 関 子徳選輯 | 天保 4. 癸巳正月 | 集古字堂藏版。文政己丑年鑄。本箱入 |
| 630 | 行書類纂 未集 | 関 子徳選輯 | 天保 4. 癸巳正月 | 集古字堂藏版。文政己丑年鑄。本箱入 |
| 631 | 行書類纂 申集 | 関 子徳選輯 | 天保 4. 癸巳正月 | 集古字堂藏版。文政己丑年鑄。本箱入 |
| 632 | 行書類纂 酉集 | 関 子徳選輯 | 天保 4. 癸巳正月 | 集古字堂藏版。文政己丑年鑄。本箱入 |
| 633 | 行書類纂 戌集 | 関 子徳選輯 | 天保 4. 癸巳正月 | 集古字堂藏版。文政己丑年鑄。本箱入 |
| 634 | 行書類纂 亥集 | 関 子徳選輯 | 天保 4. 癸巳正月 | 集古字堂藏版。文政己丑年鑄。本箱入 |
| 635 | 新疆ト甘肅ノ探検 附印度 | 中村不折著 | S9. 5. 25 | |
| 636 | 支那上代書史 | 中村不折著 | S9. 10. 20 | |
| 637 | 東周文字并石鼓・隸草史 附澄清堂帖考 | 中村不折著 | S9. 12. 25 | |
| 638 | 十體千字文 附千字文講義・實語教俗解・童子教俗解 | 大橋新太郎編 | M35. 1. 30 十版 | |
| 639 | 秦篆賞心十六事 | 長坂金雄著 | S10. 2. 10 | 折本 |
| 640 | 史邑臨石鼓文 | 長坂金雄著 | S10. 9. 15 | 折本 |
| 641 | 師範教科 書範 | 廣橋足穂編書 | M38. 4. 1 再版 | 折本。裏面牛窪弘善臨「勅諭四體帖」 |
| 642 | 中等習字帖 中 | 日下部東作書 | T15. 1. 10 改刻 | 教科書見本 |
| 643 | 中等習字帖 下 | 日下部東作書 | T15. 1. 10 改刻 | 教科書見本 |
| 644 | 智永 真草千字文真蹟 上 | 碓井善助編 | S11. 8. 10 | 赤城和漢名蹟叢書第 5 卷 |
| 645 | 智永 真草千字文真蹟 下 | 碓井善助編 | S11. 8. 10 | 赤城和漢名蹟叢書第 7 卷 |
| 646 | 草假名諸體 | 牛窪弘善輯並書 | M43. 2. 初旬編次 | 手書 |
| 647 | 新撰上代様習字帖 第二 | 加藤登太郎・中野謙之介著 | S5. 3. 15 | |
| 648 | 日下部鳴鶴 熊野遊草・禹域遊草・芳溪雜代十首 | 下中弥三郎編 | S8. 9. 10 | 和漢名家習字本大成 第 8 卷 |
| 649 | 篆書鄧石如習字帖 | | | 上海文明書局印行 |
| 650 | 昭和詩文 己卯十一月 | 荒浪市平編 | S14. 11. 20 | 第 29 帙第 11 集 |
| 651 | 三體揮毫自在 一名墨場備忘私記 | 小野綱之助編書 | T9. 4. 25 五版 | |
| 652 | 釈氏要覽・諸乘法数 合本 | 出雲寺文次郎刊 | M22. 12. 26 | |
| 653 | 繪具分量考 | 桓齋先生著 | 天保 5. | 東都文刻堂藏版 |
| 654 | 御家商売往来 全 | 晋松堂主人書 | | 東都書林山静堂板 |
| 655 | 御家消息往来 | | | |
| 656 | 嘉永新刻 孟子 後藤点片仮名附 下 | | 嘉永元. 戊申 4. | 山城屋政吉 |
| 657 | 嘉永新刻 論語 後藤点片仮名附 完 | | | |
| 658 | 實語教童子教 | | 文化 12 歳乙亥正. 再版 | 仙鶴堂鶴屋口右衛門板 |
| 659 | 職原記事 (職原抄支流大全) | | | 河内屋源七郎板。乱丁 |
| 660 | 孟子 | | 享保 8 癸卯. 正. 吉且 | |
| 661 | 魯論 道春点 (論語) | | | |
| 662 | 唐詩選 上 | | 安永丙申 (5) 初夏再版 | 書林嵩山房小林新兵衛梓行 |
| 663 | 唐詩選 中 | | 安永丙申 (5) 初夏再版 | 書林嵩山房小林新兵衛梓行 |
| 664 | 唐詩選 下 | | 安永丙申 (5) 初夏再版 | 書林嵩山房小林新兵衛梓行 |
| 665 | 新点袖珍性靈集 上 | | | 書林藤井佐兵衛 |

| | | | | |
|-----|---------------------------|----------------|------------------|-----------------------------------|
| 666 | 新点袖珍性畫集 中 | | | 書林藤井佐兵衛 |
| 667 | 新点袖珍性畫集 下 | | | 書林藤井佐兵衛 |
| 668 | 合類業種名寄帖 全 | | 享保 14. 巴酉 10. 吉日 | |
| 669 | 新編萬病回春集 上 | | 萬曆丁酉秋月吉且刊 | |
| 670 | 新編萬病回春集 下 | | | 一部欠 |
| 671 | 新編萬病回春集 断簡 | | | 一部欠 |
| 672 | 小文規則 完 | | 嘉永 6 癸丑 3. | |
| 673 | 聖護院宮御入峰図繪 | | | 部分 |
| 674 | 諸家文詩 | 鳳文館講義科編 | M16. 6. | |
| 675 | 文章軌範講義 石川鴻齋先生講義 | 鳳文館講義科編 | M16. 10. | |
| 676 | 十八史略講義 岡 鹿門先生講義 | 鳳文館講義科編 | M16. 8. | |
| 677 | 論語講義 | 鳳文館講義科編 | M16. 8. | |
| 678 | 本朝古今書画便覽 | | 文化 15. 寅正月刻成 | |
| 679 | 文字之由来 (本題不明) | | 明和 6 巳丑 . | 一部欠 |
| 680 | 和漢名数大全 | | | 一部欠 |
| 681 | 道中寶鑑 | 佐野正居編 | M21. 6. 30 | |
| 682 | 袖中大和詞大成 全 | | 文政 2 卯 . 9. | |
| 683 | 修験 第一冊 第 1 号~第 9 号 | 聖護院門跡内修験社編 | S57. 7. 23 | 教団機関誌「修験」戦前版の合本覆刻 |
| 684 | 修験 第二冊 第 10 号~第 21 号 | 聖護院門跡内修験社編 | S57. 8. 23 | 教団機関誌「修験」戦前版の合本覆刻 |
| 685 | 修験 第三冊 第 22 号~第 33 号 | 聖護院門跡内修験社編 | S57. 9. 22 | 教団機関誌「修験」戦前版の合本覆刻 |
| 686 | 修験 第四冊 第 34 号~第 45 号 | 聖護院門跡内修験社編 | S57. 10. 22 | 教団機関誌「修験」戦前版の合本覆刻 |
| 687 | 修験 第五冊 第 46 号~第 57 号 | 聖護院門跡内修験社編 | S57. 11. 22 | 教団機関誌「修験」戦前版の合本覆刻 |
| 688 | 修験 第六冊 第 58 号~第 69 号 | 聖護院門跡内修験社編 | S57. 12. 20 | 教団機関誌「修験」戦前版の合本覆刻 |
| 689 | 修験 第七冊 第 70 号~第 81 号 | 聖護院門跡内修験社編 | S58. 1. 24 | 教団機関誌「修験」戦前版の合本覆刻 |
| 690 | 修験 第八冊 第 82 号~第 93 号 | 聖護院門跡内修験社編 | S58. 2. 22 | 教団機関誌「修験」戦前版の合本覆刻 |
| 691 | 修験 第九冊 第 94 号~第 105 号 | 聖護院門跡内修験社編 | S58. 3. 22 | 教団機関誌「修験」戦前版の合本覆刻 |
| 692 | 修験 第十冊 第 106 号~第 124 号 | 聖護院門跡内修験社編 | S58. 4. 22 | 教団機関誌「修験」戦前版の合本覆刻 |
| 693 | 修験道章疏 一 | 日本大蔵経編纂会編 | S60. 3. 20 | |
| 694 | 修験道章疏 二 | 日本大蔵経編纂会編 | S60. 3. 20 | |
| 695 | 修験道章疏 三 | 日本大蔵経編纂会編 | S60. 3. 20 | |
| 696 | 高野山と真言密教の研究 | 五来 重編著 | S52. 7. 28 三版 | 山岳宗教史研究叢書 3 |
| 697 | 高野山と真言密教の研究 | 五来 重編著 | S52. 7. 28 三版 | 山岳宗教史研究叢書 3 |
| 698 | 修験道史料集 [1] 東日本篇 | 五来 重編著 | S58. 6. 20 | 山岳宗教史研究叢書 17 |
| 699 | 修験道史料集 [2] 西日本篇 | 五来 重編著 | S59. 12. 25 | 山岳宗教史研究叢書 18 |
| 700 | 日本大蔵経 目録・索引 | 日本大蔵経編纂会編 | T10. 5. 25 | |
| 701 | 日本大蔵経 修験道章疏一 | 日本大蔵経編纂会編 | T5. 11. 3 | 第 17 卷 |
| 702 | 日本大蔵経 修験道章疏二 | 日本大蔵経編纂会編 | T8. 1. 31 | 第 37 卷 |
| 703 | 日本大蔵経 修験道章疏三 | 日本大蔵経編纂会編 | T8. 4. 28 | 第 38 卷 |
| 704 | 釈 宗演全集 第 7 卷 | 松田竹の嶋人編 | S4. 10. 20 | 金剛経講話ほか |
| 705 | 釈 宗演全集 第 10 卷 | 松田竹の嶋人編 | S5. 6. 20 | 錫嶺島志其他・宗演禪師自伝 |
| 706 | 昭和新纂国訳大蔵経宗典部第 1 卷 天台宗聖典 | 昭和新纂国訳大蔵経編輯部編 | S8. 5. 25 再版 | |
| 707 | 昭和新纂国訳大蔵経宗典部第 2 卷 真言宗聖典 | 昭和新纂国訳大蔵経編輯部編 | S4. 2. 10 | |
| 708 | 昭和新纂国訳大蔵経経典部第 7 卷 大乘入楞伽經他 | 昭和新纂国訳大蔵経編輯部編 | S3. 11. 10 | |
| 709 | 國譯一切經 涅槃部一 | 常盤大定訳・岩野真雄編 | S4. 2. 15 | |
| 710 | 國譯一切經 大集部一 | 蓮澤成淳訳・岩野真雄編 | S5. 9. 20 | |
| 711 | 國譯一切經 大集部二 | 蓮澤成淳訳・岩野真雄編 | S6. 3. 15 | |
| 712 | 國譯一切經 寶積部一 | 長井真琴訳・岩野真雄編 | S4. 12. 15 | |
| 713 | 國譯一切經 寶積部二 | 長井真琴訳・岩野真雄編 | S5. 8. 10 | |
| 714 | 國譯一切經 寶積部三 | 長井真琴訳・岩野真雄編 | S6. 1. 15 | |
| 715 | 國譯一切經 華嚴部一 | 衛藤即應訳・岩野真雄編 | S4. 5. 25 | |
| 716 | 國譯一切經 華嚴部二 | 衛藤即應訳・岩野真雄編 | S5. 5. 5 | |
| 717 | 國譯一切經 密教部二 | 坪井徳光他訳・岩野真雄編 | S6. 2. 15 | |
| 718 | 國譯一切經 律部一 | 境野黄洋訳・岩野真雄編 | S4. 3. 15 | |
| 719 | 國譯一切經 律部二 | 境野黄洋訳・岩野真雄編 | S4. 7. 30 | |
| 720 | 國譯一切經 律部十五 | 境野黄洋訳・岩野真雄編 | S7. 1. 20 | |
| 721 | 國譯一切經 毗曇部七 | 木村泰賢訳・岩野真雄編 | S4. 10. 15 | |
| 722 | 國譯一切經 阿含部四 | 立花俊道訳・岩野真雄編 | S4. 8. 20 | |
| 723 | 國譯一切經 阿含部五 | 立花俊道訳・岩野真雄編 | S5. 4. 1 | |
| 724 | 國譯一切經 阿含部六 | 立花俊道訳・岩野真雄編 | S6. 5. 10 | |
| 725 | 國譯一切經 阿含部八 | 林 五邦訳・岩野真雄編 | S4. 3. 10 | |
| 726 | 國譯一切經 阿含部九 | 林 五邦訳・岩野真雄編 | S4. 11. 5 | |
| 727 | 國譯一切經 阿含部十 本縁部一 | 林五邦・岡教遠訳・岩野真雄編 | S6. 6. 1 | |
| 728 | 国訳漢文大成 經子史部第 5 卷 | 国民文庫刊行会編 | S9. 5. 15 重版 | 春秋左氏傳上巻 |
| 729 | 国訳漢文大成 經子史部第 8 卷 | 国民文庫刊行会編 | S9. 6. 15 五版 | 荀子・墨子 |
| 730 | 国訳漢文大成 經子史部第 9 卷 | 国民文庫刊行会編 | S9. 4. 15 重版 | 韓非子・商子 |
| 731 | 国訳漢文大成 經子史部第 15 卷 | 国民文庫刊行会編 | S9. 3. 15 重版 | 史記列傳上巻 |
| 732 | 校註日本文学大系 第 1 卷 | 中山泰昌編 | S8. 7. 10 | 古事記・風土記・祝詞附壽詞・宣命・高橋氏文・日本書紀神代卷 |
| 733 | 校註日本文学大系 第 2 卷 | 中山泰昌編 | S8. 3. 5 | 竹取・伊勢・大和・浜松中納言・無名草子・とりかへばや・堤中納言物語 |
| 734 | 校註日本文学大系 第 3 卷 | 中山泰昌編 | S6. 10. 24 | 土佐・蜻蛉・和泉式部・更級日記・清少納言枕草子・方丈記他 |
| 735 | 校註日本文学大系 第 4 卷 | 中山泰昌編 | S7. 12. 15 | 宇津保物語 |
| 736 | 校註日本文学大系 第 7 卷 | 中山泰昌編 | S7. 4. 1 | 源氏物語下巻・源氏物語各巻系図・すみれ草 |
| 737 | 校註日本文学大系 第 9 卷 | 中山泰昌編 | S7. 9. 15 | 今昔物語下巻 |
| 738 | 校註日本文学大系 第 10 卷 | 中山泰昌編 | S7. 5. 1 | 宇治拾遺物語・古今著聞集 |
| 739 | 校註日本文学大系 第 11 卷 | 中山泰昌編 | S7. 10. 25 | 栄華物語 |
| 740 | 校註日本文学大系 第 12 卷 | 中山泰昌編 | S7. 1. 20 | 水鏡・大鏡・今鏡・増鏡 |

| | | | | |
|-----|----------------------|-------------|-------------------|----------------------------------|
| 741 | 校註日本文学大系 第13巻 | 中山泰昌編 | S8. 1. 28 | 月のゆくへ・池の藻屑・豊鑑・義経記 |
| 742 | 校註日本文学大系 第14巻 | 中山泰昌編 | S6. 9. 24 | 保元物語・平治物語・平家物語 |
| 743 | 校註日本文学大系 第15巻 | 中山泰昌編 | S7. 5. 20 | 源平盛衰記上巻 |
| 744 | 校註日本文学大系 第16巻 | 中山泰昌編 | S7. 6. 15 | 源平盛衰記下巻 |
| 745 | 校註日本文学大系 第17巻 | 中山泰昌編 | S7. 8. 15 | 太平記上巻 |
| 746 | 校註日本文学大系 第18巻 | 中山泰昌編 | S8. 5. 1 | 太平記下巻・吉野拾遺・神皇正統記 |
| 747 | 校註日本文学大系 第19巻 | 中山泰昌編 | S7. 7. 15 | お伽草子・鳴門中將物語・松帆浦物語・秋の夜の長物語・鴉鷺合戦物語 |
| 748 | 校註日本文学大系 第23巻 | 中山泰昌編 | S7. 12. 15 | 本朝文粹 |
| 749 | 校註日本文学大系 第24巻 | 中山泰昌編 | S8. 3. 5 | 懐風藻・凌雲集・文華秀麗集・経國集・本朝俗文粹 |
| 750 | 校註日本文学大系 第25巻 | 中山泰昌編 | S8. 5. 1 | 国文学研究資料・国文学研究書目・和歌索引・本文索引・総目録 |
| 751 | 漢字起原の研究 | 語言研究会編著 | S9. 8. 15 三版 | |
| 752 | 増補漢字ノ研究 | 安達常正著 | M44. 10. 1 訂正五版 | |
| 753 | 日本神代史 | 中村徳五郎著 | S8. 10. 5 | |
| 754 | 東海道名所図会 | 日本図絵刊行会編 | S6. 8. 15 | |
| 755 | 世阿弥自筆傳書集 | 川瀬一馬校訂 | S20. 4. 20 三版 | |
| 756 | 吞象高嶋嘉右衛門翁傳 | | T3. 8. 1 | |
| 757 | 新編外国歴史教科書 西洋之部 | 磯田 良編 | T14. 1. 23 修正十一版 | |
| 758 | 書法自在 | 大橋新太郎編 | M32. 7. 3 三版 | 日用百科全書第二十三編 |
| 759 | 修正日本略史附図 | 峰岸米造著 | M41. 1. 5 | |
| 760 | 大正国語読本 第二修正版 巻二 | 保科孝一編 | T12. 1. 16 第二修正訂正 | |
| 761 | 国文評釈 第一編 | 落合直文著 | M25. 11. 5 | |
| 762 | 欧米に於ける支那學 | 佐伯好郎著 | S9. 3. 25 | |
| 763 | 孝経講義 全 | 深井鑑一郎講述 | M27. 10. 10 再版合本 | |
| 764 | 菜根譚講義 前集 | 山田孝道著 | T2. 9. 5 九版 | |
| 765 | 菜根譚講義 後集 | 山田孝道著 | T2. 9. 5 九版 | |
| 766 | 中江藤樹 | 正信協会編 | S12. 1. 31 | 新選妙好人傳第四編 |
| 767 | 秘術傳法 | 大橋又太郎編 | M30. 11. 8 | 日用百科全書第二十四編 |
| 768 | 實用書翰文 全 | 西脇吳石編書 | S2. 12. 25 | |
| 769 | 鷲尾敬義遺作集 | 鷲尾順敬編 | S5. 11. 8 | |
| 770 | 山陽先生遺光 | 小林篤藏編 | S7. 1. 28 | |
| 771 | 基督の大訓註釈 | 海老名弾正著 | M41. 4. 20 七版 | |
| 772 | 四書新訳 論語 巻上 | 久保得二著 | T2. 12. 25 十六版 | |
| 773 | 四書新訳 論語 巻下 | 久保得二著 | T元. 9. 25 十一版 | |
| 774 | 四書新訳 孟子 巻上 | 久保得二著 | M36. 1. 28 再版 | |
| 775 | 四書新訳 論語 巻下 | 久保得二著 | M36. 8. 24 再版 | |
| 776 | 異軒講話集 初編 | 井上哲次郎著 | M35. 2. 21 | |
| 777 | 天皇と国史の進展 | 中村直勝著 | S9. 9. 9 | |
| 778 | 書範 | 八代 登編 | S8. 11. 1 | 主婦之友11月号(第17巻第11号)附録 |
| 779 | 校註神皇正統記 全 | 大宮宗司校註 | M29. 4. 15 | |
| 780 | 新撰日本外史 一名世々の跡 第壹編 | 落合直文著 | M25. 10. 28 | |
| 781 | 新撰日本外史 第貳編 | 落合直文著 | M26. 6. 10 | |
| 782 | 三體千字文 | 日下部鳴鶴書 | S3. 12. 10 縮刷 | |
| 783 | 六朝書道論 完 | 中村不折・井上靈山著訳 | T5. 6. 10 大増訂五版 | |
| 784 | 萬國大年表 全 | 棚橋一郎・小川銀次郎編 | M33. 1. 29 七版 | |
| 785 | 漢北と南海-アジア史における砂漠と海洋- | 松田壽男著 | S17. 1. 18 | アジア史撰聚 |
| 786 | 武士道史要 | 橋本 實著 | S18. 1. 10 | |
| 787 | 夜討曾我 | 丸岡 桂訂正 | M44. 11. 5 | 観世流改訂謡本内十三 |
| 788 | 羽衣 | 丸岡 桂訂正 | M44. 2. 5 | 観世流改訂謡本内二十一 |
| 789 | 浅妻船 口三味線入 | 邦楽社編集部編 | S28. 4. 30 | |
| 790 | 菖蒲浴衣 口三味線入 | 邦楽社編集部編 | S29. 2. 25 八版 | |
| 791 | 松の緑 口三味線入 | 邦楽社編集部編 | S28. 12. 25 二十版 | |
| 792 | 宕陰先生年譜 | 壁谷 温著 | T12. 8. 18 | |
| 793 | 古泉図 (大増補いろは別古銭価格表) | 家村吉兵衛編 | T9. 8. 1 十二版 | |
| 794 | 最新東洋史地図修正版 | 有高 巖著 | S18. 6. 5 四版 | |
| 795 | 中學書法講義 文科第一学年 完 | 加藤貞次郎 | | 合綴 |
| 796 | 論語講義 | 東條淡齋 | | 合綴 |
| 797 | 假名諸體 | 牛窪弘善輯並書 | S8. 秋日 | 謄写 |
| 798 | はぐれ念佛 | 寺内大吉著 | S36. 3. 25 | |
| 799 | 俳句浄書帖 (自著用・日誌用・保存用) | 飯尾謙蔵編 | S8. 9. 15 | 「蔵の鑰」獅子吼牛窪弘善自著 |
| 800 | 上都賀郡鐘銘集 | 小太刀源吉編 | S9. 12. 25 | 謄写 |
| 801 | 経済学入門 | 波多野 鼎著 | S25. 7. 15 三刷 | |
| 802 | 耽奇漫録 | 早川純三郎編 | S10. 2. 20 三版 | |
| 803 | こうた集 | 春日とよ編 | S15. 8. 28 | |
| 804 | 篆刻新解 | 楠瀬日年著 | S7. 4. 15 | |
| 805 | 和漢書道史及書論 | 橋本廣一著 | T14. 7. 10 再版 | |
| 806 | 講談日本外史 第1巻 源平の巻 | 今 三餘著 | T13. 10. 12 五版 | |
| 807 | 訂正音符翻訳名義集 上 | 若原敬経訓訳 | M34. 11. 10 | |
| 808 | 訂正音符翻訳名義集 下 | 若原敬経訓訳 | M34. 11. 10 | |
| 809 | 日本とは如何なる國ぞ | 田中巴之助著 | S3. 11. 3 | |
| 810 | 暦の本質とその改良 | 能田忠亮著 | S18. 12. 1 | |
| 811 | 孝と十善戒 完 | 釈 宣猷編 | T4. 11. 10 二版 | |
| 812 | 全日本青年代表團は満州を此の如く観る | 満州日日新聞社刊 | S12. 1. 30 | 満日叢書第六輯 |
| 813 | 衛生之心得 | 松本 順口授 | M22. 11. 11 | |
| 814 | 腎臓病の話 | 楊廬原守業著 | S5. 5. 25 | 医療社会化叢書第一編 |
| 815 | 末摘花 全 | 日本珍書研究会刊 | S22. 7. 1 | 複製版俳風末摘花合本 |
| 816 | 政教時論 全 | 磯部武者五郎著 | M26. 6. 11 | |
| 817 | 福翁百話 全 | 時事新報社編 | M33. 3. 30 十八版 | |
| 818 | 文章形容詞範 乾 | 金井助作輯訳 | M30. 4. | |

| | | | | |
|-----|---------------------------------|--------------|--------------------|------------------------------------|
| 819 | 文章形容詞範 坤 | 金井助作輯訳 | M30. 4. | |
| 820 | 作文必携熟語成句詳解 | 財間 榮著 | M35. 7. 20 六版 | |
| 821 | 紀伊熊野 | 入澤文明編 | S27. 11. 15 再版 | 旅行叢書第七集 |
| 822 | 難病自宅療法 | 長谷川誠也編 | S3. 1. 1 | 文藝俱樂部第三十四卷第一号附録 |
| 823 | 日本周遊奇談 | 井上圓了著 | M44. 6. 23 | |
| 824 | 十八史略新講 | 小田茂熙著 | S10. 5. 10 三版 | 新撰漢文叢書 |
| 825 | 十八史略講義 上巻 淳軒大田才次郎講述 | 大橋新太郎編 | M26. 2. 25 | |
| 826 | 十八史略講義 下巻 淳軒大田才次郎講述 | 大橋新太郎編 | M26. 4. 7 | |
| 827 | 荀子講義 下巻 城井壽章講述 | 大橋新太郎編 | M26. 3. 9 | |
| 828 | 小學・孝經・忠經講義 全 内藤趾叟・東條永胤講述 | 大橋新太郎編 | M30. 3. 10 六版 | 支那文學全書第三編 |
| 829 | 老子・列子・孫子・呉子講義 全 小宮山綏介講述 | 大橋新太郎編 | M25. 12. 6 三版 | 支那文學全書第四編 老子講義欠(別綴有) |
| 830 | 老子 | | | 支那文學全書第四編 老子講義部分の別綴 |
| 831 | 近世大儒列傳 上巻 | 内藤燦聚編 | M26. 12. 16 | 通俗教育全書第八十七編 |
| 832 | 近世大儒列傳 下巻 | 内藤燦聚編 | M26. 12. 25 | 通俗教育全書第八十八編 |
| 833 | 能登半島 | 山田毅一著 | T2. 10. 5 | |
| 834 | 山岳旅行案内 | 菅 五太郎編 | T9. 7. 5 | 野球界臨時増刊(第十卷第十号) |
| 835 | 愛子教養四種の教 | 草繁全宜著 | T4. 9. 18 十四版 | |
| 836 | 小學・中庸・孟子・正文章軌範・春秋左氏傳・日本政記論文講義断機 | | | |
| 837 | 古語拾遺講義 全 | 佐伯有義著述 | M27. 1. 25 六版 | 學階試験科目全書第一巻 |
| 838 | 通俗絵入続妖怪百談 全 | 井上圓了著 | M33. 4. 14 | |
| 839 | 小學日本文範 全 | 石川鴻齋著 | M25. 11. 6 再版 | |
| 840 | 口口篆字彙 | | 民國 8. | 全 4 冊帙入(帙破損) |
| 841 | 倭漢三才図繪 | 寺嶋良安著 | M39. 11. 21 | |
| 842 | 成功遠志勤學要訣 全 | 吉田巳之助著 | M24. 3. 28 | 博文館叢書第貳拾回 |
| 843 | 普通鉱物岩石鑑定便覽 | 岩本鉱物販売所編 | S3. 3. 2 | |
| 844 | 孝道 上巻 | 澤柳政太郎著 | T7. 12. 15 縮刷刊 | 著者書翰附 |
| 845 | 孝道 下巻 | 澤柳政太郎著 | T7. 12. 15 縮刷刊 | 著者書翰附 |
| 846 | 掌中画題詩賛 完 | 村田徹典編 | M13. 4. 刊 | |
| 847 | 新に頒行されし太陽曆 | | | 明治 5 年壬申頒曆・明治 6 年癸酉頒曆・明治 7 年甲戌太陽略曆 |
| 848 | 古今詩文詳解 | | M14. 6. 25 ~ | 第 21・24・26-31 集 |
| 849 | 女用文壽鑑 全 | | | |
| 850 | 小詩園 | 金子雄太郎著 | M38. 6. 1 四版 | |
| 851 | 最新日本歴史年表増訂版 | 大森金五郎・高橋昇造著 | S17. 6. 20 | |
| 852 | 詳解漢和大字典 | 服部宇之吉・小柳司気太著 | T14. 7. 10 三六八版 | |
| 853 | 詩學捷徑抄 | 十善堂主人筆写 | M30. 12. 念 4 | 筆写。自筆 |
| 854 | 東京都区分地図 都内二十三区・八市三多摩 | 地図教材(株)発行 | | |
| 855 | 周覽詩抄 | 監谷 温著 | S8. 5. 30 訂正再版 | |
| 856 | 大統歌新釈 | 監谷 温著 | T13. 5. 1 再版 | |
| 857 | 和解佛曆一斑 | 大日本佛曆会社発行 | M18. 発行 | |
| 858 | 復軒旅日記 | 大槻文彦著 | S13. 8. 15 | |
| 859 | 肥州長岑図 | 大和屋板 | 享和元年酉歳 | 木版 |
| 860 | 名所大概 | | 寛政 8. 丙辰夏 | 版本。折本 |
| 861 | 図説植物辞典 | 村越三千男著 | S16. 9. 25 五版 | |
| 862 | 新潮国語辞典 現代語・古語 | 久松潜一監修 | S40. 11. 30 | |
| 863 | 言海 | 大槻文彦著 | T5. 10. 25 375 版 | |
| 864 | 増続會玉篇大全 | 毛利貞齋著 | M38. 9. 15 九版 | |
| 865 | 例句添付俳諧歳時記 | 石野舟洲著 | S7. 8. 10 九版 | |
| 866 | 誤れる文字文章 | 大町桂月著 | T4. 6. 14 | |
| 867 | 洒落本集 | 高木好次校訂 | S8. 3. 5 | 岩波文庫 879-880 |
| 868 | 標註続菜根譚 | 杉原夷山著 | M43. 1. 15 四版 | 上下二巻合綴 |
| 869 | 西洋事物起原 全 | 大橋新太郎編 | M27. 4. 27 | 寸珍百種第 46 編 |
| 870 | 袖珍北海道土人語案内 全 附 地名略解 | 北海道史編 | M43. 4. 18 | |
| 871 | 學問のすゝめ 全 | 福沢諭吉記 | M5. 申 6. 木版 | |
| 872 | 業隠 | 栗原荒野抄 | | キング S14. 12 月号附録 |
| 873 | 新撰作文問答 | 西村真次編 | M37. 9. 15 | |
| 874 | 英雄のおもかげ | 村上俊蔵編 | M33. 1. 1 | |
| 875 | 聖徳太子十七憲法 | 福田宏一発行 | T10. 8. 30 | 黄檗潮音和尚注 |
| 876 | 舊約全書 | 米国聖書会社発行 | T3. 1. 8 | |
| 877 | 新訂禪學名著集 全 | 大町桂月校訂 | M45. 2. 5 | 學生文庫第 27 編 |
| 878 | 漢藏対訳勝鬘經 全 | 世界文庫刊行会編 | T13. 9. 20 | 河口慧海訳 |
| 879 | 最新常識現代語辞典 | 東洋漢籍研究会著 | S6. 6. 20 十二版 | |
| 880 | 眞行草字鑑 全 附仮名字彙 | 前田 圓編 | T13. 12. 5 改刻 31 版 | |
| 881 | 佛教聖典 | 前田慧雲・南條文雄著 | M38. 6. 27 | |
| 882 | 佛陀之聖訓 | 常磐大定編 | M40. 7. 20 三版 | |
| 883 | 性慾論 全 | トルストイ著 | T4. 1. 7 | 相馬御風訳 新潮文庫第 25 編 |
| 884 | 新約聖書 馬可傳 全 | 米国聖書会社発行 | M37. 3. 31 | |
| 885 | 和訳聖典十種 | 秋山悟庵著 | M44. 10. 8 | |
| 886 | 古事記 全 | 太 安萬侶著 | T7. 2. 20 58 版 | 袖珍文庫第 49 編 |
| 887 | 近世畸人傳 全 | 伴 蒿隱著 | M45. 3. 5 | 袖珍文庫第 60 編 |
| 888 | 小倉百人一首 附略解 | 井上藤吉編 | M38. 11. 6 | |
| 889 | 粒粒放 全 | 藤里好古著 | S5. 1. 15 | 星馨叢書 1 |
| 890 | 天満宮崇敬と潜伏吉利支丹 全 | 藤里好古著 | S5. 12. 25 | 星馨叢書 2 |
| 891 | 南方海峯近畿流窟者を語る 全 | 藤里好古著 | S7. 12. 20 | 星馨叢書 4 |
| 892 | 芭蕉天神々影の検討 全 | 藤里好古著 | S8. 2. 25 | 星馨叢書 5 |
| 893 | 新約全書 | | M28. | |
| 894 | 新約聖經 | | 光緒 32. 丙午 | |
| 895 | 菁莪園墨帖 | 監谷 温著 | T13. 4. | 帙入り |

| | | | | |
|-----|--|------------------------------|-----------------------|--|
| 896 | 新釈吾妻鏡（上巻） | 小澤 彰著 | S60. 9. 15 二刷 | |
| 897 | 新釈吾妻鏡（下巻） | 小澤 彰著 | S60. 9. 15 二刷 | |
| 898 | 教育かながわ萬葉集 | 同書編集委員会編 | 1988. 1. 30 (S63) | |
| 899 | 浜教組三十年史 | 横浜市教職員組合編 | 1978. 12. 10 (S53) | |
| 900 | 神奈川師範学校・横浜国立大学学芸学部・同教育学部人物と系譜の野に遺賢あり | 高橋鉄哉編 | S62. 4. 10 | |
| 901 | アッカへき地の社会と教育- | 岩手県教育資料センター刊 | H3. 4. 25 | |
| 902 | 明日をひらく国 朝鮮 第三集 | 日本教職員会思想研究会訪朝代表団著 | 1982. 2. 16 (S57) | |
| 903 | 平和の礎 軍人軍属短期在職者が語り継ぐ労苦19 | 平和祈念事業特別基金編 | H21. 3. 13 | |
| 904 | むかしの話 小諸の民話 | 小諸児童文学の会編著 | S63. 7. 25 | |
| 905 | 道ぐさ人生 | 野崎正衛著 | 平成元. 10. 22 | |
| 906 | 図説インカ帝国 | フランク・ビース・増田義郎著 | 1988. 12. 1 (S63) | |
| 907 | 世界 特集「改憲論の本質を劈く」 | 安江良介編 | S56. 6. 1 | 第427号(1981年6月) |
| 908 | 屏風浦郷土誌 | 三浦 豊著 | S28. 2. 25 | |
| 909 | 神奈川の教育 戦後30年のあゆみ | 神奈川県教育委員会刊 | S54. 3. 31 | 教育委員会制度発足30周年記念誌 |
| 910 | 日本史年表 | 日本歴史大辞典編集委員会編 | S51. 5. 30 新装版 | |
| 911 | わたしの快老学 | 石垣綾子著 | S59. 5. 22 | |
| 912 | 孔子 | 井上 靖著 | 平成元. 10. 20 | |
| 913 | 十人十色、ひとり十色 | 長洲一二著 | 1989. 12. 25 (H1) | |
| 914 | 戦争責任 | 家永三郎著 | 1985. 9. 20 (S60) | |
| 915 | 運命を開く 人間学講話 | 安岡正篤著 | 1986. 12. 2 (S61) | |
| 916 | 謎の帝国インカ その栄光と崩壊 | 三輪晴啓訳 | 1988. 3. 30 (S63) | |
| 917 | 先見後顧 A | 堺屋太一著 | 1990. 4. 5 (H2) | |
| 918 | ナスカの地上絵 アンデスの鳥人伝説を追う | ジェームズ・グエバル著 | 1989. 5. 30 (H1) 三版 | |
| 919 | 神奈川の歴史（上巻） | 読売新聞社横浜支局編 | S45. 6. 25 四版 | |
| 920 | 神奈川の歴史（中巻） | 読売新聞社横浜支局編 | S42. 1. 15 三版 | |
| 921 | 神奈川の歴史（下巻） | 読売新聞社横浜支局編 | S42. 2. 10 二版 | |
| 922 | 神奈川の民俗 | 相模民俗学会編 | S43. 9. 30 | |
| 923 | 神奈川の伝説 | 読売新聞社横浜支局編 | S44. 3. 10 二版 | |
| 924 | 神奈川の百年（上巻） | 毎日新聞社横浜支局編 | S43. 12. 5 | |
| 925 | 神奈川の百年（下巻） | 毎日新聞社横浜支局編 | S43. 12. 15 | |
| 926 | 歴史と文学の古都 鎌倉 中巻 | 小澤 彰著 | S54. 10. 20 | |
| 927 | 歴史と文学の古都 鎌倉 下巻 | 小澤 彰著 | S55. 10. 10 | |
| 928 | 第四 燈燈無盡 十人十色、共に生きる | 長洲一二著 | H3. 8. 30 | |
| 929 | 第四 燈燈無盡 十人十色、共に生きる | 長洲一二著 | H3. 8. 30 | |
| 930 | 道元 坐禅ひとすじの沙門 | 今枝愛真著 | 平成2. 2. 10 31刷 | NHKブックス255 |
| 931 | 中国の旅 その四 | 彦由亀一著 | S58. 12. 1 | |
| 932 | 戦後日本の発見 20年の理想と現実 | 毎日新聞社学芸部編 | 1965. 8. 15 | 大和選書 8 |
| 933 | 第二の人生川柳と歩む | 浅田喜平次著 | S62. 9. | |
| 934 | スペイン ポルトガル自遊自在 | 中嶋隆一編 | 1990. 4. 1 (H2) | JTBのフリーダム 13 |
| 935 | 近代日本美術巨匠大観 日本画篇 | 高橋吉男編 | S35. 7. 8 | |
| 936 | 日本の城と歴史 | 手島選三郎編 | S34. 8. 10 | |
| 937 | 日本の洋画 | 高橋益信編 | S36. 4. 10 | |
| 938 | 市民グラフ ヨコハマ | 横浜市発行 | 1989. 6. 2 (H1) | 季刊。No. 68 |
| 939 | AMERICA THE LAND I LOVE | | | |
| 940 | 源氏物語和歌五十四帖 | 紫苑会発行 | | 日本橋三越本店画廊にて S52. 8. 23日-28日 |
| 941 | 神教弘 20周年記念誌 | 神奈川県教育公務員弘済会編 | S52. 2. 10 | |
| 942 | すぎのこ 第三回 | | 1972 | すぎのもり幼稚園卒園記念アルバム |
| 943 | すぎのこ 第四回 | | 1973 | すぎのもり幼稚園卒園記念アルバム |
| 944 | 日本の交通と物流-生活と産業を支える基盤- | 日本物流管理協議会監修 | S62. 1. 10 | |
| 945 | ВЫДАЮЩИЙСЯ МОНГОЛЬСКИЙ СКУЛЬПТОР Г. ДЗНАБАДЗАР | Н. ЦУЛТЭМ | 1982 (S57) | |
| 946 | 神教弘 25周年記念誌 | 神奈川県教育公務員弘済会編 | S58. 3. 1 | |
| 947 | 相中留恩記略 全 | 相中留恩記略刊行会編 | S42. 12. 15 | 福原高峰撰・長谷川雪堤画 |
| 948 | 相中留恩記略 全 校注編 | 相中留恩記略刊行会編 | S42. 12. 15 | 福原高峰撰・長谷川雪堤画 |
| 949 | 神奈川の写真誌 明治前期 | 金井 圓・石井光太郎編 | S45. 5. 10 | |
| 950 | 非核地域を神奈川で！-私達の運動の記録- | 非核パ'ン編集委員会編 | 1984. 10. 13 (S59) | |
| 951 | 戒老録-自らの救いのために- | 曾野綾子著 | S50. 11. 30 26版 | |
| 952 | 近代日本教育小史 | 国民教育研究所編 | 1977. 7. 31 (S52) 10刷 | |
| 953 | 日教組 20年の闘い | 望月宗明著 | S44. 3. 15 三版 | |
| 954 | 日本教育小史-近・現代- | 山住正己著 | 1987. 1. 20 (S62) | 岩波新書（黄版）363 |
| 955 | マヤ・インカ神話伝説集 | 松村武雄・大貫良夫編 | 1990. 5. 15 (H2) 14刷 | 現代教養文庫 1098 |
| 956 | 大韓民国ソウル | 韓国観光公社編 | | 1984. 12月現在の資料に基づいている |
| 957 | SHOPPING IN KOREA | Korea National Tourism Corp. | | 英語版 |
| 958 | 韓国美術傑作選 | | | 10枚入 |
| 959 | 象山先生櫻賦 全 | 山口勇雄編 | M36. 11. 8 | |
| 960 | 座右愛誦・自警叢書 | 牛窪弘善筆 | | 自筆 |
| 961 | 日本歴史摘要 | 牛窪弘善筆 | | 自筆。国史摘要・重要国事年代表・国史百年表・教育史年表西洋之部・妖怪随筆・和漢事物起原・地理摘要・西洋史抄書 |
| 962 | 書道叢書 | 牛窪弘善筆 | | 自筆 |
| 963 | 紺珠集 | 従吾楼住人著 | | 自筆。南畝野史著 |
| 964 | 小品文範 | | | 詞林第83・119・120・121・123・129号の切抜 |
| 965 | 漢字轉注の一斑 | 牛窪弘善筆 | M37. 立稿 | 自筆 |
| 966 | 要語彙解 | 牛窪弘善筆 | M31. 立稿 | 自筆 |

| | | | | |
|------|---------------------------------|----------|--------------|---|
| 967 | 理科摘要 | 牛窪弘善筆 | | 自筆。物理学摘要・小学理科新書抜粋・理科小学抄書・鉱物界抄書・各学校試問 |
| 968 | 漢文形容詞彙解 | 牛窪弘善筆 | M34. 8. 念1立稿 | 自筆 |
| 969 | 古図拾彙 | | | 印刷物の切抜 |
| 970 | 華押と印影 | | | 自筆。印影帖(從明治41年6月下旬) |
| 971 | 井上北洋手書 | | | 自筆 |
| 972 | 幼時の教科書 | 牛窪齊賢筆 | | 自筆 |
| 973 | 修身摘要・教育摘要・記憶術 | 牛窪弘善筆 | | 自筆。修身科摘要(明治35年4月)・教育摘要・記憶術(壬寅2月)・教員試問 |
| 974 | 東洋古今国名考・古代印度史資料 | 牛窪弘善筆 | | 自筆 |
| 975 | 抄録簿(文藻粹金) | 十善居士編 | M36. 12. 起 | 自筆 |
| 976 | 国語及漢文 | 牛窪弘善筆 | | 自筆。国語科摘要・廣日本文典抄書(M32. 秋8月)・邦語と梵語・仮名の研究・暹羅金剛筆いろは歌・漢文摘要・易学(M34. 11月)・漢文講読法(M36. 12月)・論語抄録(自M38. 3月)・漢文科摘要(M31. 5月起)・高島易断抄書(M32. 1月) |
| 977 | 書譜 | 牛窪弘善筆 | S16. 7. 臨 | 自筆 |
| 978 | 相武郷土史資料 | | | 鎌倉長谷観世音略縁起(長谷寺蔵版)・泉大僧正御揮毫頒布趣旨(T9. 1月)・秘仏薬師如来開扉施入帳・相模国高座郡有馬村の史蹟と社寺・江嶋神社略記・他に自筆原稿など |
| 979 | 色彩研究 | 牛窪弘善筆 | M43. 立稿 | 自筆 |
| 980 | 文藻用字格 | 牛窪弘善増補 | M31. 立稿 | 自筆 |
| 981 | 草字口 | 牛窪弘善筆 | S8. 9. 22写 | 自筆 |
| 982 | 千字文填鈎 | 廣橋中軒先生書 | | 自筆 |
| 983 | 全日本青年代表満州視察団関係スクラップ帳 | | | |
| 984 | 印度古代国名考 附支那国名考 | 牛窪弘善筆 | | 自筆 |
| 985 | 仏教科学資料 | 牛窪弘善筆 | | 自筆。仏教算術・仏教博物学(M33. 9. 起稿)・七寶考(庚子11. 8日立稿)・佛説衛生篇・天竺古案考・本邦雅楽 |
| 986 | 耳食耳語 | 牛窪弘善筆 | M42. 5. 抄録 | 自筆 |
| 987 | 幼時の写本(上巻) | 牛窪弘善筆 | | 自筆。三陀羅尼(M20. 12. 28日書写)・大學(M25.) |
| 988 | 印度古代地誌 | 牛窪弘善筆 | | 自筆。附 1. 支那及び西域諸国 2. 印度と希臘(ギリ)及び羅馬(ローマ) |
| 989 | 漢文必携 | | | 自筆。表紙裏に「牛窪光子」。牛窪光子の作文の裏紙利用 |
| 990 | 公文書往復綴 | | M43. 11. 以降 | |
| 991 | 経と子と | 牛窪弘善筆 | | 自筆。儒教管見(M44. 6. 11日)・経と子(M45. 6. 以降) |
| 992 | 表題なし(海国兵談13巻-16巻) | 智寂写 | 弘化4. 丁未5. | 自筆。写本。林 子平述 |
| 993 | 書き方の参考 臨書篇 | 牛窪弘善筆 | | 自筆。新聞切り抜きほか有 |
| 994 | 皇室用語 | 牛窪弘善筆 | | 自筆 |
| 995 | 略画帖(塗版画帖) | 牛窪弘善筆 | T10. 4. 写 | 自筆 |
| 996 | 事實文編 | 五弓久文編 | | 印刷物の切抜。 |
| 997 | 隷書 | | | 自筆と印刷物の切抜 |
| 998 | 公表蕪稿 | 牛窪弘善筆 | | 自筆原稿の綴り |
| 999 | 養生集 | 十善居士 | M33 季 2. | 自筆 |
| 1000 | 郡勢調査簿(M42. 12. 1日調) | | | 調査区域=大工町、大工町調査委員 窪弘善 |
| 1001 | 古文軌範 | | | 「太陽」文苑の切り抜き綴り |
| 1002 | 碑帖断箋 | 行餘學文堂主人筆 | M42. 9. 写 | 自筆と印刷物の切抜 |
| 1003 | 天工開物 | 明 宋 應星著 | 明和8辛卯. 2. | 版本。巻下の一部。「葵園田中先生手澤之書題箋即先生自署也」朱書有 |
| 1004 | 摧邪棒喝 | 破邪窟主人編 | T6. 4. 9以降 | 新聞切り抜き・書翰・自筆原稿の綴り |
| 1005 | 師友の寄書 | 牛窪弘善輯 | | 萩野由之ほかの書翰綴り |
| 1006 | 破顔為文帖 | | | 自筆。交友者寄せ書き帳 |
| 1007 | 日本国の祖先と法華経 | 清水梁山 | | 印刷物の切り抜き |
| 1008 | 随読随抄 | 獅子吼道人編 | | 詩歌の印刷物切り抜き |
| 1009 | 浮囊録 | | | 自筆。メモ帳 |
| 1010 | 俊乗坊重源上人像 | | | 版画1枚 |
| 1011 | 帯類一瞥 | 牛窪弘善輯 | | |
| 1012 | 日本外史論文講義断簡 | 黒木安雄ほか | | 印刷物の断簡と自筆の抄録(牛窪弘善・M31年2月上旬) |
| 1013 | 遺録録 | | | 原稿用紙帳に書き |
| 1014 | 表題なし | | | 管公吉千年祭記念肖像ほか書画綴り |
| 1015 | 若拙翁雜記 下 | | | 続日本後紀抄録ほか |
| 1016 | 書法雜抄 | 牛窪弘善輯 | | 自筆。市販ノドに於 |
| 1017 | 表題なし | | | 自筆。市販ノドに於。数理地学・自然地理学など |
| 1018 | 表題なし(日本地図写本) | | | 「延宝6年戊午年ニ行」貼紙有 |
| 1019 | 手紙の書き方 | 行餘精舎主人筆 | | |
| 1020 | 幼時の写本(中巻) | 牛窪弘善筆 | | 諸真言・佛頂尊勝陀羅尼ほか |
| 1021 | 幼時の写本(下巻) | 牛窪弘善筆 | | 佐渡國村々・国名盡ほか |
| 1022 | 少年叢書 | | | 自筆。修身科・歴史科ほか |
| 1023 | 地理の暗誦 | 行餘學人筆 | 丙午3. | 自筆 |
| 1024 | 教育史摘要 下巻 | 行餘齋主人筆 | M36. 12. 中旬起 | 自筆 |
| 1025 | 理化摘要 | 行餘齋主筆 | 自乙巳3. | 自筆。物理摘要(自乙巳3月)・化学摘要(乙巳1月初8起)・物理抄・理化示教摘要(辛丑6月於河原田寓居) |
| 1026 | 攝生集 | 牛窪弘善筆 | M30. 冬 12. | 自筆 |
| 1027 | 年代皇記 | 我即齊賢筆 | | 自筆。「新穂倭年代皇記」抜書 |
| 1028 | 表題なし | | | 自筆。抜き書き帖。 |
| 1029 | 小品文・復文草稿合本 | 牛窪弘善輯 | | 自筆 |
| 1030 | 發句切字 | | | 自筆。「發句切字之事」 |
| 1031 | 算盤稽古帳 | 牛窪弘善筆 | M33. 1. 上旬起之 | 自筆 |
| 1032 | 読書雜記 | 十善堂主人 | 自 M31. | 自筆 |
| 1033 | 博物学筆記 | 行餘學文孤児録す | M38. 8. | 自筆。講師 安田信吉教諭 |
| 1034 | 理科筆記 | 牛窪弘善筆 | | 自筆 |
| 1035 | 鉱物学摘要 | 行餘學文居士 | 自乙巳3. | 自筆 |
| 1036 | 教育学摘要・各科教授法摘要・教授法摘要・管理法摘要・心理学摘要 | 行餘齋主筆 | | 自筆。教育学摘要(37. 4月起)・各科教授法摘要(M35. 5月)・教授法摘要(癸卯12月起)・管理法摘録(M37. 4月起)・心理学摘要(甲辰5月草創) |

| | | | | |
|------|----------------------|--------------|----------------|--|
| 1037 | 表題なし | | | 自筆。便秘、卒中 |
| 1038 | 雑占 | 牛窪弘善抄 | | 自筆 |
| 1039 | 雑録 | | | 自筆。日蝕・月蝕など |
| 1040 | 行書類纂 卷二 | | | 自筆。浩然文庫 |
| 1041 | 雑録(読書漫録) | 行餘學文孤兒 | | 自筆。M26年以降 |
| 1042 | 健闘録 | 獨尊居士 | M40. | 自筆 |
| 1043 | 表紙なし | | | 自筆。日記など |
| 1044 | 列子一家言 | 牛窪 宏評註 | T7. 12. | 自筆 |
| 1045 | 書法 | 無染子 | 庚戌 4. | 自筆 [㊦] |
| 1046 | 表紙なし | | | 自筆。「児童挨拶語」など |
| 1047 | 雑録 | 牛窪 | | 自筆 |
| 1048 | 俳諧發句美濃廬元師與儀 | 法教院齊賢 | | 自筆 |
| 1049 | 表紙なし | 十善堂主人 | M35. 11. 草創 | 自筆。短歌 |
| 1050 | 無染室詩集 | | | 自筆 |
| 1051 | 授業必携 | 牛窪弘善筆 | | ノトに自筆抜粋 |
| 1052 | 類纂論語 附録大學表解 | 行餘學文孤兒 窪弘善識 | | 自筆。「傍註国史写本序」罫紙1枚入 |
| 1053 | 心理学 | 後藤嘉之・美島近一郎共著 | M38. 4. 28 | 自筆 [㊦] 有 |
| 1054 | 表紙なし | | | 自筆。足尾鉅業所ノトに選鈔その他 [㊦] |
| 1055 | 表紙なし | | | 自筆。足尾鉅業所ノトに修験関係その他 [㊦] |
| 1056 | 表紙なし | | | 自筆。ノトに鉛筆で各種の [㊦] |
| 1057 | 詩學便覽 | 無染孤兒 | 庚戌 11. 綴 | 印刷物の切り抜きと自筆 [㊦] |
| 1058 | 歴史抄書 丁 | 行餘學人筆 | 丙午 5. 17 起 | 自筆 |
| 1059 | 日本政治風俗考 | 牛窪子 | | 自筆 |
| 1060 | 抄録簿 | 牛窪弘善筆 | | 自筆。市販の手帳 |
| 1061 | 健全法摺拾 | 獨尊孤兒輯 | M41. 1. 綴 | 自筆 |
| 1062 | 帝国新地理摘要 | 読書三味庵主人 | | 自筆 |
| 1063 | 寶ぶね | 蓮華寶印述 | | 扇谷藤子・小池綾子記。表紙欠 |
| 1064 | 佛教叢書 | 牛窪弘善著 | | 「亥年に因みて摩利支天を」・「大黒天」・「楽山荘の二日間」・「弘法大師と書道」。掲載文の切り抜き綴り |
| 1065 | 葬祭紀要 | 牛窪弘善輯 | | 自筆 |
| 1066 | 蕪稿 乞馬於台陽先生是正 | 牛窪弘善筆 | | 自筆 |
| 1067 | 尋正答按綴 | 行餘學人 | | 「尋正答按綴」「尋准答按綴」合綴 |
| 1068 | 雑記帖 | | | 自筆。刑事訴訟法その他の [㊦] |
| 1069 | 手写せね萬國圖 | | | 自筆。市販大判ノト使用 |
| 1070 | 筆の跡 | | | 牛窪弘善書の教育資料・賞状・感謝状など |
| 1071 | 作詩必携 上 | | | 自筆。「牛窪図書」「三餘精舎」印有 |
| 1072 | 作詩必携 中 | | | 自筆。「牛窪図書」「三餘精舎」印有 |
| 1073 | 作詩必携 下 | | | 自筆。「牛窪図書」「三餘精舎」印有 |
| 1074 | 習字科摘要 | | | 自筆。市販の手帳 |
| 1075 | 代紳帖(動物) 動物摘要 坤 | 牛窪生 | 自乙巳 2. | 自筆 |
| 1076 | 教科摘要 | 牛窪弘善 | M35. 5. 創草 | 自筆 |
| 1077 | 鉅物理学教程 全 | 行餘精舎図書 | | 自筆。「神保小虎著鉅物理学教程全」「鉅物理学摘要(M37. 8月綴)」合綴 |
| 1078 | 普通物理学 | 牛窪図書 | | 自筆。「普通物理学摘要(M37. 8. 18日起筆)」 |
| 1079 | 修身科摘要 | 金剛三摩地庵主人 | M37. 甲辰春 3. | 自筆 |
| 1080 | 表紙なし(代紳帖) | 十善居主人 | 自甲辰 8. | 自筆。弘善の雅号・園名・室名など |
| 1081 | 鳴鶴千文 全 | 牛窪弘善識 | T12. 10. 17 | 自筆 |
| 1082 | 表紙なし | | | 自筆。市販の日記帳に各種 [㊦] 書 |
| 1083 | 文典摘要・類似考・国語摘解・草書研究ほか | | | 自筆。市販の手帳 |
| 1084 | 草訣百韻歌・作文・手工・日本文法摘要ほか | | | 自筆。市販の手帳 |
| 1085 | 図書目録 自編書目・経書借讀簿 | 十善堂主人 | 庚子 7. 現在 | 自筆 |
| 1086 | 文章・書画落款式 | | | 自筆 |
| 1087 | 新撰普通地理 日本之部 | 十善堂主人 | | 自筆。市販のノト |
| 1088 | 外国地理科摘要 乙 | 超過三界庵主人 | M37. 8. 下澁 | 自筆 |
| 1089 | 地理科摘要 丙 外国の部 | | | 自筆。市販のノト |
| 1090 | 印章と手蹟 | | | 萩野由之寄贈資料 |
| 1091 | 藝圃必携 | | | 自筆。「世界十聖」「抄録簿(自M32. 9月)」「座右銘(M33季2月)」合綴 |
| 1092 | 理科摘要 | 牛窪弘善輯 | | 自筆 |
| 1093 | 牛窪金溪間見録 | | | 作物傳・金山寺味噌作方法ほか |
| 1094 | 書道雜記 | 牛窪弘善集 | | 自筆。「六書八体文録(M26年頃)」「書法雜録(M 巳亥秋 7月)」合綴 |
| 1095 | 「佐渡霊場」刊行収支簿 | | | |
| 1096 | 鉅物標本収支簿 附石類売買 | 十聖堂 | 自 43. 8. | |
| 1097 | 日本歴史摘要 乙 | 牛窪 弘編纂 | | 自筆。市販のノト |
| 1098 | 草字須知 | | S15. 8. 15 卒業 | 自筆 |
| 1099 | 織物譜 | | | 自筆 |
| 1100 | 書取帖 | 牛窪氏 | T10 季 | 自筆 |
| 1101 | 名論卓説 | 牛窪図書 | | 自筆。市販の手帳 |
| 1102 | 草葉 | 牛窪図書 | | 自筆 |
| 1103 | 教育史摘要 | | M37. 5. 草創 | 自筆。「教育史抄書中巻(37. 2月草創)」「教育小辞典(甲辰 5月中旬草創)」合綴 |
| 1104 | 落款法 | | | 自筆 |
| 1105 | 人名簿 | | | 市販の手帳 |
| 1106 | 代紳帖 | 牛窪弘善輯 | | 自筆。T3. 4月以降教科摘要同季 6月受験合格 |
| 1107 | 功過格・勉學法・修養論・修養法ほか | 窪 弘善 | 自 M42. 10. 念 3 | 自筆。市販の手帳 |
| 1108 | 菜根譚通解 | 牛窪弘善抄 | | 自筆。市販の手帳 |
| 1109 | 表題なし | | | 自筆。辞について |
| 1110 | 心理学摘要 教科暗記試験 | 牛窪生 | 甲辰 5. 中澁 | 自筆 |
| 1111 | 昭和 7 年掌中曆 | | | 阿久和日記附録金銭出納簿 |
| 1112 | 1933 Pocket Diary | 牛窪弘善著 | S8. | 自筆。市販の日記帳。阿久和日乗附録(出納帳) |

| | | | | |
|------|--------------------------------|------------|-----------------------|---|
| 1113 | 代紳録 | 牛窪弘善輯 | | 自筆。市販の手帳 |
| 1114 | 珠算摘要 | | 41. 3. 15 調製 | 自筆。市販の手帳 |
| 1115 | 歴史科摘要 丙 | 牛窪生 | | 自筆 |
| 1116 | 教授必携 上巻 | 牛窪弘善 | M36. 10. 上旬草 | 自筆。市販の手帳 |
| 1117 | 教授必携 (下巻) | 牛窪弘善 | 癸卯 10 月製 (癸卯 10 月中旬草) | 市販の手帳。自筆 |
| 1118 | 手工帖 | 牛窪 隴 | T6. 9. 起 | 切り紙 |
| 1119 | 誰にも出来る博物の採集の仕方と標本の作り方 | 石原延俊編 | S11. 6. 30 | |
| 1120 | 日支小話 | 獅子吼紳堂輯 | | 自筆 |
| 1121 | 吾家の歴代 | 9 世牛窪弘善録 | S15. 12. 脱稿 | 自筆 |
| 1122 | 牛窪弘善閑歴 (余ガ閑歴 一名孤児の懺悔録) | 十善堂主牛窪弘善 | | 自筆 |
| 1123 | 表紙なし | | | 筆写。「臨口闘者皆陳烈在新勝用字」ほか |
| 1124 | おろかいひ 第一集 | | | 石版刷り |
| 1125 | 詩歌篇 | | | 雑誌「新進歌人」に掲載された牛窪弘善の部分のみの抜綴 |
| 1126 | 続濱ながし 寄稿摺拾 | 牛窪弘善輯 | | 市販ノドに新聞切り抜きスナップ |
| 1127 | 表題なし | | | 自筆。各種の抄録 |
| 1128 | 読書雑録 | | | 自筆と各種の印刷物綴り |
| 1129 | ALBUM OF KHAJURAHO | | | 写真集 |
| 1130 | 御嶽神社寶物業書 | 御嶽神社社務所発行 | | 7 枚入 |
| 1131 | 北海要港小樽全景 | | | 2 枚連刷 2 枚入 |
| 1132 | 軍隊生活第四集 戦闘号 | | | 絵はがき 10 枚・書き損じの物 6 枚入 |
| 1133 | 秀麗の富士 | 岡田紅陽撮影 | | かゝ絵葉書 5 枚・普通葉書 1 枚入 |
| 1134 | 満鐵エハガキ 第 2 輯 1936 年版 | | | 6 枚入。 |
| 1135 | 王道楽土大満州風俗 | | | 8 枚入 |
| 1136 | 施政三十年紀念 | 関東局 | | 4 枚入 |
| 1137 | 明朗快適典型的國際都市ハルピン十六景 | | | 18 枚入 |
| 1138 | 無染草堂文稿 | 牛窪弘善著 | | 自筆。永宮寺松堂年譜・雲益院僧正小傳・休應僧正年譜略・自傳・滄洲先生小傳・王父椿榮翁年譜・先考金溪道士年譜ほか |
| 1139 | 公表蕪稿 | 牛窪弘善著 | | 各種公表された文の切り抜きなど |
| 1140 | 清津の風光 | 清津観光協会 | | 6 枚入。朝陽川全景 2 枚付 |
| 1141 | 金州名勝絵葉書 | | | 10 枚入 |
| 1142 | 海から湯が沸く皆生温泉 山陰線米子市 | | | 1 枚入 |
| 1143 | 貨幣考 | 牛窪弘善 | | 自筆・新聞切り抜き・写真など。「貨幣考」袋入 |
| 1144 | 内外古切手販売品目録 | 柴田商会 | | M39. 7. 2 日着 |
| 1145 | 本邦現存古泉目録 | 成島柳北編 | M14. 辛巳 1. | 花月新誌号外 |
| 1146 | 古銭考 | | M40. 8. 12 | 筆写 |
| 1147 | 古銭考 | 行餘精舎 | 癸卯 3 月綴 | 筆写 |
| 1148 | 舊古穴銭相場大観 | 在原 知編 | S9. 11. 20 | |
| 1149 | 「二千元する古銭」(佐渡新聞・T5. 2 月 23 日)ほか | | | 貨幣に関する半分切り抜き 3 枚 |
| 1150 | 写真 1 枚 | | | 大阪府泉北郡浜寺町御津郊外学舎ノ正門 |
| 1151 | ストックブック | | | 外国切手 |
| 1152 | 郵票彙集 | | | 切手・印紙など |
| 1153 | Postal Card' s Album | | | |
| 1154 | 絵葉書帖 | | | |
| 1155 | 昇入營饒別控 | | S19. 4. 1 | 横帳 |
| 1156 | 香奠帳 | | S17. 2. | 淑徳院直心妙道大姉位 (S17. 2. 20) |
| 1157 | 大東京中央明細図 | 森田義春著 | S16. 訂正版 | 1/33000。市街と停留場及行程付 |
| 1158 | 京都・近江 | 奈良交通観光バス | | 観光パンフレット |
| 1159 | 習志野演習場 | 大日本帝国陸地測量部 | S4. 12. 28 | 1/10000 |
| 1160 | 下志津原演習場 | 大日本帝国陸地測量部 | S2. 3. 30 | 1/10000 |
| 1161 | 東京西部近郊図 | 大日本帝国陸地測量部 | S3. 2. 28 | 1/25000 |
| 1162 | 山形 | 大日本帝国陸地測量部 | S9. 1. 30 | 1/50000 |
| 1163 | 龍ヶ崎 | 大日本帝国陸地測量部 | S7. 4. 30 | 1/50000 |
| 1164 | 骸骨絵葉書 | | | 3 枚 |
| 1165 | 清風明月帖 | 四明学人題 | | 折本 |
| 1166 | 五箇條之御誓文 | | | T14. 8. 5 日東京朝日新聞附録の封筒のみ |
| 1167 | アメリカ民主主義との初対面 | 牛窪全浄編著 | 1987. 8. 15 (S62) | |
| 1168 | 東京日々新聞 第 313 号 | | M6. 3. 12 | 三井商事封筒入 |
| 1169 | 折紙入 | | | |
| 1170 | 善光寺絵葉書 | | | 数種有。8 枚 |
| 1171 | 法隆寺壁画 五 | 大和國法隆寺発行 | | 9 枚入 |
| 1172 | 北満ノ都ハルピン 十六景 | | | 11 枚。他種 2 枚入 |
| 1173 | 安芸宮島 | | | 6 枚入 |
| 1174 | 各種絵葉書 | | | 10 枚 |
| 1175 | 芳名録 | | T10. 5. 24 | 横帳 |
| 1176 | 悲母長逝記・釈妙識大姉受納簿 | | T5. 12. 14 長逝 | 横帳 |
| 1177 | 老母ノ見舞物・弘善長女野菜香奠控・齊賢いろ香典野菜簿 | | | 横帳。M43. 9 月中・M40. 4. 25・M21. 12. 12 |
| 1178 | 無染道士弔問者名簿 | | S17. 8. 5 | |
| 1179 | 無染道士香典控 | | | |
| 1180 | 無染道士葬儀支出簿 | | S17. 8. 5 | |
| 1181 | 點畫書法 | | | 自筆 |
| 1182 | 表題なし | 牛窪弘善 | | 自筆。添削作品綴り |
| 1183 | 法帖各種見本 | | | |
| 1184 | 名称不明 | | | 自筆。紋章に無染房弘善 |
| 1185 | 和文 (古今集・土佐日記・文章論) | | | 出版物の切り抜き |
| 1186 | 御依頼状 | 名著出版 | S52. 8. 3 | 山岳宗教史研究叢書へ故牛窪弘善論文の掲載依頼 |
| 1187 | 戦陣俳歌選 随讀随抄 | 獅子吼道人 | | 出版物切り抜きのコピー集 |
| 1188 | 戦陣俳歌選 随讀随抄 | 獅子吼道人 | | 出版物切り抜きのコピー集 |

| | | | | |
|------|--------------------------|------------|---------------|---|
| 1189 | 戦陣俳歌選 | 獅子吼道人 | | 出版物切り抜き「随讀随抄」のコピー集 |
| 1190 | 読売新聞 | | S5. 12. 6号 | 文芸欄に青野季吉「文戦」の事件に関する諸家の批判(下)、宗教欄に宇井伯壽「成道の一意味(上)」 |
| 1191 | キッコーマン醤油 | | | 1枚入 |
| 1192 | 紀州地図(袋入) | | | 紀州航路案内・紀州白浜温泉絵図・高野山御参拝の葉・天下之靈場高野山・天下霊場高野山 |
| 1193 | 奈良 | | | 18枚入 |
| 1194 | 鎌倉史蹟 新十景 | | | 8枚入 |
| 1195 | 近江八景 | | | 6枚入 |
| 1196 | 京都の印象 | | | 8枚入 |
| 1197 | 十善堂文稿自序 | | | 自筆原稿 |
| 1198 | 鶴岡八幡宮絵葉書 | | | 4枚入。境内略図入 |
| 1199 | 足尾鉷業所分析繪はがき | | | 6枚入 |
| 1200 | 高山植物 富士山 | | | 7枚入 |
| 1201 | 繪はがき | 官弊大社諏訪神社 | | 8枚入 |
| 1202 | 有馬村付近図 藤沢 | 大日本帝國陸地測量部 | S5. 10. 30 | 1/50000 |
| 1203 | 山田枕流抄録簿 | | | 筆写。相川の人。名一徳。M13. 10. 5日病没。享. 39。 |
| 1204 | 執筆捺印法 | | | 筆写。佐渡永宮寺松堂の写本。瑛堂は松堂の門弟。 |
| 1205 | 耕南往来 | | | 自筆。廣田民雄書翰綴り。 |
| 1206 | 新聞切り抜き綴 | | | 「佐渡先哲小傳」「佐渡義民事略」「佐渡碑文集(一)」「百人百いろ」。佐渡日報・佐渡新聞の切り抜き |
| 1207 | 現存歌選 二編 上 | 海野遊翁大人撰 | 天保9戊戌。初秋 | 江戸書林刻。佐渡関係作者有。 |
| 1208 | 現存歌選 二編 下 | 海野遊翁大人撰 | 天保9戊戌。初秋 | 江戸書林刻。佐渡関係作者有。 |
| 1209 | 錦海 | 永宮寺松堂筆 | | 自筆。女子供の習字の手本 |
| 1210 | 阿志仮名篇 | 北見露月著 | 天保5甲午冬至 | 版本 |
| 1211 | 浪華日記 | 牛窪弘善抄 | | 筆写。安永9. 5月川上文和恒(喚我)日記の抄録 |
| 1212 | 蕉窓日記 | 丸岡南陔著 | 天保14. 8. -11. | 自筆 |
| 1213 | 竹過舎歌集 | | M31. 1. 13記録 | 筆写 |
| 1214 | いか栗・永言集・ひとつところ集・上杉景勝佐渡軍記 | | | 「佐渡史林」合綴。 |
| 1215 | 大學一家私言 附聞見雑抄 | 田中葵園先生筆録 | | 自筆 |
| 1216 | 佐渡の修教館 | 牛窪弘善筆 | | 原稿 |
| 1217 | 南陔先生拔草帖 | | | 筆写。「丸岡南〇抄録帖」「南畝先生抄録帖」 |
| 1218 | 一歳雑話集 | 西鳥筆 | 文久2戊。如月 | 自筆 |
| 1219 | 萩野博士手簡 甲集 | | | 萩野由之→牛窪弘善宛書翰綴り |
| 1220 | 萩野博士の佐渡に関する編述と予の助成 乙集 | | | 萩野由之に関する書翰・原稿・新聞切り抜きなど |
| 1221 | 百川治兵衛 | 牛窪弘善集 | | 謄写 |
| 1222 | 植田左兵衛翁 | | | 自筆と経歴書 |
| 1223 | 表題なし | | | 佐渡新聞掲載「彈誓上人と佐渡(牛窪弘善著)」・「佐渡句選(牛窪弘善初稿)」の切り抜きスナップ |
| 1224 | 佐渡金石一斑 | 十聖堂主編 | | 松田與吉「佐渡鉷物採集便覧(T2. 8. 16日)」ほか |
| 1225 | 佐渡雑誌 | 行餘學人集 | | 佐渡関係の新聞切り抜き綴り |
| 1226 | 辻 守遊手蹟 | | | 自筆 |
| 1227 | 日蓮と佐渡 | 牛窪弘善 | | 自筆原稿など |
| 1228 | 越左に於ける日蓮聖人 | 牛窪弘善編 | | 自筆原稿 |
| 1229 | 佐渡郡小學校修身科参考書 | 佐渡教育会編 | M37. 4. 28 | |
| 1230 | 佐渡流寓諸家傳資料 | 牛窪弘善輯並書 | | 自筆・「弘毅齋佐渡幕末奇事及小傳(T5. 9月)・新聞記事の切り抜きなど |
| 1231 | 相川縣治一覽表 | | M6. 調査 | |
| 1232 | 大正6年新潟縣佐渡郡勢一覽 | 新潟縣佐渡郡役所 | T6. 6. | |
| 1233 | 佐渡遊覧案内 | 羽田清次編 | M43. 10. 20 | 一部欠頁有? |
| 1234 | 佐渡案内 | 佐渡水産組合編 | T2. 2. 13 | |
| 1235 | 新寺泊案内 | 寺泊實業協会編 | T6. 7. 24 | |
| 1236 | 御檢地御用日々記 | | 壬申元旦 | 謄写。中山徳太郎がお年玉として配布したもの |
| 1237 | 野調 | 山田穀城著 | M36. 3. 1 | 和歌集 |
| 1238 | 佐渡案内 | 佐渡水産組合編 | M41. 11. 3 | |
| 1239 | 在京佐渡人名録 附郡勢一斑、佐渡遊覧案内 | 川上多吉編 | S4. 6. 10 | |
| 1240 | ひとつづてな | 島倉龍治 | T14. 4. 12 | 妻嘉代の追悼歌集 |
| 1241 | 巖谷小波氏 越佐紀行 附講演、御伽噺 | 林 静治編 | T5. 11. 22 | 積善講話集第十輯 |
| 1242 | 佐渡雑誌 | | | 「木食堂縁起(S9. 5. 15日施本)・「入船地藏尊由来」・「めぼえ(T14. 1. 1日第4巻第1号)」・「竹林自然枯之警告(T元. 12. 川上賢吉)」・「あふひ草(T4. 12. 5日、津山法詔)」・「佐渡斯民(M45. 7. 28日、新潟縣佐渡郡)」合綴 |
| 1243 | 佐渡叢書 | | | 「佐渡史苑第4号(S4. 2月)欠頁有・第5号(S5. 2月)」・「第三回考古展覧会出品目録(S3. 9月)」・「史學雜誌第35編第3号(T13. 3月)」・「佐渡牛(ひだびと第7. 第8号<S14. 8月>抜刷)」・「佐渡研究第一輯(S8. 8月)」・「佐渡第3巻1月号(S10. 1月)・第3巻4月(S10. 4月)・第3巻5月(S10. 5月)」・「越後佐渡第1巻第2号(S7. 4月)」合綴 |
| 1244 | 塚原誌 | 富田海音著 | T2. 5. 25 | |
| 1245 | 佐渡讀史評論 第一巻 | 藤井千代雄編 | T10. 11. 1 | 合綴 |
| 1246 | 佐渡讀史評論 中巻 | 藤井千代雄編 | T12. 3. 10 | 合綴 |
| 1247 | 佐渡讀史評論 下巻 | 藤井千代雄編 | T13. 12. 28 | 合綴 |
| 1248 | 両津町誌稿 | 羽田清次著 | T7. 7. 10 | |
| 1249 | 實験佐渡烏賊釣法 | 長島松平著 | M43. 6. 30 | |
| 1250 | 實地經驗應用自在重要竹林經營法 全 | 川上賢吉著 | S3. 11. 28 | |
| 1251 | まんげん(漫言) | 森 知幾著 | T14. 5. 4 | |
| 1252 | 佐渡の風景 | 十聖堂図書 | | 出版物から写真のみを抜き出したものの綴り |
| 1253 | 四書傍註 論語 | 本間快浄註 | | |
| 1254 | 四書傍註 大學・中庸 | 本間快浄註 | | |
| 1255 | 四書傍註 孟子 下 | 本間快浄註 | M33. 3. | |
| 1256 | 四書傍註 孟子 下 | 本間快浄註 | M33. 3. | |

| | | | | |
|------|----------------------|--------------|-----------------|---|
| 1257 | 佐渡史苑 | | | 第1輯(59-62欠頁)・第2号・第3号(1-4欠頁)・第6号・第7号(雑11-15欠頁) |
| 1258 | 南陔遺稿 上巻 | 丸岡成章著 | M35. 5. 10 | 全三冊 |
| 1259 | 南陔遺稿 中巻 | 丸岡成章著 | M35. 5. 10 | 全三冊 |
| 1260 | 南陔遺稿 下巻 | 丸岡成章著 | M35. 5. 10 | 全三冊 |
| 1261 | 佐渡人名辞書 全 | 本間周敬著 | T4. 3. 15 | |
| 1262 | 佐渡志 仁之巻 | 田中従太郎著 | M18. 3. | 全五冊 |
| 1263 | 佐渡志 義之巻 | 田中従太郎著 | M18. 3. | 全五冊 |
| 1264 | 佐渡志 禮之巻 | 田中従太郎著 | M19. 4. | 全五冊 |
| 1265 | 佐渡志 智之巻 | 田中従太郎著 | M22. 10. 25 | 全五冊 |
| 1266 | 佐渡志 信之巻 | 田中従太郎著 | M22. 10. 25 | 全五冊 |
| 1267 | 金洲詩鈔 上 | 今井恵太郎著 | T4. 7. 15 | 全二冊 |
| 1268 | 金洲詩鈔 下 | 今井恵太郎著 | T4. 7. 15 | 全二冊 |
| 1269 | 溟北文彙 巻一 | 圓山 葆著 | M22. 8. 20 | 全三冊。綴じ糸切れ |
| 1270 | 溟北文彙 巻二 | 圓山 葆著 | M22. 8. 20 | 全三冊 |
| 1271 | 溟北文彙 巻三 | 圓山 葆著 | M22. 8. 20 | 全三冊 |
| 1272 | 培翁日録 上 | 蔵田培翁著 | 天保 10. | 蔵田太中。写本 |
| 1273 | 培翁日録 下 | 蔵田培翁著 | 天保 10. | 蔵田太中。写本 |
| 1274 | 中原雅人録 | 金刺保亨著 | M33. 4. | 写本 |
| 1275 | 壽言集 合本 | | | 「千代のたかむら(鈴木重嶺七十壽言)」・「華甲壽言集(三国久敬夫妻還曆<M30. 10. 10日、三国豊吉編)」・「賀筵歌集(三国秀雄四十賀<M28. 8. 20日、三国秀雄編)」 |
| 1276 | 佐渡天保文藝集 | 佐渡史林雑誌社編 | M30. 10. | |
| 1277 | 附注佐渡奇談 | 田中葵園著・萩野由之附注 | | |
| 1278 | 大拙詩稿 | 島倉龍治著 | S7. 12. 28 | |
| 1279 | 郷土誌料綜合目録 | 明治記念新潟県立図書館 | S4. 8. | |
| 1280 | 佐渡先哲帖 | | | 折本。小品・色紙・短冊などの張り込み |
| 1281 | 佐渡先哲遺墨 | | | 折本。小品・色紙・短冊などの張り込み |
| 1282 | 御用状 十二通 | | | 御用状原本綴り |
| 1283 | 小木港・日蓮と越後 | | | 「小木港(S5. 7. 5日、小木町役場)」・「日蓮と越後(新聞切り抜き)」 |
| 1284 | 六諭衍義大意 附かへりみ草 | | | 島内最初の印刷物? |
| 1285 | 小著雑纂 | 牛窪弘善著 | | 「佐渡の診(S7. 6. 9日)」・「仮名諸体(S8.)」・「書き方教授細目」などの綴り |
| 1286 | 佐渡相川誌 上 | | | 筆写 |
| 1287 | 佐渡相川町常学院系図 附記録秘要 | | | 自筆 |
| 1288 | 佐渡先賢詠集・佐渡句選 合本 | | | |
| 1289 | 佐渡名所 完 | 海翁源 義恭著 | 天保 9. 6. | 筆写 |
| 1290 | 佐渡重要記事 | 牛窪弘善筆 | T3. 7. 17 欄筆 | 筆写。岩木枰陵編纂同書の抄録 |
| 1291 | 佐渡人物志拾遺 | | | 新聞切り抜きと自筆資料綴り |
| 1292 | 萩野博士惠贈書類 | | | 自筆資料綴り |
| 1293 | 狭門雑録 | 牛窪氏図書 | | 順徳天皇関係・佐渡自慢など |
| 1294 | 佐渡霊場に関する來翰綴 | 十聖堂主人 | T元. 8. 以降 | |
| 1295 | 「一本を献じ謝し奉る。……」 | | | 自筆。佐渡人名辞書に関連 |
| 1296 | 佐渡九社神 | 寶珠院快養筆 | 宝永 5. 弥生中旬 | 自筆 |
| 1297 | 山田沈(枕)流日記断簡 | | | 自筆 |
| 1298 | 佐渡國相川総鎮守郷社善知鳥神社明細帳 | 牛窪弘善筆 | T元. 11. 24 謄写 | 複写 |
| 1299 | 佐渡花押彙纂・佐渡印章彙纂 合本 | 牛窪氏図書 | | |
| 1300 | 佐渡人物志資料 | 牛窪弘善輯 | | |
| 1301 | 佐渡文藻小話 | 牛窪弘善輯 | S16. 11. 念 8 立稿 | 自筆 |
| 1302 | 南陔先生抄録簿 | | | 筆写 |
| 1303 | 書画帖 | | | 小品などの張り込み |
| 1304 | 佐渡事實文編 巻上 | 牛窪弘善輯並句読 | | 文学博士萩野由之先生校閲 |
| 1305 | 佐渡事實文編 巻中 | 牛窪弘善輯 | | |
| 1306 | 佐渡事實文編 巻下 | 牛窪弘善輯 | | |
| 1307 | 丸岡南畝先生日録 十巻 | | | 自筆。自 M10. 4月 至同 27. 12月 |
| 1308 | 史談 佐渡郷土趣味研究(第1輯-第9輯) | 青柳秀雄編 | | 謄写。1輯(S5. 1月)・2輯(S5. 2月)・3輯(S5. 3月)・4輯(S5. 4月)・5輯(S5. 5月)・6輯(S5. 7月)・8輯(S6. 1月)・「佐渡故実聞書」(S6. 2月)・9輯(S6. 5月)・「西三川村横浜開拓史」(使用話 5. 10月) |
| 1309 | 佐渡郷土趣味研究(第10輯-第12輯) | 青柳秀雄編 | | 謄写。「佐渡俳人の変遷」(S6. 10月)・10輯(S6. 6月)・11輯(S6. 9月)・12輯(S7. 1月)・「佐渡國小比叡山蓮華峰寺縁起」(S6. 6月)・「佐渡郷土文献展覧会出品目録 上」(S7. 5月) |
| 1310 | 佐渡雑誌 | | | 雑誌等の抜綴り。「萩野由之小傳」・「随鶴集」(M40年頃)・「佐渡の炭かま」(T9. 3月)など |
| 1311 | 鄙の手振 全 | 佐渡史林社発行 | M28. 11. 発行 | 佐渡史林第2号掲載 |
| 1312 | 怪談藻汐草 | 佐渡史林社発行 | M28. 10. 発行 | 佐渡史林第1号掲載 |
| 1313 | 佐渡年代記(巻之1-巻之5) | 佐渡史林社発行 | | 佐渡史林掲載 |
| 1314 | 圓山溟北先生年譜・司馬凌海傳 | | | 圓山溟北先生 譜(岩木拓著・S4. 12. 5日)・司馬凌海傳(入澤達吉著・中外医事新報第1153号<S4. 11. 28日>別刷) |
| 1315 | 北溟雑誌 | | | 第2号(M20. 12月)-第103号の必要部分の抜綴り |
| 1316 | 佐渡先哲遺稿 | 牛窪弘善輯並句読 | | 溟北先生遺稿拾彙・凌海の著述・和歌 |
| 1317 | 佐渡人物志資料 | 牛窪弘善輯 | | 山本悌二郎書翰の写しほか |
| 1318 | 佐渡密教院秀女遺詠? | | | 自筆。天保文芸集の一人 |
| 1319 | 御改書上並御届帳 | 法教院 | 天保 13 頁. 10. | 河原田町大坂町千手院過去帳付。自筆 |
| 1320 | 醉古堂劔掃 鈔本 | 山田枕流抄録 | | 写本 |
| 1321 | 佐渡教育史資料 | 牛窪弘善輯 | | |
| 1322 | 無染室文稿 | 牛窪氏蔵 | | 自筆 |
| 1323 | 稿本 磧田紀聞 第壹篇 | 中山徳太郎発行 | S8. 5. 1 | 謄写 |
| 1324 | 稿本 磧田紀聞 第二篇 | 中山徳太郎発行 | S9. 3. 20 | 謄写 |
| 1325 | 稿本 磧田紀聞 第三篇 | 中山徳太郎発行 | S10. 7. 30 | 謄写 |
| 1326 | 稿本 磧田紀聞 第四編甲 | 中山徳太郎発行 | S11. 7. 1 | 謄写 |
| 1327 | 稿本 磧田紀聞 第四編乙・丙 | 中山徳太郎発行 | S16. 1. 10 | 謄写 |

| | | | | |
|------|-----------------------|--------------|----------------|---|
| 1328 | 通俗教育資料 | 中山徳太郎発行 | | 謄写。20部限定会員頒布。「相川一流音頭が百番くづし」他切り抜き貼付。 |
| 1329 | 方言訛言取調書 | | | |
| 1330 | 佐渡方言俗語考 | 矢田 求著 | \$6. 11. 20 | 謄写 |
| 1331 | むかしの反古さがし | 中川雀子原本所有 | \$8. 8. 10 | 謄写。原田廣作・中山徳太郎発行 |
| 1332 | 佐渡先哲遺稿拾葉 甲集 | 牛窪弘善纂 | | 自筆 |
| 1333 | 佐渡先哲遺稿拾葉 乙集 | | | 自筆 |
| 1334 | 佐渡先哲遺稿拾葉 丙(乙)集 | 牛窪弘善輯 | | 自筆 |
| 1335 | 佐渡人名辞書編纂に就きて 其一 | | | 自筆。本間周敬氏の手簡綴り |
| 1336 | 佐渡人名辞書編纂に就きて 其二 田中葵園論 | 牛窪弘善輯 | | 新聞掲載文の切り抜き綴り |
| 1337 | 大師會記 | | | 第14回大師會會記 會主 益田 孝・M43年大師會綴り |
| 1338 | 佐渡群書目録 | | | 萩野由之集ほか |
| 1339 | 続佐渡群書類従目録 | | | 自筆。牛窪弘善集 |
| 1340 | 満潮(「佐渡文化史料」→「満潮」) | 藤井千代雄著兼発行 | | 1号(\$2.4月)・2号(\$2.5月)・3輯(\$2.6月)・4輯(\$2.8月)・5輯(\$2.10月)・6輯・7輯(\$3.1月)・8輯(改題\$3.2月)・9輯(\$3.3月)・10輯(\$3.10月)・11輯(\$3.11月)・不明(\$4.1月)・13号・14号(\$4.8月)・17号(\$6.1月)。欠頁有。 |
| 1341 | 佐渡國相川町年中行事絵巻 | 石井文海筆 | | 佐渡日報社刊。 |
| 1342 | 真野の若草 | 真野村青年会背合分会 | | 創刊号(M45.3月)・T2.春季号・郷土号(T7.12月)・T8.秋季号(T8.10月)・第3号(T5.7月)。欠頁有。 |
| 1343 | 矢田環水定本佐渡本間系図・佐渡本間系図物語 | 矢田 求著・所蔵 | \$7. 8. 15 | 謄写 |
| 1344 | 双鼻學種本 | 原田廣作・中山徳太郎発行 | \$9. 5. 1 | 謄写。「弥三郎姨彈三郎廻双鼻學種本」 |
| 1345 | 眞野山皇陵記 全・順徳院天皇御遺跡搜索之記 | 佐渡史林社発行 | | 眞野山皇陵記 全(M28.10月)・順徳院天皇御遺跡搜索之記(M30.1月) |
| 1346 | 紅塵日記 | 萩野由之著 | | 自筆。M13.5. -同14.5.、在京遊学日記 |
| 1347 | 佐渡名数 附 先賢異称 | 牛窪図書 | | 自筆。市販ノドヘン書 |
| 1348 | 佐渡人名辞書補遺 | 牛窪氏図書 | | 自筆。市販ノドヘン書 |
| 1349 | 小著雑纂 | 牛窪図書 | | 雑誌等掲載誌の切り抜き綴り |
| 1350 | 金田知良雜記 | | | 自筆。金田新田開発者金田太右衛門筆記。知良は俳名。 |
| 1351 | 佐渡國石高帳 全 其外諸人心覚集 | | 文政3庚辰 12. | 自筆 |
| 1352 | 佐渡奉行御祈禱帳 | 法教院齋賢 | | 自筆。「御奉行岡松伊豫守殿御祈禱帳」 |
| 1353 | 佐渡奉行歴代 | | 文政13庚寅歳花月 上旬 | 自筆 |
| 1354 | 譚海 完 | 丸岡南陔先生写本 | | 写本 |
| 1355 | 狭門名士一覽 | | | 自筆 |
| 1356 | 塚原詣集 | 根本精舎蔵板 | 寛政10戊午. 仲春 | 和本 |
| 1357 | 佐渡・能登に於ける日野『資朝』公と阿新丸 | 牛窪弘善編 | T9. 8. 立稿 | 自筆 |
| 1358 | 順徳天皇御遺蹟考 | 牛窪弘善輯並書 | T6. 9. 23 摺筆 | 自筆 |
| 1359 | 相川中繪図 | | 享保7寅 8. | 彩色1枚。「主 山尾」 |
| 1360 | 佐渡回顧 | | | 佐渡関係の写真帳 |
| 1361 | 御巡村繪図 | | | 彩色1枚。折本 |
| 1362 | 新訂佐渡図 全 佐渡形勢一覽表附 | 本荘了寛著 | M27. 5. 7 | 彩色1枚。尺1/100000 |
| 1363 | 佐渡案内地図 | 精巧舎編 | M45. 5. 9 | 地図彩色1枚。人力車・乗合馬車・汽船運賃表、名勝旧跡案内。1/200000 |
| 1364 | 佐渡鉦山全景案内 | 本間幸吉発行 | \$7. 7. 20 | 鳥瞰図と佐渡鉦山概要 |
| 1365 | 佐渡金山 | | | 6枚入。45.8. 4記念スタンプ付。 |
| 1366 | 歌と踊り佐渡おけさ速習 | 本間幸吉発行 | \$7. 7. 20 | 夷港小池みやげ物店スタンプ付。 |
| 1367 | 佐渡が島 | 佐渡商船株式会社発行 | \$5. 3. 1 | 佐渡島瞰図と遊覧案内、名所略記。E1's港丸金旅館スタンプ付。 |
| 1368 | 佐渡案内 | 青木屋旅館 | | 佐渡地図と遊覧順路。 |
| 1369 | 佐渡金山 | | | 4枚入。佐渡金山パノ。45.8. 4記念スタンプ付。 |
| 1370 | 佐渡 | 佐渡観光協会 | | 昭和58年定期観光バス・佐渡汽船時刻表、運賃表など付 |
| 1371 | 良寛さんの里 | 郵政省 | | 官製葉書使用。5枚入。こしの千涯画 |
| 1372 | 佐渡雜録 | 牛窪弘善輯 | | 「退去疫神宣命」・「相川志の資料」・「聖蹟に関する俗説」など |
| 1373 | 連洲獨吟 | 大願寺26世其阿連州 | 寛保3亥. 11. 24 | 横帳 |
| 1374 | 游燕詩草 | 二峰山本悌二郎稿 | T丙寅(15) 晩秋 | 和装本 |
| 1375 | 佐渡水難實記 | 本荘了寛著 | T2. 7. 15 | 記念書画抽籤会、本書刊行の礼状と本年の記念書画抽籤会規定などの貼付。 |
| 1376 | 佐渡上代史考 | 本間酒川著 | \$15. 6. 15 | |
| 1377 | 佐渡國寺社帳 卷下 社部 | 國弊小社度津神社々務所 | \$5. 10. 31 | |
| 1378 | 佐渡四民風俗 | 原田廣作発行 | \$4. 10. 30 | |
| 1379 | 大學夷考並問答附録 | 溟北圓山先生著 | M2. 10. 写之 | 小彼淇軒蔵 |
| 1380 | 凌海詩集 | 司馬亨太郎編 | \$8. 12. 5 | |
| 1381 | 山下清作品集 | 式場隆三郎編 | | 作品9枚。 |
| 1382 | 日吉神社志 | 守屋 泰編 | T4. 11. 12 | |
| 1383 | 佐渡郡加茂村郷土資料 | 磯野熊太郎著 | M45. 6. 26 | |
| 1384 | 佐渡郡澤根史叢 第一篇 | 山西清吉著 | T3. 11. 5 | |
| 1385 | 萩野懐之遺稿 | 萩野由之編 | T10. 8. 13 | 故萩野懐之著 |
| 1386 | 改訂再版真野村志 全 | 真野村教育会編 | \$2. 10. 30 再版 | T11. 7. 10 発行。歓迎記念、真野村の花暦と縁日、真野名所旧蹟貼付 |
| 1387 | 郷土地史教授資料 | 平間乙蔵・加藤勘蔵著 | T3. 12. 15 | 畑野第三尋常小学校学区(小倉・猿八・長谷)五・六年生用 |
| 1388 | 金澤村誌稿本 第1編 建置 | 金澤村教育会編 | \$5. 9. 16 | 合綴 |
| 1389 | 金澤村誌稿本 第2編 地籍 | 金澤村教育会編 | \$6. 5. 1 | 合綴 |
| 1390 | 金澤村誌稿本 第3編 名勝旧蹟 | 金澤村教育会編 | \$6. 9. 22 | 合綴 |
| 1391 | 金澤村誌稿本 第4編 神社 | 金澤村教育会編 | \$7. 9. 18 | 合綴 |
| 1392 | 金澤村誌稿本 第5編 寺堂 | 金澤村教育会編 | \$7. 10. 1 | 合綴 |
| 1393 | 金澤村誌稿本 第6編 地頭村吏 | 金澤村教育会編 | \$8. 2. 20 | 合綴 |
| 1394 | 金澤村誌稿本 第7編 行政 | 金澤村教育会編 | \$8. 3. 5 | 合綴 |
| 1395 | 金澤村誌稿本 第8編 風俗 | 金澤村教育会編 | \$8. 3. 15 | 合綴 |
| 1396 | 金澤村誌稿本 第9編 戸口 | 金澤村教育会編 | \$8. 6. 1 | 合綴 |
| 1397 | 葵園遺稿 | 田中完三編 | \$6. 9. 1 | 和装本箱入 |
| 1398 | 蕉雪吟館詩草 | 山本悌二郎著 | \$8. 6. 30 | 和装本二冊組。映入り |
| 1399 | 恥堂遺稿・相川歌集 | 高田慎蔵発行 | T2. 5. 20 | 和装本二冊組。映入り |

| | | | | |
|------|----------------------|----------------|----------------|---|
| 1400 | 訥齋遺彙 | 山本一郎編 | T3. 8. 5 | 和装本二冊組。帙入り |
| 1401 | 史話と文話 | 萩野由之著 | T7. 6. 5 | |
| 1402 | 註釈日本歴史 | 萩野由之著 | T13. 10. 20 十版 | |
| 1403 | 日本歴史評林 第一編 | 萩野由之著 | M26. 5. 7 再版 | |
| 1404 | 日本史講話 上 | 萩野由之著 | T10. 10. 30 五版 | 全二冊。上巻に奥付なし |
| 1405 | 日本史講話 下 | 萩野由之著 | T10. 10. 30 五版 | 全二冊。奥付書名「日本歴史講話全二冊」 |
| 1406 | 相川町誌 | 岩木 壱著 | S2. 7. 2 | |
| 1407 | 畑野村志 | 畑野村教育会編 | T15. 10. 1 | 「畑野名勝案内」貼付 |
| 1408 | 佐渡國誌 | 新潟縣佐渡郡役所発行 | T11. 9. 25 | |
| 1409 | 概観佐渡 | 佐渡郡・両津市各教育研究会編 | S39. 6. 15 | |
| 1410 | 佐渡人物志 | 故萩野由之著 | S2. 10. 20 | 佐渡郡教育会発行 |
| 1411 | 柳水遺彙 | 故猪股延太郎著 | M42. 11. 4 | 「青木昆陽傳」・「佛教傳來考」 |
| 1412 | 佐渡年中行事 | 中山徳太郎著 | S13. 9. 20 | 佐渡民間傳承叢書第1輯 民間傳承の會発行 |
| 1413 | 佐渡昔話集 | 鈴木棠三著 | S14. 8. 1 | 佐渡民間傳承叢書第2輯 民間傳承の會発行 |
| 1414 | 河崎屋物語 | 中山徳太郎著 | S15. 4. 25 | 佐渡民間傳承叢書第3輯 佐渡民間傳承の會発行 |
| 1415 | 犁雨村舎と佐渡文教の淵源 佐渡人物志資料 | 新穂村教育会編 | S10. 8. | 合綴 |
| 1416 | 山本徳二郎先生小傳佐 渡人物志資料 | | T15. 10. | 合綴 |
| 1417 | 俚諺俗信其他聞書仕入帳 | 中山徳太郎編 | S10. 3. 25 | |
| 1418 | 佐渡共進会紀念 附新穂村案内 | 新穂村協賛会編 | T2. 11. 15 | T6. 7. 20 新穂村役場発行「佐渡新穂村要覧」貼付 |
| 1419 | 竹窗日記 全 | 本荘了寛編 | M18. 7. 21 | |
| 1420 | 無染歌集 | 牛窪弘善著 | S5. 4. 5 | 市販の短歌帳に自作品を自書したもの |
| 1421 | 無染室叢書 | 牛窪弘善輯 | | 「日蓮聖人霊場案内」(T5. 5. 4日) 牛窪弘善編・「諸雜誌論説密教研究の索引」(T5. 1. 8日) 上田圓照編・明治聖代佐渡略史 (S7. 9. 15日) 中山五郎編合綴 |
| 1422 | 両津町大火災史 | 若林甫舟著 | S8. 12. 30 | |
| 1423 | 佐渡郷土文學選 | 山本修之助編 | S7. 12. 1 | |
| 1424 | 佐渡の民謡 | 山本修之助編 | S5. 8. 20 | |
| 1425 | 文化史上に於ける役行者 | 牛窪弘善著 | S3. 3. 25 | 「書き・「役行者に関する遺物のいろいろ」・本書に関する広告文有。 |
| 1426 | 佐渡の史蹟 | 本間酒川編 | S6. 6. 25 再版 | |
| 1427 | 佐渡地理史談 | 佐渡教育会編 | M44. 5. 6 | |
| 1428 | 佐渡方言集 | 矢田 求著 | M42. 3. 31 | |
| 1429 | 佐渡名勝 | 岩木 壱著 | M34. 9. 19 | |
| 1430 | 日蓮聖人霊場案内 | 牛窪弘善編 | T5. 5. 4 | |
| 1431 | 懐旧集 | 山本半蔵編 | T13. 6. 25 | |
| 1432 | 風景と産業の両津町 | 若林甫舟・齋藤 侃編 | S8. 2. 11 | |
| 1433 | 郷土読本 中巻 | 二宮小学校編 | S6. 11. 15 | 合綴 |
| 1434 | 郷土読本 下巻 | 二宮小学校編 | S6. 11. 15 | 合綴 |
| 1435 | 明治聖代佐渡略史 | 中山五郎編 | S7. 9. 15 | |
| 1436 | 佐渡金山史 | 田中圭一編 | S45. 8. 15 | 佐渡歴史文化シリーズ。 |
| 1437 | 順徳天皇御遺蹟略記 佐渡聖蹟叢書 | 眞木山孟治編 | M44. 6. | 合綴 |
| 1438 | 擬陸遊誌 完 | 三島 毅著 | M27. 12. 21 | 合綴 |
| 1439 | 青白百絶 完 | 三島 毅著 | M28. 12. 30 | 合綴 |
| 1440 | 佐渡二見龍吟寺國寶観音案内記 | 津山法韶編 | T15. 1. 21 再版 | 合綴 |
| 1441 | 良寛のふるさと | 小島正芳著・木原 尚撮影 | S63. 3. 27 | |
| 1442 | 佐渡産業案内 | 佐渡郡協賛会編 | T4. 7. 27 | 新潟県山林会第4回総会(佐和田町)資料 |
| 1443 | 佐渡山水 | 新潟県山林会佐渡協賛会編 | T4. 7. 26 | |
| 1444 | 佐渡・越後路 | 中俣正義著 | S63. 発行 | ブルガドブック17 |
| 1445 | 佐渡案内・順徳天皇御遺蹟案内 | 浅香 寛編 | T12. 6. 15 | |
| 1446 | 佐渡牛 全 | 富取東朔著 | T2. 5. 29 | |
| 1447 | 佐渡案内 | 佐渡水産組合編 | M41. 11. 3 | |
| 1448 | 名勝案内 | 中山萬平著 | T2. 4. 29 | 1261 附録? |
| 1449 | 俚諺俗信聞書帖 | 中山徳太郎編 | S7. 12. 30 | 豆本。合綴 |
| 1450 | 俚諺俗信其他聞書當座帳 | 中山徳太郎編 | S8. 12. 28 | 合綴 |
| 1451 | 佐渡博物譜 | 牛窪弘善筆 | | 自筆。佐渡金石譜・佐渡金山町村別産地一覧・佐渡介譜・石器時代遺物考・佐渡竹譜・鉱物岩石鑑定表・鉱物表解・佐渡特産物概表 |
| 1452 | 佐渡人物名数 | 牛窪弘善輯 | | 自筆 |
| 1453 | 佐渡人名辞書補遺 | 牛窪弘善著 | | 自筆 |
| 1454 | 佐渡先哲遺墨 | 萩野由之編 | T11. 10. 15 | |
| 1455 | 佐渡参考残片 | | | 裏紙使用の封筒入 |
| 1456 | 越後鉄道案内 | 越後鉄道(株)庶務課編 | T元. 8. 24 | |
| 1457 | 長岡鉄道案内 | 木村松二郎編 | T5. 5. 6 | |
| 1458 | 乍恐御訴訟申上候 | 船津・馬場名主 | 天和3. 亥ノ2. 18 | 申年よりの洪水による中奥村御立林から普請材伐採願と代官所から中奥村への指示書。自筆 |
| 1459 | 佐渡たこ絵図 | 牛窪弘善写 | | 自筆 |
| 1460 | 順徳天皇関係原稿他 | | | 自筆。封筒入。原稿・メモなど |
| 1461 | 新聞切り抜き(未整理分) | | | 封筒入。佐渡関係・宗教関係 |
| 1462 | 佐渡日報・読売新聞 | | | 佐渡日報 T14. 8. 18/S5. 1. 1の一部。読売新聞 S5. 12. 2の一部 |
| 1463 | 佐渡新聞 | | | S7. 10. 4-7分 |
| 1464 | 本間快浄著 四書傍註 | | M34. 3. | 本間快浄師略傳・逸話・逸事 |
| 1465 | 金口の御聲 | | | 自筆。「四諦事」など |
| 1466 | 佛像彙纂 | 牛窪弘善輯 | | 図書の切り抜き・絵葉書等綴り |
| 1467 | 晝歌遺稿 | 牛窪弘善輯 | | 自筆。山伏真俗分段・破邪見問答鈔・金北山鑑鷓之事ほか綴り |
| 1468 | 釈尊研究 | 十聖堂図書 | | 自筆 |
| 1469 | 農昏課誦 | 獅子吼卍堂 | | 自筆 |
| 1470 | 永宮寺松堂師筆写 悉曇章断簡 | 牛窪氏蔵 | | 自筆 |
| 1471 | 大蔵経秘密部摘要 | 優婆塞弘善抄書 | M31. | 自筆 |
| 1472 | 『役行者及其教理』上篇役行者傳 | | | 自筆。来翰・原稿などの綴り |
| 1473 | 文化史上に於ける役行者資料 | | | 来翰・原稿などの綴り |
| 1474 | 選擇集来迎下 | | | 自筆 |

| | | | | |
|------|-----------------------------|-------------|-------------------|--|
| 1475 | 佛教神話鬼神篇 附悪魔考 | 牛窪弘善編 | M34. 11. 草創 | 自筆 |
| 1476 | 獨語 | | | 自筆。佐渡修験道小史原稿? |
| 1477 | 祓類傳 | | | 自筆 |
| 1478 | 行餘漫録 | 行餘學人輯 | M38. 12. 15 草創 | 自筆。比較宗教篇・東西思想の暗合ほか |
| 1479 | 般若心経管見・法華経管見・佛典結集 合本 | 牛窪弘善輯 | M35. 9. | 自筆 |
| 1480 | 入宋定心法印 | 牛窪弘善筆 | | 自筆 |
| 1481 | 佛教雜誌 | | | 自筆。佛教雜誌・禪定篇・佛教和歌・大乘佛教の極意ほか |
| 1482 | 念珠略詮・佛法不可斥論・釈氏二十四孝・立正安国論 合本 | | | 自筆 |
| 1483 | 日蓮大聖人註画讃 全 | | | 全五巻合本 |
| 1484 | 梵書朴筆手鑑 | 牛窪図書 | | 自筆 |
| 1485 | 役行者と修験道の世界-山岳修験の秘宝- | 大阪市立美術館編 | 1999. 9. 10 (H11) | |
| 1486 | 日本大蔵経編纂会々報 修験道章疏 | | | 内容見本と編纂主任の書翰類綴り |
| 1487 | 偉人資料 | 無染居士輯 | M41. 以降 | 自筆。結摩詰考・龍樹菩薩傳ほか |
| 1488 | 無染存稿 | 牛窪弘善 | | 自筆。各種原稿 |
| 1489 | 稿本修験道研究 上 | 牛窪弘善編 | | 自筆原稿 |
| 1490 | 稿本修験道研究 下 | 牛窪弘善編 | | 自筆原稿 |
| 1491 | 法句経撮要 | | | 自筆。市販ノドに手書き |
| 1492 | 儒教 | | | 自筆。市販ノドに手書き |
| 1493 | 「南傳大蔵経」早わかり | | | 出版案内 |
| 1494 | 清涼宗論 | 佐藤獨嘯編 | M43. 6. 15 | 劇台本 |
| 1495 | 大乘妙典 | | | 出版物の一部 |
| 1496 | 行者名簿 | 牛窪弘善録 | | 自筆 |
| 1497 | 恵印部へ帰入の顛末 | | | 自筆。來翰綴り |
| 1498 | 毛髮刺繡大涅槃像 | 京都賛助員識 | M42. 11. | 表裏面の写真 |
| 1499 | 表題なし | | | 自筆。入成行列表第など |
| 1500 | 新亡中陰記早線表 | 中尾亮善 | T13. | 謄写 |
| 1501 | 病気の占 | | | 自筆 |
| 1502 | 勸進疏綴 | 十善精舎 | M36. 4. 起 | 自筆 |
| 1503 | 醍醐山名所図会 | 醍醐寺発行 | | パンフレット |
| 1504 | 表題なし | | | 農昏譚誦ほかの手書き |
| 1505 | 金峰山本縁起について | 牛窪弘善 | | 自筆原稿 |
| 1506 | 無染存稿 | 牛窪弘善 | | 自筆。「東洋古代の国名について」原稿 |
| 1507 | 黄面老子の廣長舌 | 牛窪図書 | | 自筆。市販ノドに手書き。「金口の御声」 |
| 1508 | 黄面老子の廣長舌 | 牛窪弘善輯 | | 自筆。市販ノドに手書き。「佛陀の福音」 |
| 1509 | 讚佛詩 | 牛窪弘善輯 | | 自筆。市販ノドに手書き。 |
| 1510 | 金口の御聲 坤 | 牛窪弘善編 | | 自筆。市販ノドに手書き。 |
| 1511 | 秘法丸散方 | 日下市司識 | 文化 2 乙丑 . 秋 9. 19 | 自筆 |
| 1512 | 祓 秘法録 | | M25. 9. 起 | 自筆 |
| 1513 | 知男女歌 | 牛窪氏 | | 自筆 |
| 1514 | 明照院開運成功辨財天和讃 | 高野山明照院如法海明 | | |
| 1515 | 引導文 | 牛窪弘善 | S3. 11. 20 | 自筆。新円寂 秋藏釈光居士 |
| 1516 | 大施餓鬼法会功德回向文 | | | 自筆 |
| 1517 | 正一位九文字稻荷大明神安鎮證書 | 本宮神主家鳥居南和泉守 | 嘉永 3 戊 . 7. 吉辰 | 佐渡國雜太郡相河大工町九文字口九右衛門殿。自筆 |
| 1518 | 自身引導 住心院殿達書 | | | 自筆。「修験道葬祭自身引導者…」写 (弘化 4 丁未年 6 月)・「一筆致啓上候…」写 (6 月 26 日)・「一筆啓上仕候…」(西正月 23 日)・「副書令披見候…」四通袋入 |
| 1519 | 越後子供躰・物真似興行願 | | 弘化 3 午 . 4. | 「乍恐書付を以奉願上候」。自筆 |
| 1520 | 補任院号職之事 | 寶積院 | 文化 4. 7. 16 | 法印光海・法印秀盛・法印繼雄。自筆 |
| 1521 | 辞令 | 権大教正赤松光映 | M11. 5. 3 | 自筆。(教導職試補) 牛窪精一 |
| 1522 | 辞令 | 大僧正大相覺寶 | M18. 8. 1 | (権律師) 牛窪齊賢 |
| 1523 | 悉曇前行作法 | 那智山法印知見 | 天保第 7. 歳在丙申 3. | 行者峯順。包紙入。自筆 |
| 1524 | 焼所咒 | | | 自筆。「開眼…」小紙有 |
| 1525 | 大辯才女秘法・修儀已秘法 | | | 自筆 |
| 1526 | 悉曇前行之作法 | 慶傳示之 | 寛政 5. 癸丑 3. 吉日 | 自筆。受与法順 |
| 1527 | 秘密灌頂印明 | 丸山銀瀧山道場 | 文政 11 戊子 4. 吉旦 | 受者歎賢→受者庸延→受者齊賢(朱書)。自筆 |
| 1528 | 加行護摩供之事 | 法印問交示之 | 天保 15 甲辰 . 初冬 | 授与 齊賢。筆写 |
| 1529 | 加行着衣作法 | | | 自筆。「水垢離文」貼付 |
| 1530 | 證 | 浅草寺住職 | M10. 10. 20 | 自筆。牛窪齊賢徒弟の証 |
| 1531 | 命名 | 密教院住養住謹考 | 天保 9 戊戌 . 6. 下弦 | 御實名齊賢。自筆 |
| 1532 | 禁五路大事 | 歎賢示之 | 天保 6 未天 10. 7 | 受者峯順。包紙入。自筆 |
| 1533 | 十八道加行作法 | 歎賢授之 | 天保 6 未天 8. 吉日 | 受者峯順。自筆 |
| 1534 | 開眼供養之作法 | 歎賢示之 | 天保 6 未天 10. | 受者峯順。包紙入。自筆 |
| 1535 | 護身法 | 法印椿栄示之 | 天保 5 午 . 11. | 授与 峯順。自筆 |
| 1536 | 法界調伏・荒神放捨秘法 | 権大僧都法印慶傳 | 享和 2 戊 . 5. | 授与峯順。自筆 |
| 1537 | 那々夜需作法 | 齊賢 | 文政 13. 寅 11. | 包紙入。自筆 |
| 1538 | 理趣分転読作法秘事三種秘印 | 歎賢示之 | 天保 6. 9. 吉辰 | 受者峯順。包紙入。自筆 |
| 1539 | 兵法九字大事 | | | 自筆。包紙のみ |
| 1540 | 不淨除大事 | | | 自筆。包紙のみ |
| 1541 | 俳句「山伏はやめても…」 | | | 自筆。小切紙 |
| 1542 | 先考齊賢師大般若経講求ノ為メ旅行日誌 附「加行記録」 | | | 自筆。横帳 |
| 1543 | 日蓮が魂 | 堀之内妙法寺 | T5. 10. 8 | パンフレット |
| 1544 | 僧侶ノ道ニ孝アリ記録 | | M9 丙子 2. | 自筆 |
| 1545 | 弘法大師筆書の写真 | | | 1 枚 |
| 1546 | 日蓮聖人入滅図 | | | 木版 1 枚 |
| 1547 | 修験道史資料 | 牛窪弘善 | S10. 12. 立稿 | 封筒入。原稿・メモなど |
| 1548 | 許可 小野大僧都流 | 授与大法師全浄 | S9. 7. 27 | 自筆。包紙入。中院流許可印証封筒入 |
| 1549 | 護摩次第要義 | | S9. 7. 27 | 謄写。7. 27 ~ 8. 2 中僧正山田覚初僧正傳授聞き書きの写し |

| | | | | |
|------|-----------------------|-------------|------------|---|
| 1550 | 許可記 中院 | | | 謄写 |
| 1551 | 壇上奥院参詣念誦作法 中院秘 | | | 謄写 |
| 1552 | 灌頂加行作法 | | | 謄写。包紙入 |
| 1553 | 許可壇園 二紙 中流 | | | 謄写。包紙入 |
| 1554 | 護摩加行作法 | | | 包紙入。謄写 |
| 1555 | 金剛界加行日記 中院 | | | 包紙入。謄写 |
| 1556 | 胎藏界加行作法 | | | 包紙入。謄写 |
| 1557 | 十八道加行作法 中院 | | | 包紙入。謄写 |
| 1558 | 理趣經加行所作 | | | 包紙入。謄写 |
| 1559 | 印可加行所作 二紙・印可略支度 一紙 | | | 包紙入。謄写 |
| 1560 | 理趣經加行所作 | | | 包紙入。謄写 |
| 1561 | 護身法加行所作 | | | 包紙入。謄写 |
| 1562 | 弁才天勸請之覚書 | 法教院齊賢 | 嘉永5子.6.7 | 辨才天勸請証文(新得度者齊賢の証書で包む)。北片辺村新蔵宛写。自筆 |
| 1563 | 弁才天勸請之覚書 | 北片辺村新蔵 | 嘉永5子.8.7 | 自筆。辨才天勸請証文(新得度者齊賢の証書で包む)。法教院宛 |
| 1564 | 正一位王井稻荷大明神安鎮証書 | 本宮神主家鳥居南和泉守 | 嘉永3戌.7.吉辰 | 神納書入。自筆 |
| 1565 | 稻荷社安鎮之証書 | 本宮羽倉伯耆守 | 文久元.3.29 | 小山亀次郎宛(甚五郎間歩御仕役)。道間歩鎮守。自筆 |
| 1566 | 稻荷社安鎮之証書 | 本宮愛染寺 | 嘉永6癸丑歳8.吉辰 | 相川磯部大助宛。神納書入。自筆 |
| 1567 | 弥兵衛間歩鎮守極書 | | | 自筆。包紙のみ |
| 1568 | 富士権現祭礼日と別当について | 羽田村弥右衛門ほか | 慶応2寅.9.11 | 法教院宛。自筆 |
| 1569 | 宗吉間歩鎮守祈禱料などについて | 喜多平八・島川宋之助 | 嘉永5子歳8. | 法教院宛。自筆 |
| 1570 | 惣吉間歩勸請之覚書 | 法教院 | 嘉永5子歳8.3 | 島川宋之助宛。自筆 |
| 1571 | 惣吉間歩勸請之覚書 | 法教院 | 嘉永5子.8.3 | 御山師喜多平八・島川宋之助宛の写し。自筆 |
| 1572 | 久七間歩鎮守祈禱料などについて | 島川宋之助 | 安政2卯歳6. | 法教院宛。自筆 |
| 1573 | 須弥山之図 | 牛窪弘善 | M31.秋7.謄写 | コピー |
| 1574 | 明治45年1月2日本山頭役義兄弟取結 | | | 卷子 |
| 1575 | 六大縁起相傳法脈 | 牛窪弘善 | 昭和 | 自筆 |
| 1576 | 八管修験資料・附入宋定心 | | | コピー |
| 1577 | 入宋定心法印 | | | コピー |
| 1578 | 役君傳参考図類 | 牛窪氏蔵 | | 簡入。写真2枚 |
| 1579 | 八管神社絵葉書 | 社務所発行 | | 1枚入 |
| 1580 | 改名願書式 | | | |
| 1581 | 大黒天図 | | | 木版1枚 |
| 1582 | 確幢の狂的暴論 | 牛窪弘善 | | 自筆原稿 |
| 1583 | 文殊像 | | | 京都東福寺蔵釈迦三尊像の一部。1枚。印刷物 |
| 1584 | 法隆寺壁画 | | | 部分。1枚。印刷物 |
| 1585 | 名称不明(敷き紙?) | | | 1枚 |
| 1586 | 投筆 | | | |
| 1587 | 扇子の包紙 | | | |
| 1588 | 余の習字帖 | 牛窪齊賢筆 | | 御贖様式 |
| 1589 | 法務上の辞令(袋入) | | | 辞令書・法名・三輪僧正印信・僧名簿 |
| 1590 | 祖父・先考免許牒類(袋入) | | | 柴探燈之事・導師作法・加行十八道之事など入 |
| 1591 | 未刊小稿(袋入) | 牛窪弘善 | | 「奉讃不動明王」など4編 |
| 1592 | 修験道関係原稿類他 | | | 封筒入 |
| 1593 | 法教院齊賢翁が供人に服せしめたる衣装の布片 | | | 封筒入 |
| 1594 | トラウト | | | 重複した物。封筒入 |
| 1595 | 牛窪弘善兄。贈其著役行者。素拙詩。仍賦謝。 | 廣田民雄筆 | | |
| 1596 | 離旦状 離旦証文之事 | 山之神大乗寺 | 弘化4未.11. | 自筆。大福院・教學院・正善院・法教院宛 |
| 1597 | 諷誦文 | | | 自筆。大正5年 |
| 1598 | 日蓮上人自叙伝 | 國友日斌編 | T2.5.5 | 文王閣発行 |
| 1599 | 大漢和辞典 巻一 | 諸橋轍次著 | S59.4.20 | 修訂1刷 |
| 1600 | 大漢和辞典 巻二 | 諸橋轍次著 | S59.6.20 | 修訂1刷 |
| 1601 | 大漢和辞典 巻三 | 諸橋轍次著 | S59.8.20 | 修訂1刷 |
| 1602 | 大漢和辞典 巻四 | 諸橋轍次著 | S59.10.20 | 修訂1刷 |
| 1603 | 大漢和辞典 巻五 | 諸橋轍次著 | S59.12.20 | 修訂1刷 |
| 1604 | 大漢和辞典 巻六 | 諸橋轍次著 | S60.2.20 | 修訂1刷 |
| 1605 | 大漢和辞典 巻七 | 諸橋轍次著 | S60.4.20 | 修訂1刷 |
| 1606 | 大漢和辞典 巻八 | 諸橋轍次著 | S60.6.20 | 修訂1刷 |
| 1607 | 大漢和辞典 巻九 | 諸橋轍次著 | S60.8.20 | 修訂1刷 |
| 1608 | 大漢和辞典 巻十 | 諸橋轍次著 | S60.10.20 | 修訂1刷 |
| 1609 | 大漢和辞典 巻十一 | 諸橋轍次著 | S60.12.20 | 修訂1刷 |
| 1610 | 大漢和辞典 巻十二 | 諸橋轍次著 | S61.2.20 | 修訂1刷 |
| 1611 | 大漢和辞典 索引 | 諸橋轍次著 | S61.4.20 | 修訂1刷 |
| 1612 | 広辞林 第五版 | 三省堂編修所編 | S51.11.10 | 三省堂豪華愛蔵版辞書セット |
| 1613 | 新コンサイス英和辞典 | 佐々木 達編 | S51.11.10 | 三省堂豪華愛蔵版辞書セット |
| 1614 | 新コンサイス和英辞典 | 中島文雄編 | S51.11.10 | 三省堂豪華愛蔵版辞書セット |
| 1615 | 新漢和中辞典 | 長澤規矩也編 | S51.11.10 | 三省堂豪華愛蔵版辞書セット |
| 1616 | 大事典 d e s k | 梅棹忠夫他監修 | S58.7.11 | 5刷 |
| 1617 | 修験研究 | 修験研究社一圓遍開 | | 創刊号・2巻1号(T11.1.15)・4-5号・7-11号・3巻1-2号・4-12号・4巻3-7号(T13.11.10)。牛窪弘善執筆箇所抜き取り多し。 |
| 1618 | 神變 | 神變社 | | 160号(T11.8.1)-163・189・196・202・205・209・212・214・218・242・244・252・254・256-258・263-264・266・269・270・272-284・287・294・296-310・321-333・350・361・367・369・370・392・394・395・397・401。牛窪弘善執筆箇所抜き取り多し。 |
| 1619 | 修験道(18年10月創刊) | 修験道社 | | 112号(S5.1.1)-113・119-120・122・124。牛窪弘善執筆箇所抜き取り多し。 |
| 1620 | 修験 | 修験発行所 | | 第1巻 第1号(T12.7.1)-71・75・77・79-85・93・95・97-101・116・122(S18.9.1)。牛窪弘善執筆箇所抜き取り多し。 |

| | | | | |
|------|------------------------------|---------------------|-----------|---|
| 1621 | 密教研究 | 高野山大学密教研究会 | | 第29号(S3.6.3)-31・58-68(S14.1.5) |
| 1622 | 財団法人明治聖徳記念学会紀要 | (財)明治聖徳記念学会 | | 第48巻(S12.9.30)・別冊巻8(S5.9.5)・別冊巻15(S9.3.25) |
| 1623 | 詞林(←小学生徒之友) | 横濱文社 | | 第75号-81・83・110-131の内、必要部分の抜き取り綴り |
| 1624 | 斯文 | (財)斯文會 | | 第7編第3号(T14.6.1)・第13編第6号・第15編第6・9・10号(S8.10.1)。抜き取り箇所有 |
| 1625 | 新進歌人 | 新進歌人社 | | 第3巻第4号(S8.4.1)-8号(S8.8.1)。抜き取り箇所有 |
| 1626 | 三眼 | 三眼社 | | 第1号(M32.6.10)-6号(M32.11.)。抜き取り箇所有 |
| 1627 | 会報 | 厚木歌話會 | | 第1号-2号 |
| 1628 | 洋々社談 | | | 第2号(M8.4)・6号(M8.10) |
| 1629 | 歩み 尋四 | | | |
| 1630 | 叡山學報 | 叡山學會 | S8.11.1 | 第7輯 |
| 1631 | 第四回郷土(富士山に関する)志料展覧会陳列目録 寄稿様誌 | 静岡文化協会編 | S4.11.9 | 合綴 |
| 1632 | 書法提要間架結構 寄稿様誌 | 牛窪弘善輯 | S3. | 合綴 |
| 1633 | 斯文 第14編第3号 寄稿様誌 | (財)斯文會 | S7.3.1 | 合綴 |
| 1634 | 売られ行く牛 寄稿様誌 | 中山徳太郎 | S15.2.1 | 合綴。「ひだびと」第8年第2号抜刷。ひだびと第7年第8号所載中山徳太郎氏『佐渡牛』附録付 |
| 1635 | 東京今話 | 月旦社 | | 合綴。第1号(M11.3.28)・2号(M115.13)・3号(M11.7.3) |
| 1636 | 斯文學會報告書 | 斯文學會 | | 合綴。第3号(M15.1.31)・第4号(M15.2.28) |
| 1637 | 東北文化研究 第1巻第6号 | 東北帝国大学法文学部内奥羽史料調査部編 | S4.3.20 | |
| 1638 | 驢庵半井瑞壽と其の家系 相武郷土史資料 | 石野 瑛 | S11.12.20 | 合綴 |
| 1639 | 歴史と郷土 第2年第3輯 | 神奈川県中等学校歴史研究会 | S8.10.30 | 合綴。「武相考古会刊行図書目録新刊書内容一班」・「S12年度有馬村青年団の陣容」入 |
| 1640 | 神奈川県高座郡各宗寺院名簿 | | | 合綴 |
| 1641 | 噫忠烈 柳田中尉・清田上等兵・濱田上等兵・川口一等兵 | 高座郡有馬村 | S13.3.15 | 合綴 |
| 1642 | 噫忠烈 神部上等兵・高澤上等兵 | 高座郡有馬村 | S13.12.13 | 合綴 |
| 1643 | 噫忠烈 佐藤伍長 | 高座郡有馬村 | S14.10.16 | 合綴 |
| 1644 | 噫忠烈 齋藤上等兵 | 高座郡有馬村 | S15.7.23 | 合綴 |
| 1645 | 書芸 | 平凡社 | | 第3巻第10号(S8.10.6)・11号(S8.11.5) |

編集後記

佐渡学センター年報第6号を無事発刊できますことに、関係者のみなさまに感謝申し上げます。

歴史と伝統のある（財）佐渡博物館の引き継ぎ業務を終え、4月より佐渡市立佐渡博物館として再スタートして1年が経過しました。引継ぎ業務や日々の仕事の中で、創立期の人々の博物館設立に対する思いと情熱、その後の佐渡博物館に対する支援、重要な寄贈資料の数々、研究体制、企画展や出版物等々…、感心すると同時に、学ばなければならないことが大変多くありました。

この年報と類似のものとして、創立期より佐渡博物館々報が第26号まで発刊されました。その内容は、大変高レベルのもので、学術的にも他の研究論文で引用されることが大変多いことに再認識させられました。

この年報第6号の内容からも分かるように、博物館の管理運営や企画展示に追われ、博物館としての使命や佐渡学センターとしての本来の業務が疎かになってきたことは否めません。全国に知れた佐渡博物館としての格式、リファレンスへの対応等々、島内の中核博物館としてのレベルの維持存続には、所員一同日々研鑽を積まなければならないと強く思うと同時に、重責であるとの認識をさせられました。

旧（財）佐渡博物館同様、みなさま方からご指導ご鞭撻を賜り、さすが「佐渡学センター」、「佐渡博物館」と言われるように、日々向上させていきたいと願っています。

最後になりましたが、北見健彦氏遺族からの寄贈資料の中にあつた研究メモを見事に整理の上、ご報告いただきました伊藤正一先生に厚く感謝申し上げます。

(池田雄彦)

佐渡学センター年報 第6号 (平成26年度版)

- 発行日 平成27年3月31日
- 編集・発行 佐渡学センター
〒952-1311
新潟県佐渡市八幡2041 佐渡博物館内
TEL 0259-52-2447
- 電子出版 佐渡学センター
<http://www.sadocity.niigata.jp/sadobunka/denbun/>

■非売品

(財) 佐渡博物館企画展 56年間の記録

(財) 佐渡博物館 羽生令吉、本間節子・佐渡学センター 池田雄彦

昭和 32 年度 (1957)

- 現代名家新作絵画展 9月22日・23日
(共催：新潟県教育委員会・しほのり会)
- 佐渡銅器遺作展 10月20日～11月3日
- 第1回島内小中高校図画展 11月23日～12月8日
平成3年度35回展まで開催
- 第1回島内小中高校習字展 2月1日～9日
平成3年度35回展まで開催
- 良寛遺跡遺墨展・近藤福雄遺品展 3月20日～30日

昭和 33 年度 (1958)

- 柴田収蔵展 4月5日～13日
- 中俣正義写真展 4月27日～5月5日
- 第1回工彩会展 6月7日～13日 (共催：佐渡工彩会)
昭和35年度3回展まで開催
- アジア大会写真展 6月19日～22日
- 開館一周年記念特別展 10月10日～20日
 - ☆ 山下 清作品展 (共催：山下清後援会)
 - ☆ 佐渡上代文化展 (考古資料)
 - ☆ 明治・大正回顧展 (共催：勲章保存会)
- 第1回佐渡総合美術展 11月1日～10日
平成元年度32回展まで開催

昭和 34 年度 (1959)

- 日本美術名刀展 4月26日～5月5日
- 第1回佐渡竹製品展示会 6月11日～17日
- 2大特別展 11月14日～23日
 - ☆ 土田麦僊展 (共催：新潟県教育委員会)
 - ☆ 原子力平和利用展 (共催：日本原子力平和利用基金・日本原子力産業会議・東北原子力懇談会)

昭和 35 年度 (1960)

- 現代写真展－1959－ 5月3日～15日
(共催：国立近代美術館・新潟県教育委員会)
- 象堂展 (人間国宝認定記念) 6月11日～28日
- インカ帝国文化展・印度トラ狩写真展 10月29日～11月13日
(共催：読売新聞社・新潟県教育委員会)



昭和 36 年度 (1961)

- 現代写真展－ 1960 － 5月5日～14日
(共催：国立近代美術館・新潟県教育委員会)
- 現代日本版画展 6月1日～15日
(共催：国立近代美術館)
- 開館 4 周年記念 2 大特別展 10月21日～11月5日
☆ 日本伝統工芸秀作展 (共催：新潟県教育委員会)
☆ アイヌ文化展 (共催：国立民族学博物館・新潟県教育委員会)

昭和 37 年度 (1962)

- 佐渡の衣類展 5月25日～8月23日
- 開館 5 周年記念特別展 10月16日～11月4日
☆ 相撲文化展 (共催：東京相撲博物館)
☆ 浮世絵展 (共催：東京国立博物館)
☆ 法隆寺写真展 (共催：日本博物館協会)
- 現代作家原稿展 1月6日～2月24日 (共催：講談社)
- 陶磁赤絵展 1月6日～2月24日

昭和 38 年度 (1963)

- 熱帯の貝類展 4月5日～5月23日
- 佐渡の考古遺物展 4月5日～5月23日
- 現代写真展－ 1961 － 1962 － 9月8日～12日
(共催：国立近代美術館)
- 2 大特別展 10月30日～11月10日
☆ 近代日本の油絵展 (共催：国立近代美術館)
☆ 交通文化展 (共催：交通博物館・第九管区海上保安本部)

昭和 39 年度 (1964)

- 古陶磁染付展 1月10日～2月21日

昭和 40 年度 (1965)

- 佐渡の石仏展 4月15日～5月10日
- 佐渡の石仏展・小千谷ちじみ展 5月15日～3月31日
(共催：日本民芸協会)

昭和 41 年度 (1966)

- 佐渡の民具・民芸展 4月15日～5月8日
- 佐渡竹工品展示会 5月14日～7月31日 (共催：佐渡竹工連合会)
平成 4 年度 22 回展まで
- 生物進化展 10月2日～16日 (共催：国立科学博物館)



昭和 42 年度 (1967)

- 佐渡の焼き物の歴史展 4月15日～5月7日
 - 近世佐渡の生活歴史展 4月15日～5月7日
 - 佐渡の生活歴史展 7月8日～8月31日
 - ☆ 近世以降の佐渡の暮らし
 - ☆ 佐渡の焼き物の歴史
 - ☆ 佐渡の鑄金の歴史
- (共催：両津開港百年祭実行委員会)
- 木食展 10月10日～25日

昭和 43 年度 (1968)

- 佐渡一国義民展 4月15日～5月5日
 - 現代工芸新潟会会員作品展 7月17日～31日
- (共催：現代工芸新潟会)
- 土田麦僊一画・デッサン・他一 9月11日～29日

昭和 44 年度 (1969)

- 佐渡の先賢遺墨遺品展 4月15日～5月11日

昭和 45 年度 (1970)

- 佐渡の観光と物産展 4月15日～27日
- (共催：佐渡観光協会・島開実行委員会・佐渡連合商工会)
- 佐渡名石展示会 7月1日～31日 (共催：佐渡名石協会)
 - 生物生態写真展 11月10日～23日 (共催：国立科学博物館)

昭和 46 年度 (1971)

- 土田麦僊一画・デッサン展 11月7日～23日

昭和 47 年度 (1972)

- ニースカーニバル写真展 4月2日
- 表装展 7月1日～10日 (共催：笠井表具店)

昭和 48 年度 (1973)

- 佐渡の考古展 8月22日～9月2日 (共催：佐渡考古歴史学会)
- 古陶磁展 8月22日～9月2日 (共催：佐渡陶磁協会)

昭和 49 年度 (1974)

- 恒例展のみ開催

昭和 50 年度 (1975)

- 文物展観茶会 6月28日～29日
- (共催：佐渡陶磁協会・淡交会佐渡支部)



昭和 51 年度 (1976)

- 佐渡の生活文化財展 7月16日～9月1日
- 表装展 9月5日～10日 (共催：笠井表具店)
- 開館 20 周年記念特別展 近代日本美術名作展 10月3日～11日
(共催：新潟県教育委員会)

昭和 52 年度 (1977)

- 近代日本画名作展 (小林正夫収蔵品) 11月7日～17日
- 佐渡老人クラブ作品展 11月7日～17日

昭和 53 年度 (1978)

- 古陶磁展 10月22日～11月5日

昭和 54 年度 (1979)

- 灯の民具展 5月3日～6月25日
- 佐渡を描く油絵展 7月1日～8月31日
- 緑と美の祭盆栽展 (共催：佐渡植木組合・佐渡造園業者有志)

昭和 55 年度 (1980)

- 佐渡の野鳥展 (土屋正起撮影) 5月4日～9月7日
(共催：日本野鳥の会佐渡支部)
- 昭和 55 年度島内児童生徒科学作品選抜展 9月25日～10月5日

昭和 56 年度 (1981)

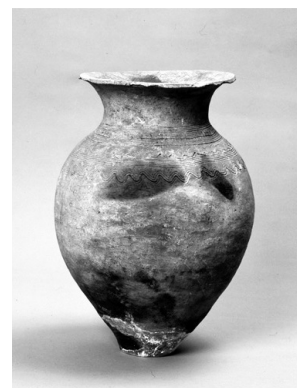
- 中川紀元の千代紙人形展 4月5日～5月5日
- 佐渡の石仏展 4月10日～8月31日
- 佐渡の山草展 5月23日～25日 (共催：佐渡山草会)
昭和 61 年度 5 回展まで開催
- 佐渡の民具展 5月10日～8月31日

昭和 57 年度 (1982)

- 佐渡の流人展 4月1日～5月31日

昭和 58 年度 (1983)

- 佐渡の裂織展 4月1日5月31日 (共催：佐渡綾の会)
- 富山治夫佐渡写真展 8月11日～26日
- 科学者レオナルド・ダ・ビンチ展 7月2日～31日
(共催：国立科学博物館)
- 6 人展 (佐渡高校美術部 OB) 8月3日～10日
- ミティエーラ・アート展 8月13日～9月4日
(共催：ミティエーラ美術館)
- 第 3 回佐渡郡小学校児童美術展 12月3日～11日
(共催：佐渡郡小学校教育研究会) 平成 3 年度 8 回展まで開催



昭和 59 年度 (1984)

- 佐渡の裂織展 6月1日～30日 (共催:佐渡綾の会)
- 佐渡の布絵展 8月1日～9月30日

昭和 60 年度 (1985)

- 佐渡の野鳥展 4月1日～5月31日 (共催:日本野鳥の会佐渡支部)
- 純佐渡産物産展 8月1日～9月1日
(共催:佐渡優良みやげ品生産者連盟) 平成4年度8回展まで開催
- 佐渡出身日展委嘱作家3人展 一親松英治・林昭三・本間一秋—
11月10日～30日

昭和 61 年度 (1986)

- 佐渡の民芸展 4月1日～5月11日

昭和 62 年度 (1987)

- 現代佐渡の陶芸展 4月1日～30日

昭和 63 年度 (1988)

- 土田麦僊素描展 4月1日～5月8日

平成元年度 (1989)

- 佐渡賛歌展 一來島著名人の佐渡賛歌— 4月1日～5月7日
- 島内高等学校ふれあい展 (共催:新潟県高等学校教職員組合)
平成3年度3回展まで開催

平成 2 年度 (1990)

- 浜田守太郎と文弥人形展 4月1日～5月27日
- 近藤福雄大写真展 10月6日～11月25日
- 陶工数右ヱ門の世界 10月26日～11月11日(共催:羽田村研究会)
- 佐渡秘宝展 2月3日～3月3日

平成 3 年度 (1991)

- 土田麦僊展 一巨匠への旅立ち— 4月1日～5月26日
- 三十六歌仙絵馬展 10月12日～11月24日



平成 4 年度 (1992)

- 木版画名作展 一笹井敏雄の佐渡— 4月1日～5月26日
- 本間正英・新澤由貴日本画2人展 9月13日～30日

平成5年度(1993)

■7月1日増改築オープン2大展

- ☆ 佐渡の生んだ工芸の巨匠 一宮田宏平・三浦小平二 2人展一
7月1日～9月30日
- ☆ 鑄金と無名異の世界 10月8日～11月16日

平成6年度(1994)

- 富山治夫佐渡写真展 7月～
- 日常雑器の美・金太郎焼展 11月3日～2月6日
- 佐渡女流作家展 2月10日～4月23日

平成7年度(1995)

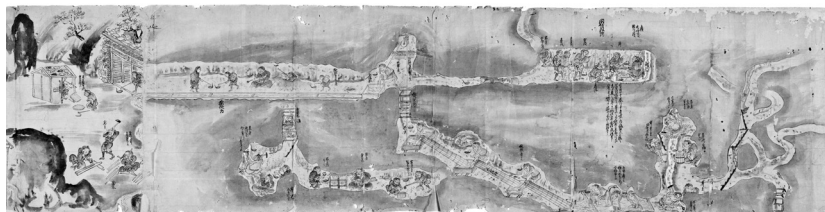
- 現代パステル・油彩画の巨匠小林哲夫展 4月28日～7月23日
- 近藤福雄写真展(日本写真協会文化振興賞受賞記念展)
7月27日～9月27日
- 炎の芸術一佐渡国刀匠新保基平作刀35年の歩み一
10月1日～11月26日
- 佐渡出版文化百年史展 12月9日～3月25日

平成8年度(1996)

- 渡辺湖畔と文人たち 11月3日～1月26日
- 佐渡を駆け抜けた3人展 一近藤福雄・中俣正義・富山治夫一
2月1日～3月23日
- やじ馬写真師近藤福雄展
☆ 新潟展(プラーカギリシャ広場) 9月15日～23日
☆ 佐渡展(佐渡中央文化会館) 9月25日～10月2日

平成9年度(1997)

- 開館40周年記念展 7月1日～2月25日
☆ 能面と能装束一野村蘭作コレクションから一 7月1日～25日
☆ 世阿弥書状展(世阿弥佐渡状の碑除幕記念) 7月24日～8月3日
☆ 市橋太郎展 11月1日～30日
☆ 椎隆信の風景 12月6日～2月25日
- 第9回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア新潟'97」協賛展
10月10日～12日
☆ 佐渡の美術工芸
☆ 写真展「佐渡の原風景」
- 竹芸と茶陶 一本田卿雲斎・三浦小平二の世界一 3月5日～4月20日



平成 10 年度 (1998)

- 竹芸と茶陶—本田卿雲斎・三浦小平二の世界— 4月1日～20日
- 北匠会佐渡展 (現代工芸美術家協会新潟会会員展)
10月25日～12月2日
- 流人絵師狩野胖幽展 12月10日～2月15日

平成 11 年度 (1999)

- 伊藤赤水無名異作陶展 10月1日～21日
- 亀田鵬齊と門人展 10月24日～11月15日
- 山下清のすべて 11月20日～28日 (共催: 山下清展実行委員会)
- 第1回佐渡20世紀の作家たち 1月1日～2月7日
- 佐渡文弥人形—浜田守太郎の世界— 2月11日～3月20日

平成 12 年度 (2000)

- 第2回佐渡20世紀の作家たち 1月1日～2月28日

平成 13 年度 (2001)

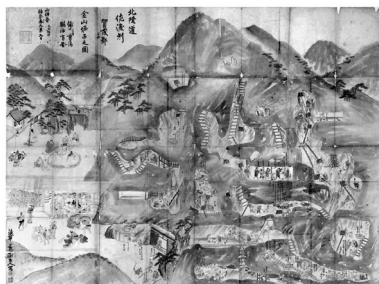
- 第3回佐渡20世紀の作家たち 1月1日～2月28日
- 島の暮らし (民家) 継続展示 4月1日～

平成 14 年度 (2002)

- 現代作家シリーズ展
 - ☆ 田村吾川作陶50年展 4月1日～6月30日
 - ☆ 第1回無名異の島佐渡のやきもの展 7月30日～9月29日
第10回展平成23年度まで開催
 - ☆ 島の書人3人展—稲葉大朴・金子嘯風・逸見不愁—
10月6日～12月23日
- 佐藤冠猴コレクション展—幕末・維新の志士遺墨—
1月1日～3月31日

平成 15 年度 (2003)

- 現代作家シリーズ展
 - ☆ 開窯25周年—一窯作陶展 10月1日～26日
 - ☆ 市橋太郎「もう一つの絵画展」 11月1日～24日
- 第1回わが母校の宝展 1月1日～2月1日
- 新潟大学・佐渡交換展示会—小片保人骨コレクション里帰り—
2月7日～3月27日



平成 16 年度 (2004)

- 現代作家シリーズ展
 - ☆ 清水伸 絵画展—ひみつの庭— 10月1日～24日
- 第2回わが母校の宝展 1月1日～2月20日

平成 17 年度 (2005)

- 現代作家シリーズ展
 - ☆ 梶井照陰写真展「NAMI」 4月1日～17日
 - ☆ 小林寿一郎木版画展 4月23日～5月15日
 - ☆ 本間 勲作陶「皿」展 10月29日～11月13日

平成 18 年度 (2006)

- 地図の島 in 佐渡展 6月10日～20日
- 佐渡の文墨「三松」展 一永宮寺松堂・中山松斎・堀口松庵一
1月1日～2月28日

平成 19 年度 (2007)

- 小さな写真展「1946の佐渡」一進駐軍の写真記録より一
7月15日～9月24日
- 佐渡国分寺資料展 第6回全国国分寺サミット in 佐渡記念展
10月1日～11月18日
- 人間国宝三浦小平二の世界 1月1日～3月30日

平成 20 年度 (2008)

- 金と銀の島佐渡 一鉱山とその文化一 4月27日～通年
- 現代作家シリーズ展 森芳弘作陶展 9月15日～28日
- 人間国宝3人展 一佐々木象堂・三浦小平二・伊藤赤水一
併展 日本鍍金家協会創立100周年記念パネル展
10月1日～2月28日

平成 21 年度 (2009)

- 「金 Gold 黄金の国ジパングと佐渡金銀山」佐渡展
4月29日～7月31日 (共催：佐渡市教育委員会)
- 佐渡金銀山展 8月1日～3月31日
(共催：佐渡市世界遺産推進課)
- 人間国宝3人展一技と美の系譜一 10月1日～2月28日
- 「上杉と佐渡金銀山」パネル展 4月12日～3月18日

平成 22 年度 (2010)

- 佐渡金銀山展 4月1日～ 通年 (共催：佐渡市世界遺産推進課)
- 松井健一手描友禅遺作展 4月3日～25日
- 佐渡古今の茶陶と土田麦僊の素描 6月13日～20日
- 現代作家シリーズ展
 - ☆ 森芳弘作陶展 10月16日～30日
 - ☆ 陶・木・ガラス4人展 一解良正敏・若林善一・大蔵豊彦・佐々木玲子一
11月3日～11月21日
- 土田麦僊の素描 1月1日～2月28日
- 「金銀山の遺跡群を歩く」パネル展 8月3日～



平成 23 年度 (2011)

- 佐渡金銀山展 4月1日～通年 (共催：佐渡市世界遺産推進課)
- 魅力イッパイ佐渡の海の生きもの展 8月1日～9月5日 (共催：新潟大学理学部附属臨海実験所)
- 俳人画家 安達いくやの世界 (共催：佐渡市教育委員会) 1月1日～3月1日

平成 24 年度 (2012)


- 佐渡金銀山展 4月1日～通年 (共催：佐渡市世界遺産推進課)
- 魅力イッパイ佐渡の海の生きもの展 7月1日～9月9日 (共催：新潟大学理学部附属臨海実験所)
- 佐渡市所蔵お宝展 1月1日～3月31日 (共催：佐渡市教育委員会)
- 「金銀山遺跡群を歩く」パネル展 4月1日～

平成 25 年度 (2013)

- 佐渡金銀山展 4月1日～通年 (共催：佐渡市世界遺産推進課)
- ジオパークの島佐渡の生きものたち 8月1日～9月1日 (共催：佐渡市教育委員会)
- 56年間ありがとう さよなら特別展 10月19日～11月24日

56年間ありがとう

佐渡博物館さよなら特別展




会 期 平成25年10月19日(土)～11月24日(日)

前期展 10月19日(土)～11月4日(月) 工芸・絵画

後期展 11月9日(土)～11月24日(日) 先賢遺墨・書道・歴史資料 他

全期間 近藤福雄ガラス乾板を公開します



会 場 (財) 佐渡博物館

主 催 (財) 佐渡博物館

共 催 佐渡市教育委員会・新潟交通佐渡(株)・佐渡汽船(株)

入場料 大人500円、中・高校生300円、小学生以下無料

56年間ありがとう
佐渡博物館さよなら特別展

会 期 平成25年10月19日(土)～11月24日(日)

前期展 10月19日(土)～11月4日(月) 工芸・絵画

後期展 11月9日(土)～11月24日(日) 先賢遺墨・書道・歴史資料 他



会 場 (財) 佐渡博物館

主 催 (財) 佐渡博物館

共 催 佐渡市教育委員会・新潟交通佐渡(株)・佐渡汽船(株)

後 援 佐渡市・新潟日報社・朝日新聞新潟総局・読売新聞新潟支局・産経新聞新潟支局・NST・TeNYテレビ新潟・佐渡商工会・佐渡テレビジョン

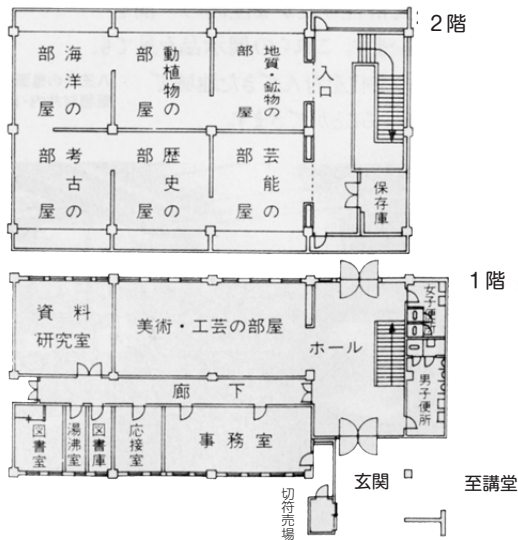
五十六年間ありがとう
――佐渡博物館さよなら特別展――

「佐渡博物館」は、平成十一年十月一日に開館して、今年で五十六年になります。五十六年という長い歴史を歩いてきた佐渡博物館は、これまで多くの市民や観光客に、佐渡の歴史や文化、自然の魅力を伝える役割を果たしてきました。この機会に、これまでの活動を振り返り、感謝の意を表したいと思います。

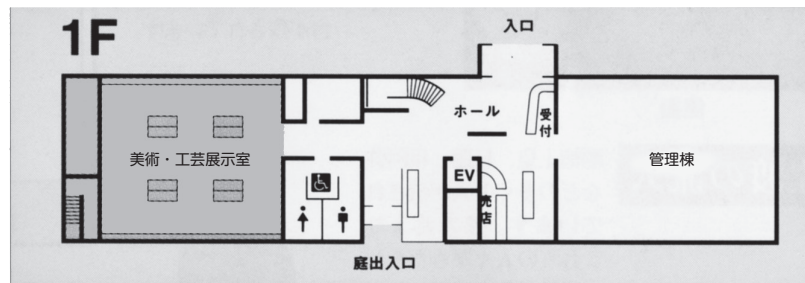
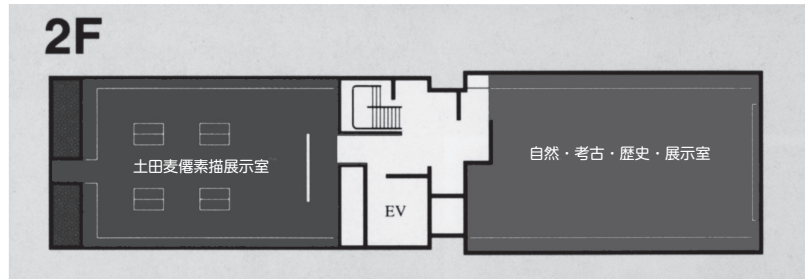
佐渡博物館は、平成十一年十月一日に開館して、今年で五十六年になります。五十六年という長い歴史を歩いてきた佐渡博物館は、これまで多くの市民や観光客に、佐渡の歴史や文化、自然の魅力を伝える役割を果たしてきました。この機会に、これまでの活動を振り返り、感謝の意を表したいと思います。

佐渡博物館は、平成十一年十月一日に開館して、今年で五十六年になります。五十六年という長い歴史を歩いてきた佐渡博物館は、これまで多くの市民や観光客に、佐渡の歴史や文化、自然の魅力を伝える役割を果たしてきました。この機会に、これまでの活動を振り返り、感謝の意を表したいと思います。

1957年開館時配置図



1993年改築以降の配置図



2008年以降の配置図

